

平面図 S=free

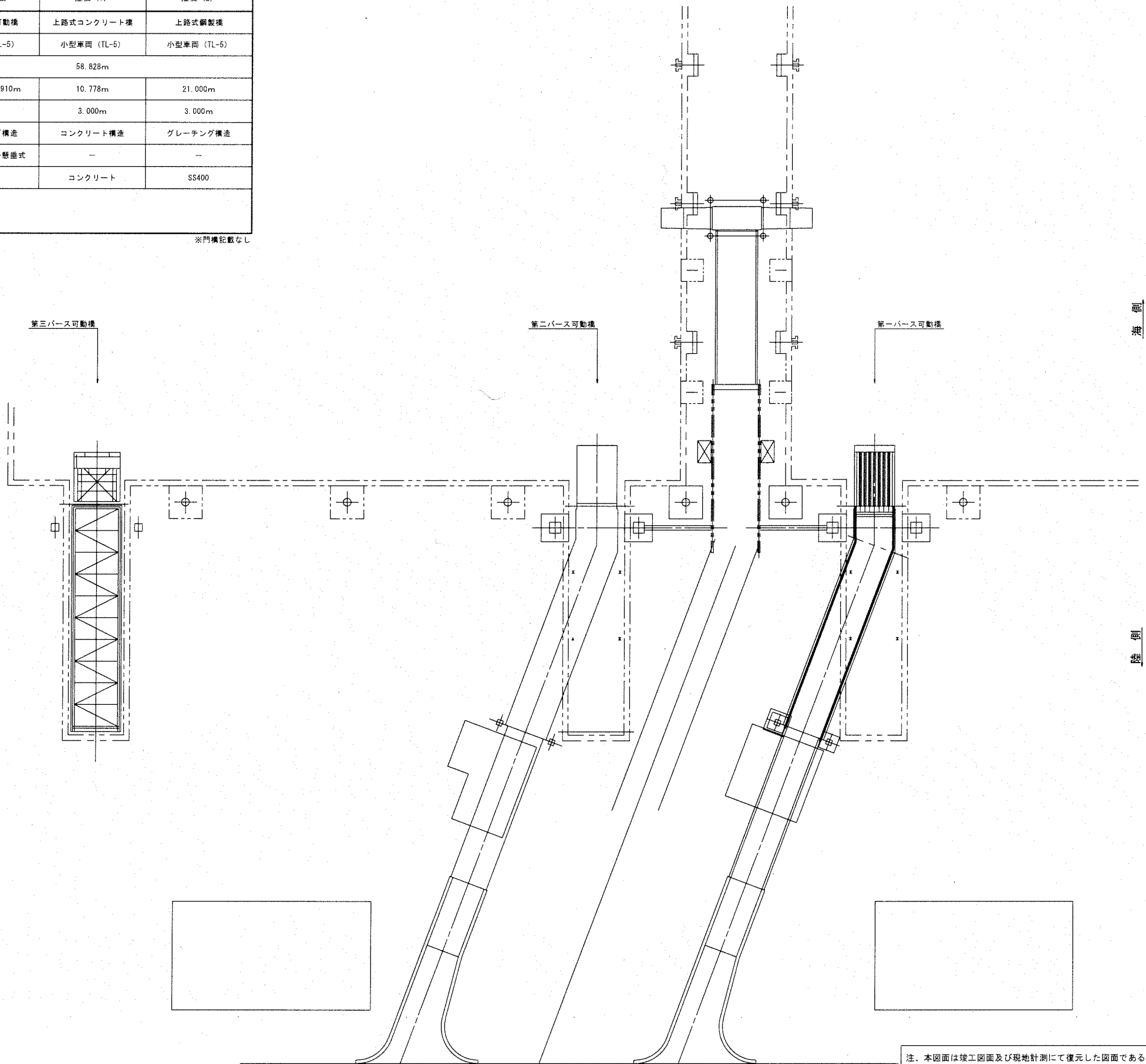


第一バス可動橋 全体平面図 S=1:200

第一バス可動橋諸元

	下段可動橋	上段可動橋	陸橋 (1)	陸橋 (2)
型式	中路式鋼製可動橋	中路式鋼製可動橋	上路式コンクリート橋	上路式鋼製橋
橋格	一般車両 (TL-30)	小型車両 (TL-5)	小型車両 (TL-5)	小型車両 (TL-5)
総橋長	25.500m	58.828m		
支間長	18.400m+4.300m	19.600m+4.910m	10.778m	21.000m
有効幅員	3.750m	3.000m	3.000m	3.000m
床版	グレーチング構造	グレーチング構造	コンクリート構造	グレーチング構造
昇降装置	油圧シリンダー懸垂式	油圧シリンダー懸垂式	—	—
材質	SM490・SS400	SS400	コンクリート	SS400
適用示方書	道路構造令 道路橋示方書・同解説 港湾の施設の技術上の基準・同解説 立体橋新施設技術基準・同解説			

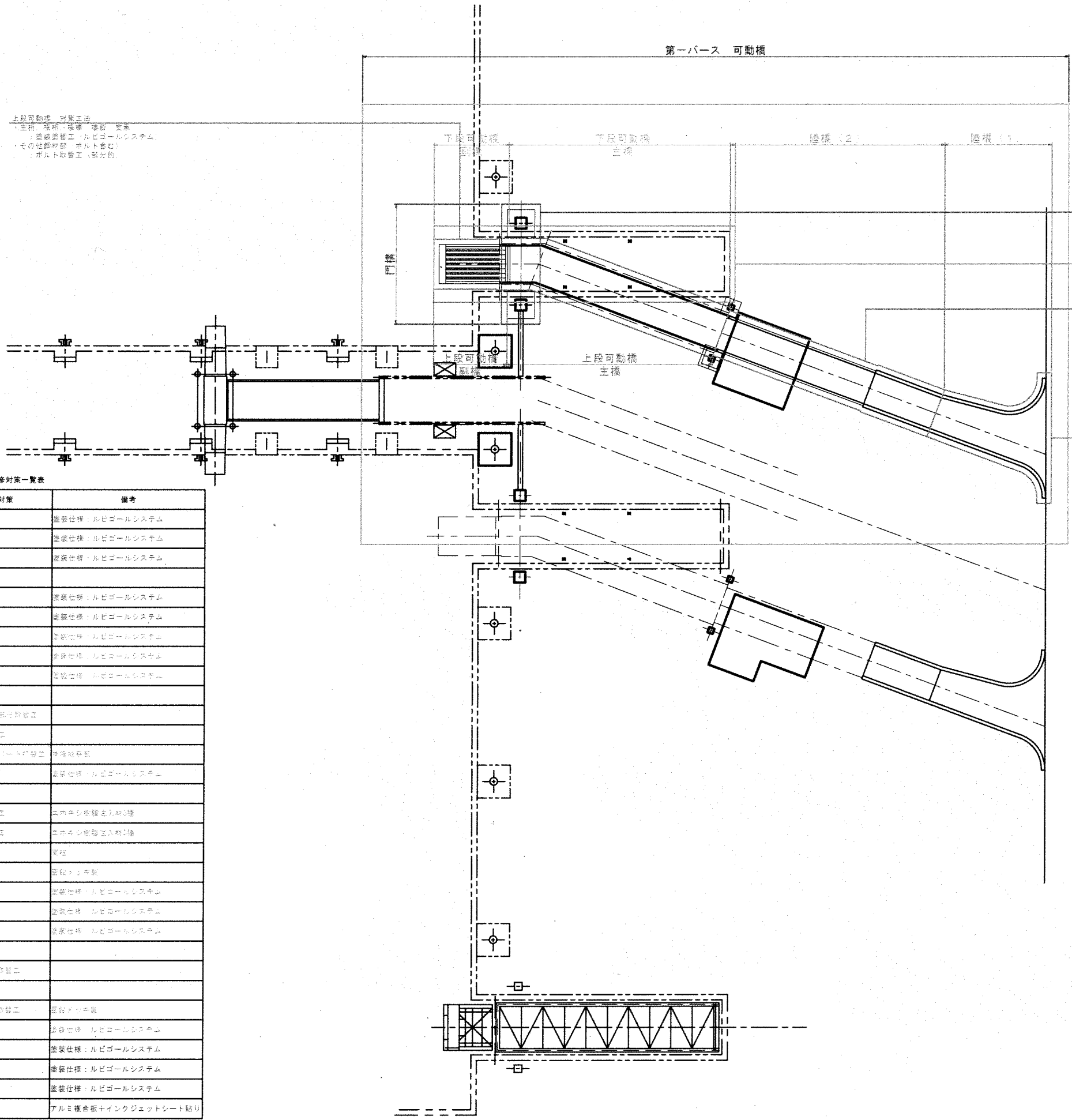
※門構記載なし



注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バス可動橋 全体平面図		
図面番号	全 35 の 2	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

第一バス可動橋 補修一般図 S=1 : 200



上段可動橋 対象工法
・主橋、区間橋、門橋、基礎
・塗装塗装工（ルビゴールシステム）
・その他部材（ボルト含む）
・ボルト取替工（部分的）

門橋 対象工法
・主橋、区間橋、門橋、基礎
・塗装塗装工（ルビゴールシステム）
・その他
・看板補修工

下段可動橋 対象工法
・主橋、区間橋、門橋、基礎
・塗装塗装工（ルビゴールシステム）
・その他部材（ボルト含む）
・ボルト取替工（部分的）
・橋面
・グレーンク取替工
・地盤取替工
・新設のコンクリート打替工（橋脚部等）
・その他
・防犯灯取替工

区間橋 1 対象工法
・主橋、区間橋、門橋、基礎
・塗装塗装工（ルビゴールシステム）
・その他部材（ボルト含む）
・ボルト取替工（部分的）
・橋面
・グレーンク取替工
・地盤取替工
・防犯灯取替工

区間橋 2 対象工法
・主橋、区間橋、門橋、基礎
・ひびわれ注入工（コンクリート部）
・防犯灯
・塗装塗装工（基礎）
・ボルト取替工（基礎）

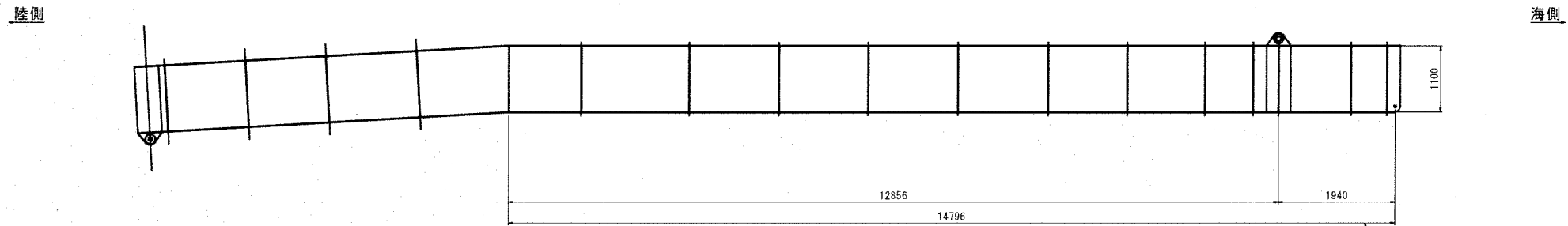
第一バス可動橋 補修対象一覧表

対象		補修対象	備考
上段可動橋	主 橋	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 桁	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	その他部材（ボルト含む）	・ボルト取替工	
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
下段可動橋	主 橋	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 桁	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	その他部材（ボルト含む）	・ボルト取替工	
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	その他部材（ボルト含む）	・ボルト取替工	
	橋 脚	・グレーンク取替工	
	橋 脚	・地盤取替工	
区間橋 1	主 橋	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 桁	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	その他部材（ボルト含む）	・ボルト取替工	
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
区間橋 2	主 橋	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 桁	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	その他部材（ボルト含む）	・ボルト取替工	
	橋 脚	・グレーンク取替工	
門 橋	主 橋	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 桁	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	橋 脚	・塗装塗装工	塗装仕様：ルビゴールシステム
	その他部材（ボルト含む）	・ボルト取替工	
	橋 脚	・グレーンク取替工	

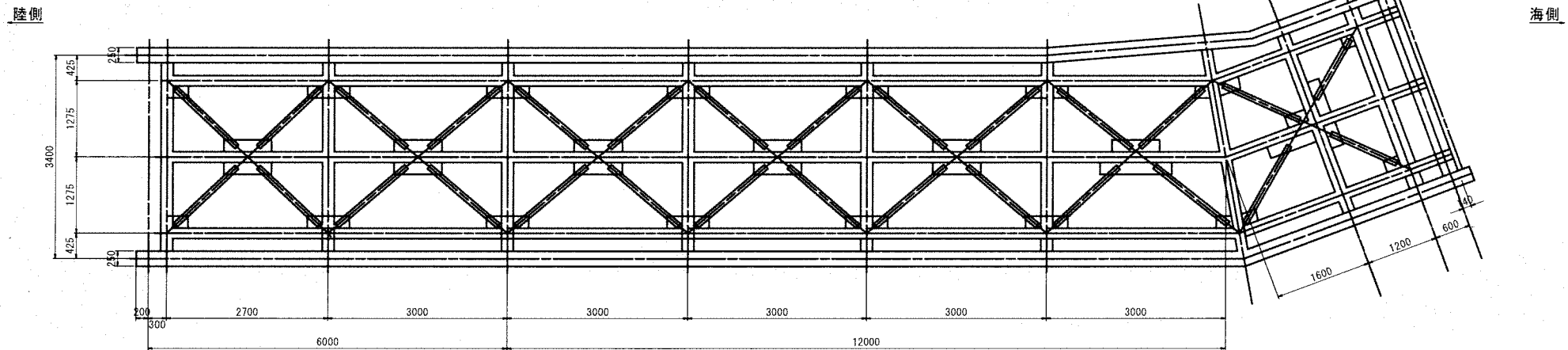
工 事 名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バス可動橋 補修一般図		
図面番号	全 35 の 3	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

上段可動橋 現況一般図（その1）
主 橋

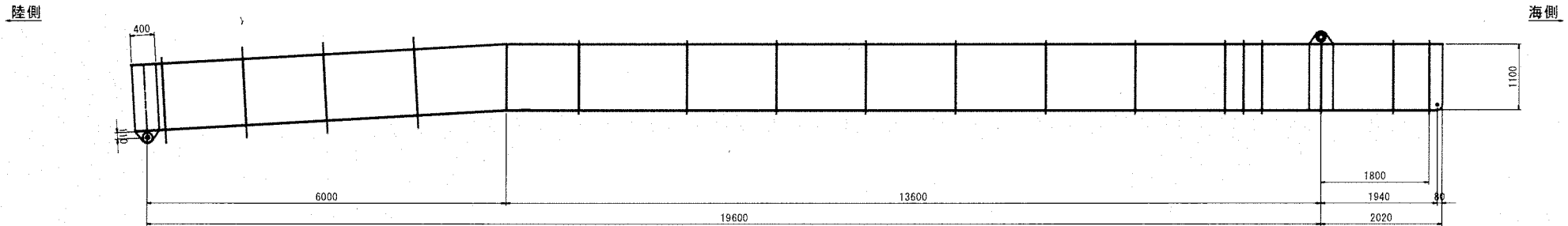
側面図 S=1:50



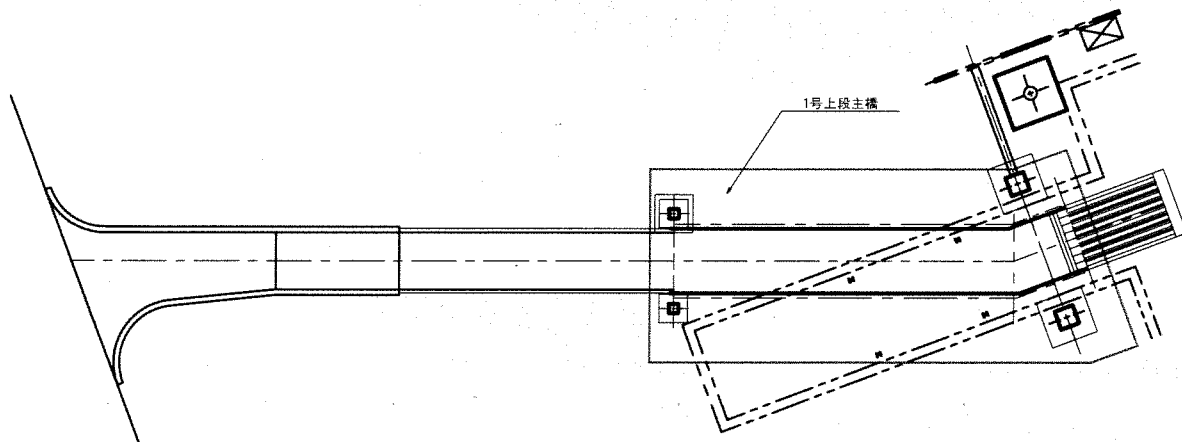
平面図 S=1:50



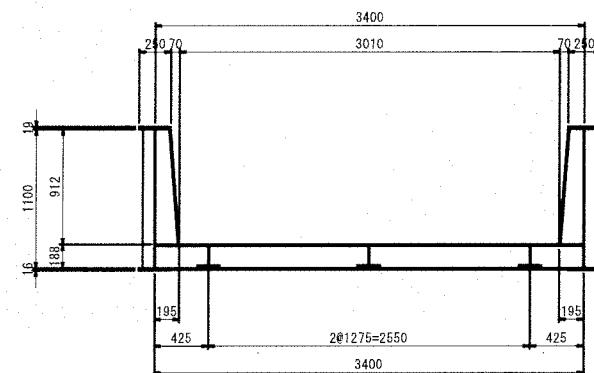
側面図 S=1:50



対象位置図 S=1:200



断面図 S=1:30

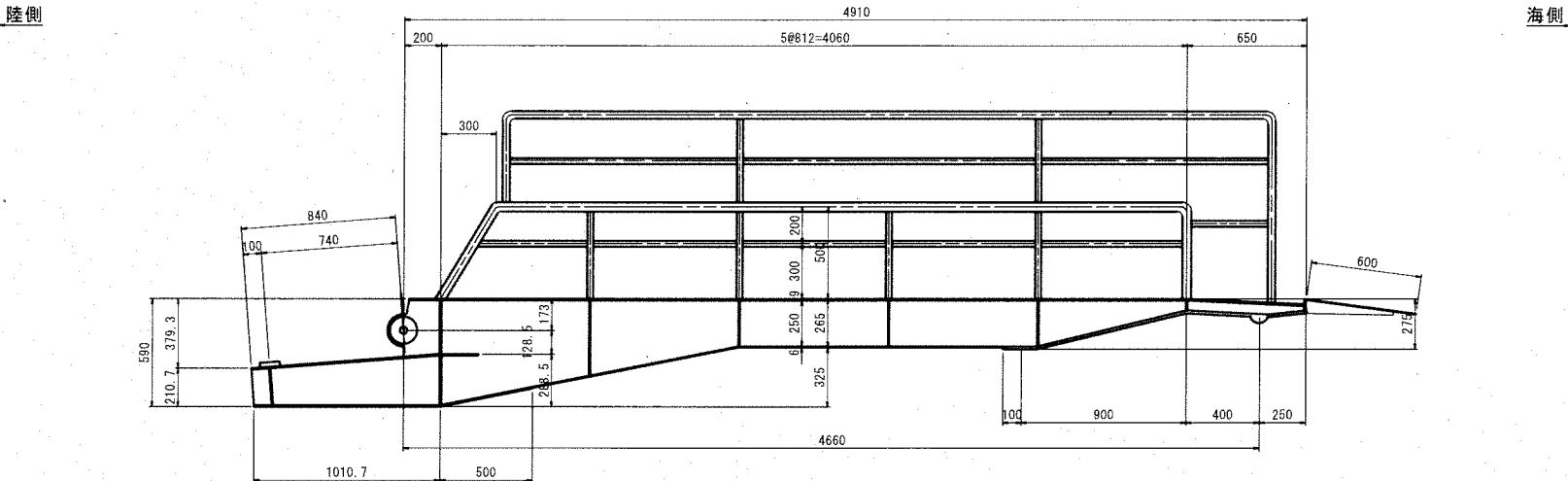


注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

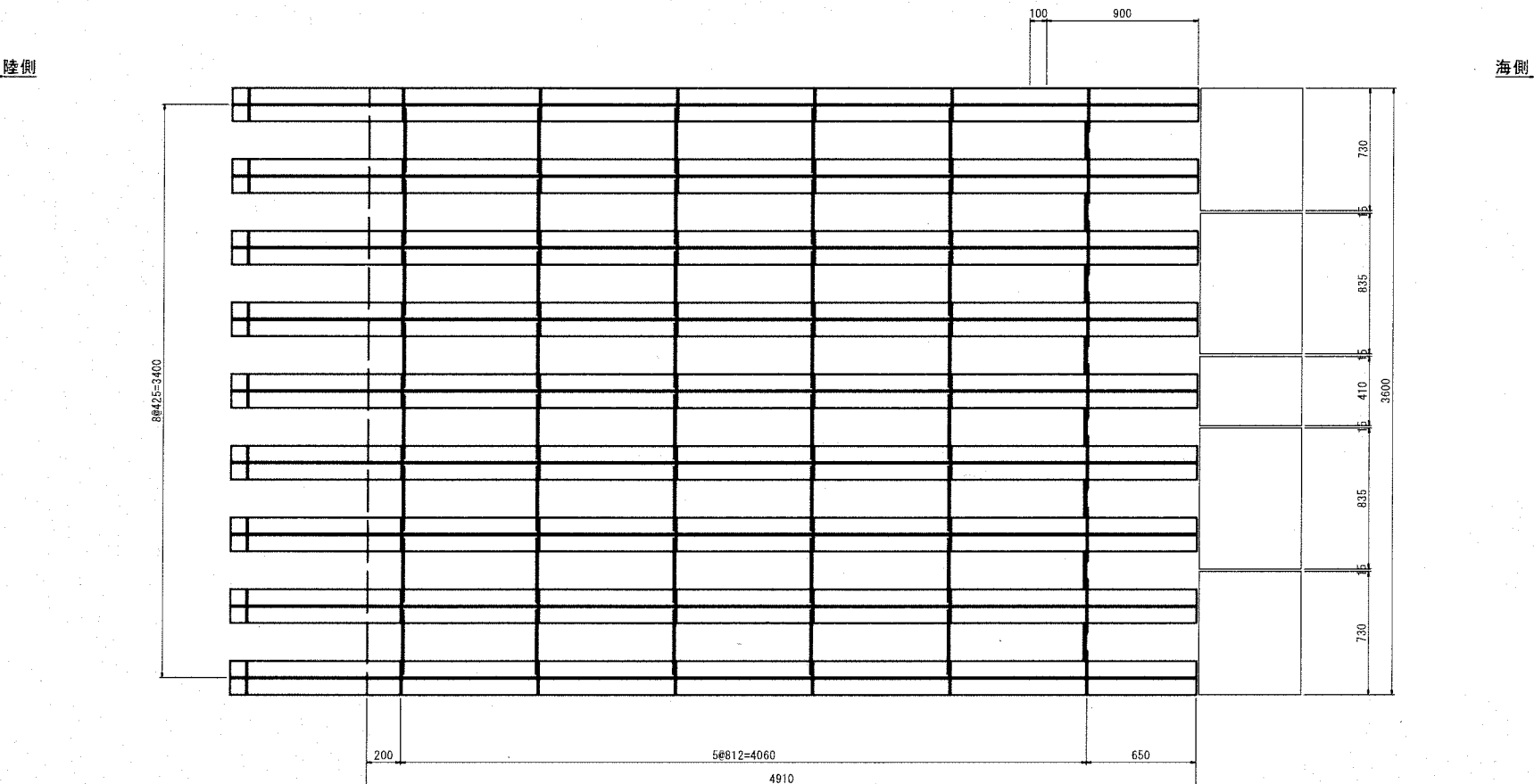
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 現況一般図（その1）		
図面番号	全 35 の 4	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

上段可動橋 現況一般図 (その2) S=1:20
副 橋

側面図



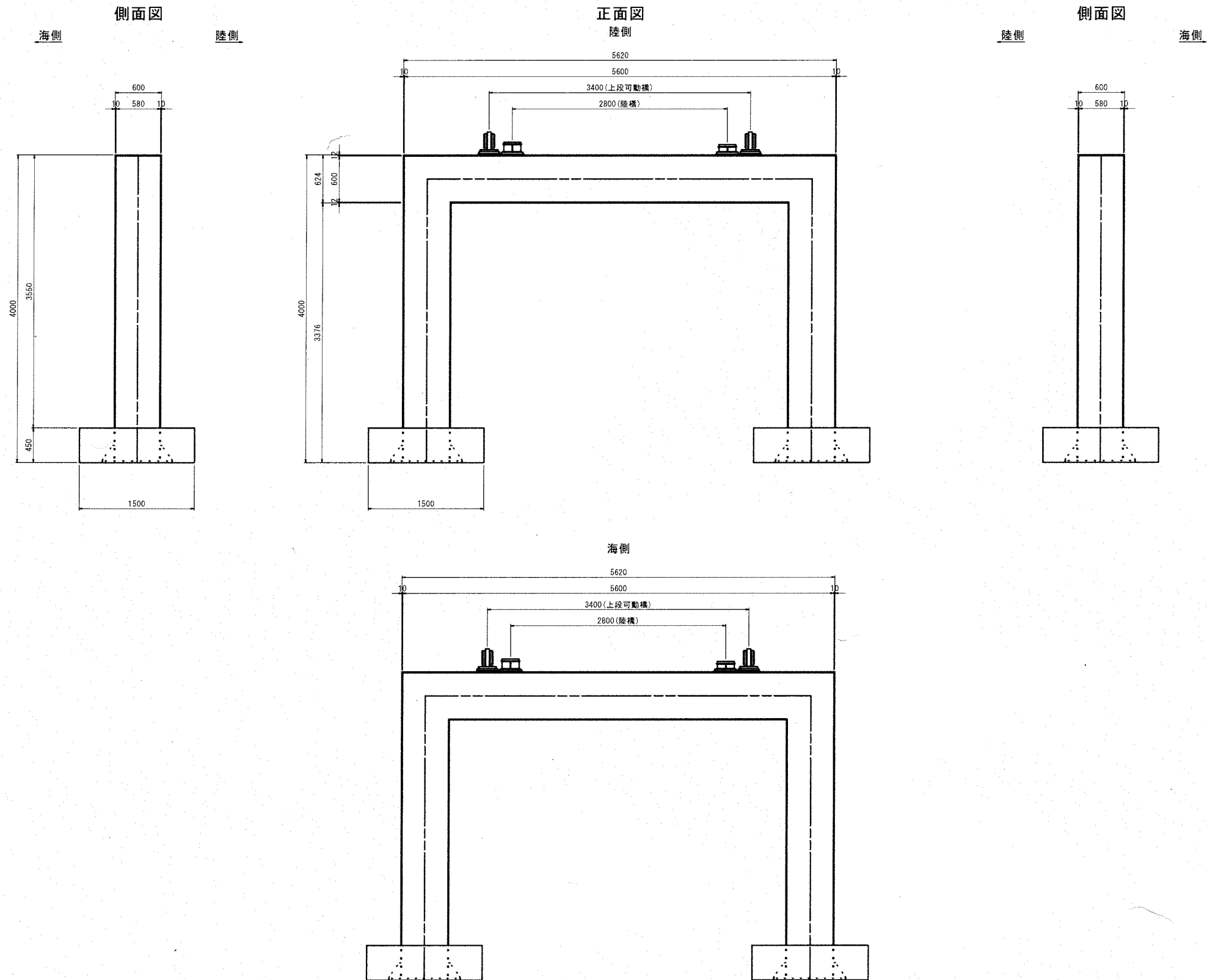
平面图



注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 現況一般図（その2）		
図面番号	全 35 の 5	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

上段可動橋 現況一般図（その3） S=1:30
橋 脚



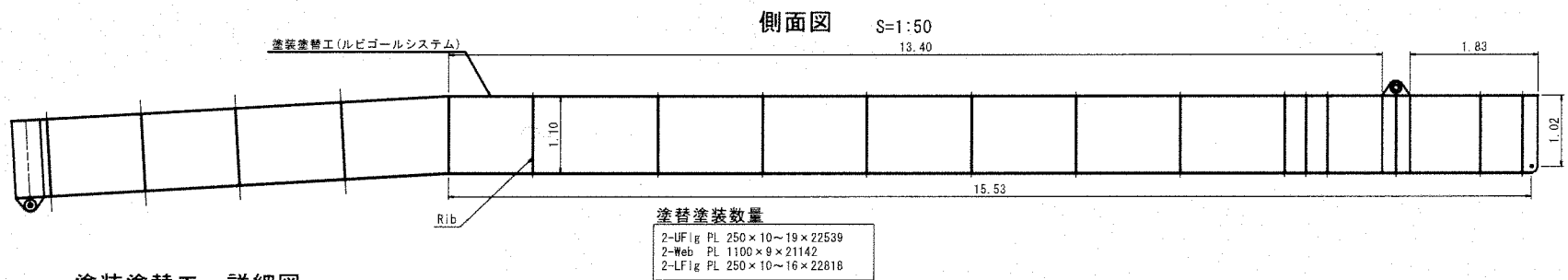
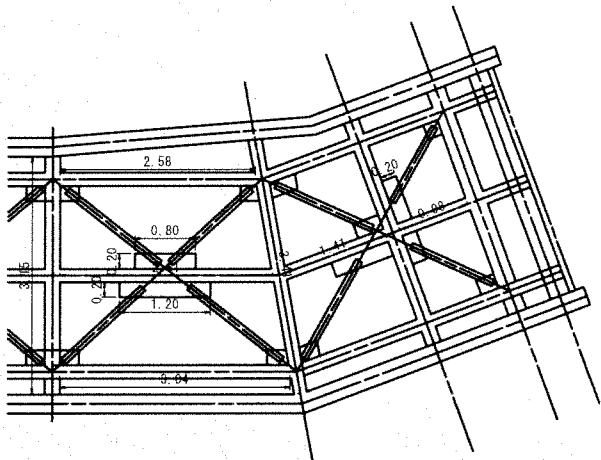
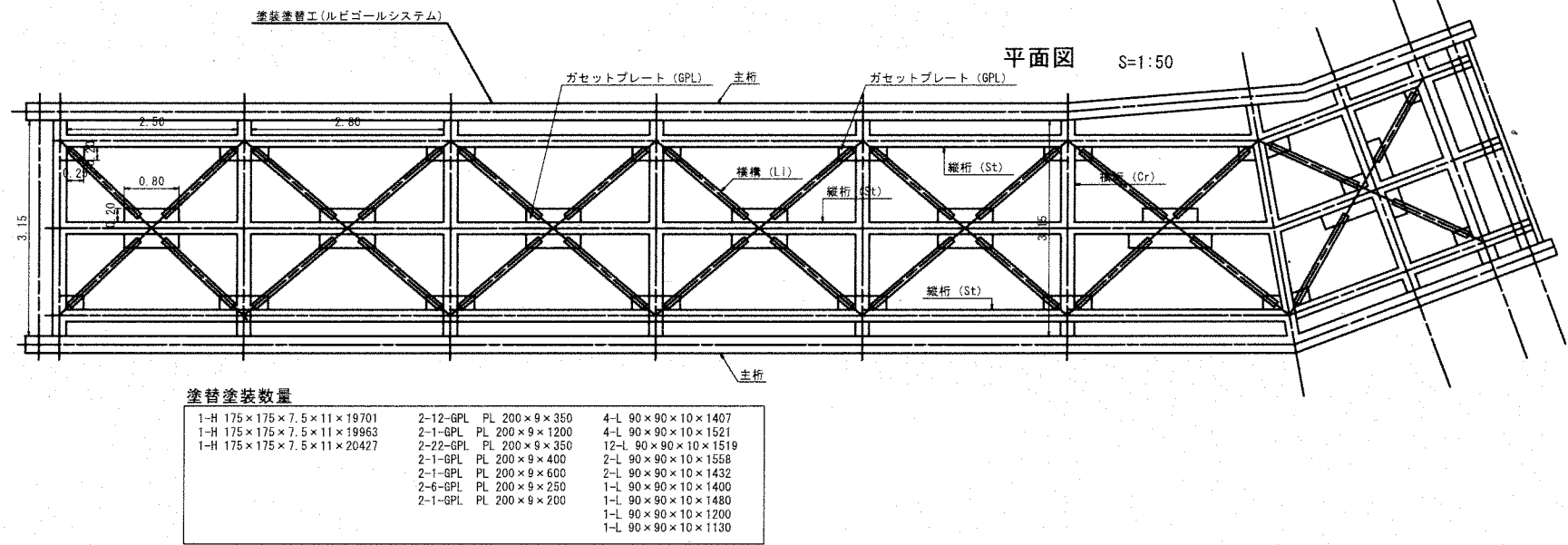
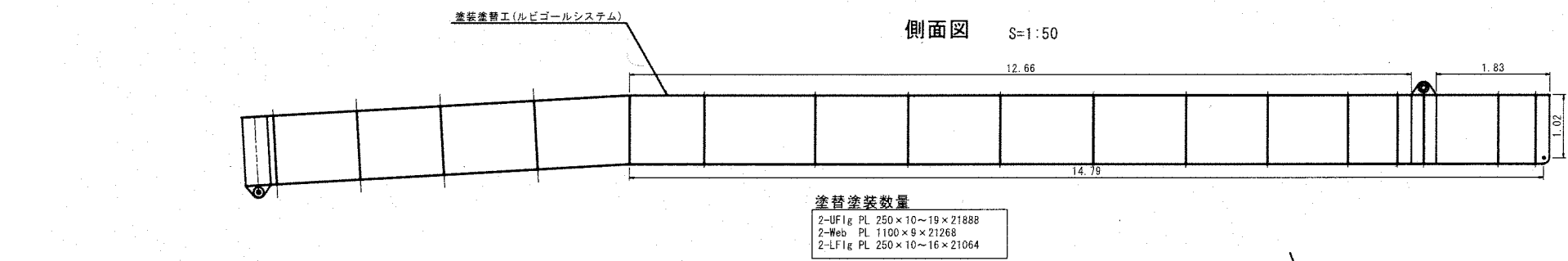
注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 現況一般図（その3）		
図面番号	全 35 の 6	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

上段可動橋 塗装塗替工図（その1）
主 橋

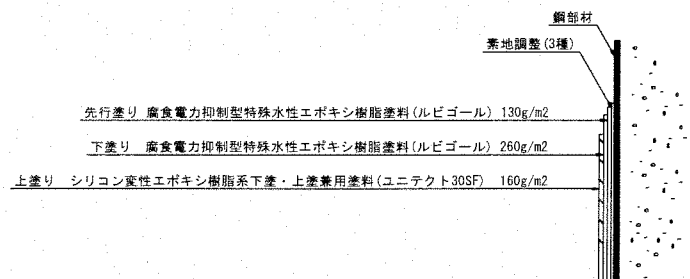
凡 例

補修の種類	表示
塗装塗替工	

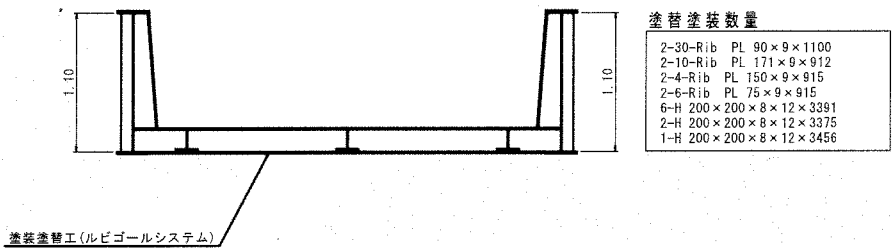


塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



断面図 S=1:30



塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	3種: (動力工具処理) 磨サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗り	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	130 (30 μm)	1時間~7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	260 (60 μm)	24時間~7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗り・上塗り兼用塗料 (ユニテクト30SF)	160 (50 μm)	

※ 峽あい部・隅角部・溶接部等については、先行塗装を推奨する。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。

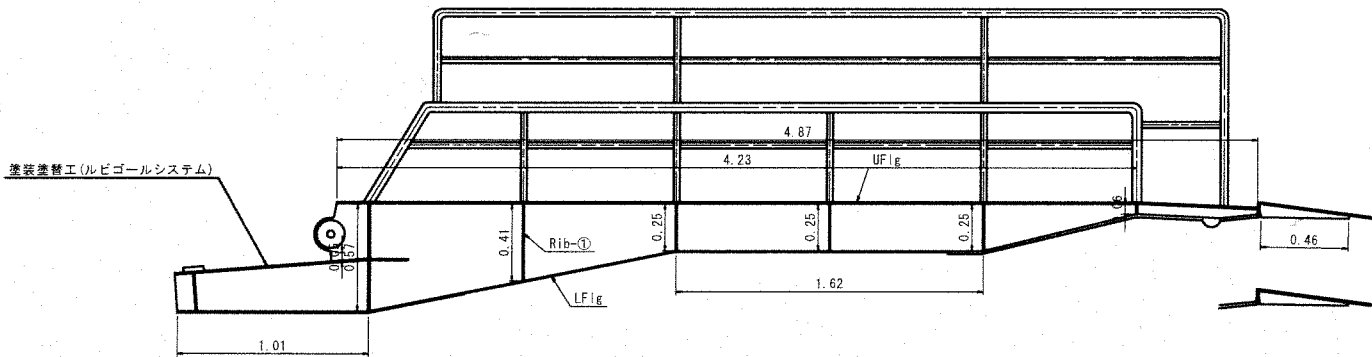
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 塗装塗替工図 (その1)		
図面番号	全 35 の 7	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

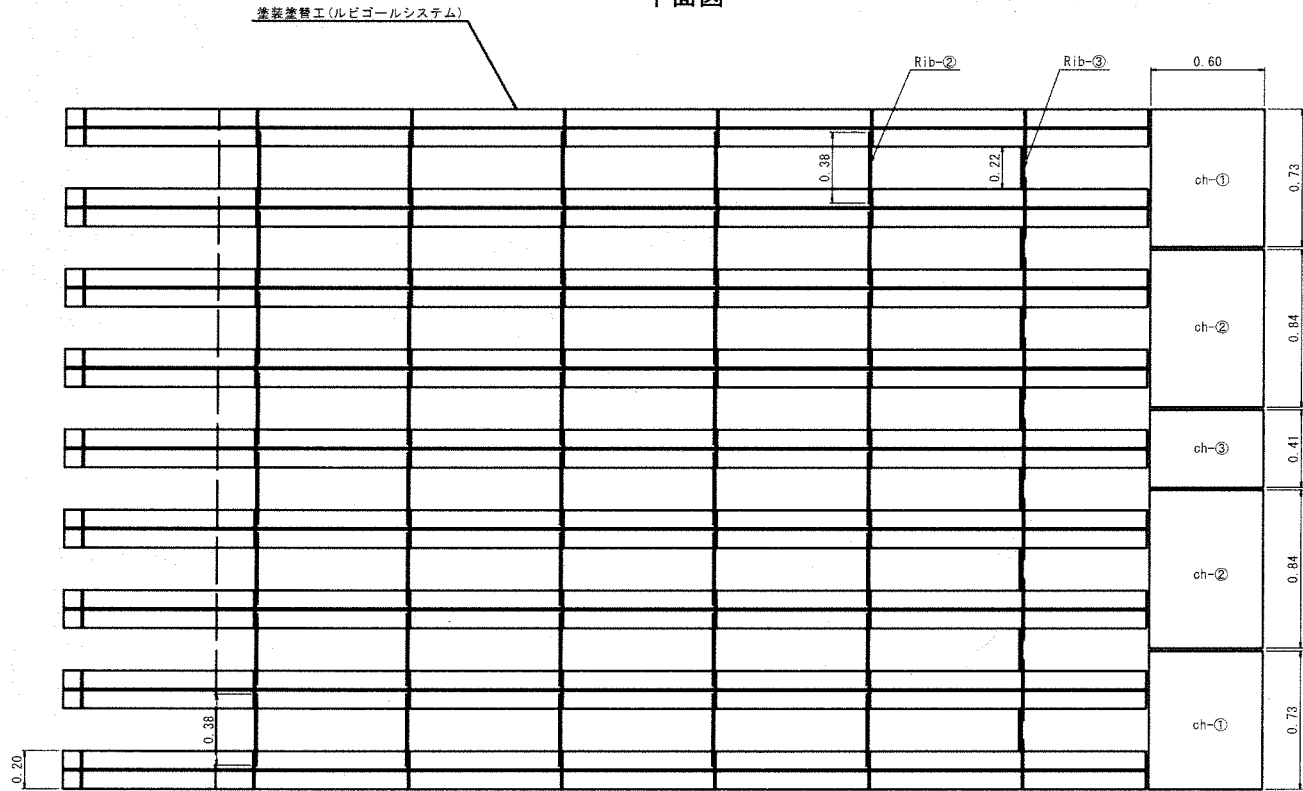
上段可動橋 塗装塗替工図（その2） S=1:20
副 橋

凡 例	
補修の種類	表示
塗装塗替工	

側面図

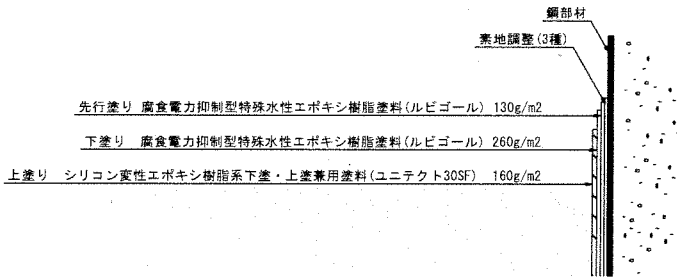


平面図



塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



塗替塗装数量

2-2-UFig	PL	200×9×4750
2-7-UFig	PL	200×9×4870
2-9-UFig	PL	200×9×1025
2-18-Web	PL	55×9×636
2-9-Web	PL	250×9×896
2-9-Web	PL	513×6×2860
2-9-Web	PL	296×9×572
2-18-Web	PL	284×9×316
2-9-Web	PL	271×9×1022
2-9-LFig	PL	200×6~16×5669
2-9-Rib	PL	200×9×572
2-18-Rib	PL	95×6×411
2-54-Rib	PL	95×6~9×250
2-7-Rib	PL	55×9×320
2-2-Rib	PL	55×9×260
2-48-Rib	PL	75×10×375
2-8-Rib	PL	75×16×223
2-2-Ch	PL	600×9×730
2-2-Ch	PL	600×9×835
2-Ch	PL	600×9×410
2-21-Ch	PL	70×9~22×475

塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	3種: (動力工具処理) 層サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗リ	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	130 (30 μm)	1時間~7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	260 (60 μm)	24時間~7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料 (ユニテクト30SF)	160 (50 μm)	

※ 峽あい部・隅角部・添接部等については、先行塗装を推奨する。

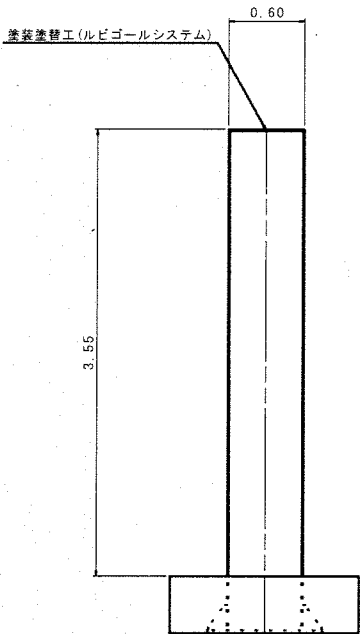
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 塗装塗替工図 (その2)		
図面番号	全 35 の 8	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

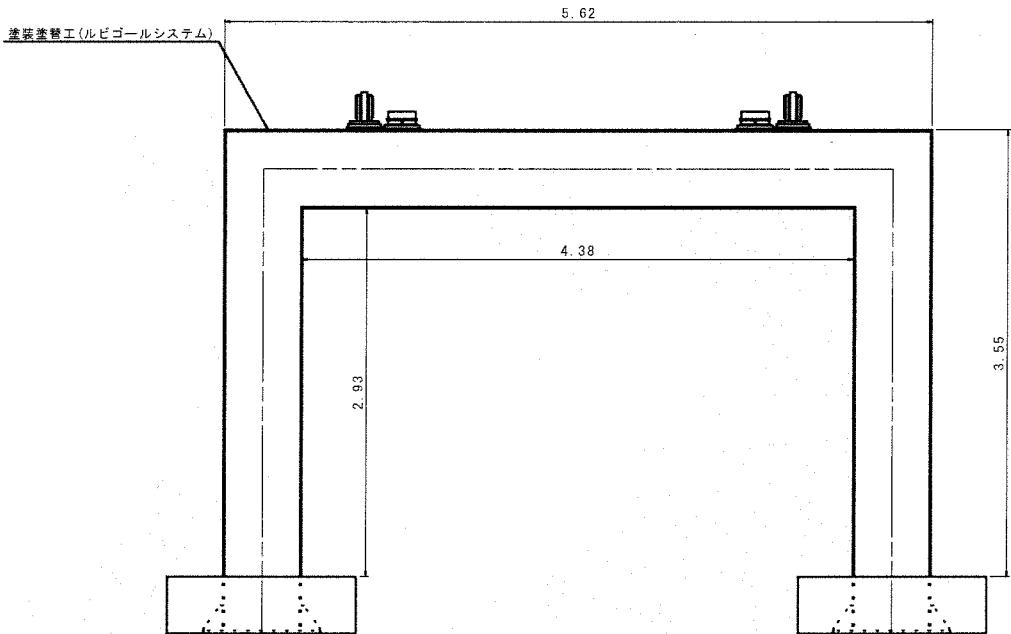
上段可動橋 塗装塗替工図（その3） S=1:30
橋 脚

凡 例	
補修の種類	表示
塗装塗替え工	

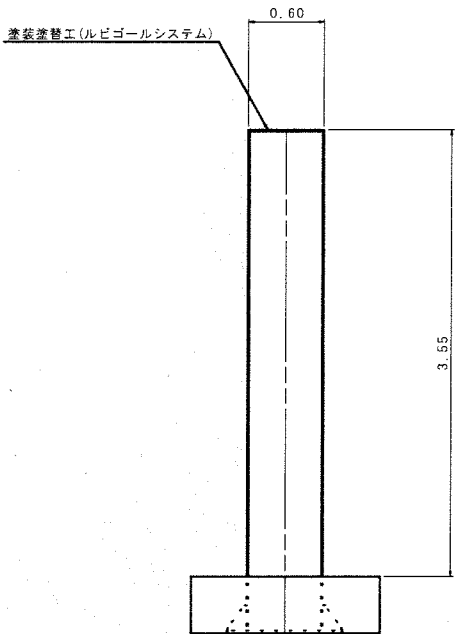
側面図



正面図
陸側



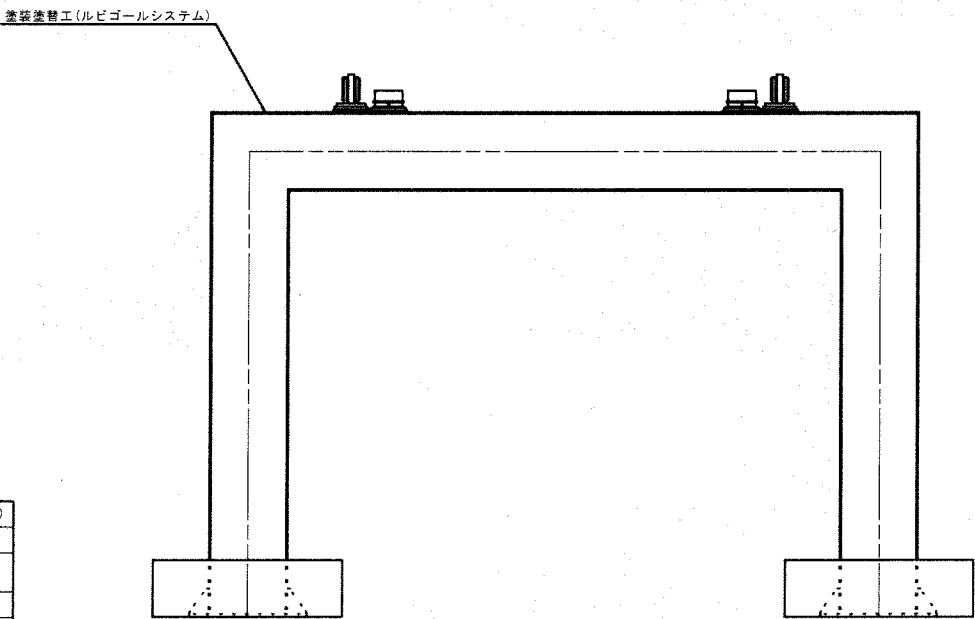
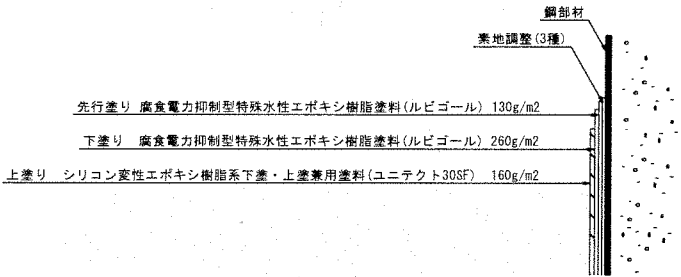
側面図



海側

塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



塗替塗装数量

2-柱部 PL 600×3550
2-2-柱部 PL 620×3550
2-柱部 PL 620×2926
2-柱部 PL 600×620
2-梁部 PL 600×4380
2-梁部 PL 6240×4380

塗装仕様 ルビゴールシステム(はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処理	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	3種：(動力工具処理) 磨サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗リ	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料(ルビゴール)	130 (30 μm)	1時間～7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料(ルビゴール)	260 (60 μm)	24時間～7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料(ユニテクト30SF)	160 (50 μm)	

※ 峽あい部・隅角部・溶接部等については、先行塗装を推奨する。

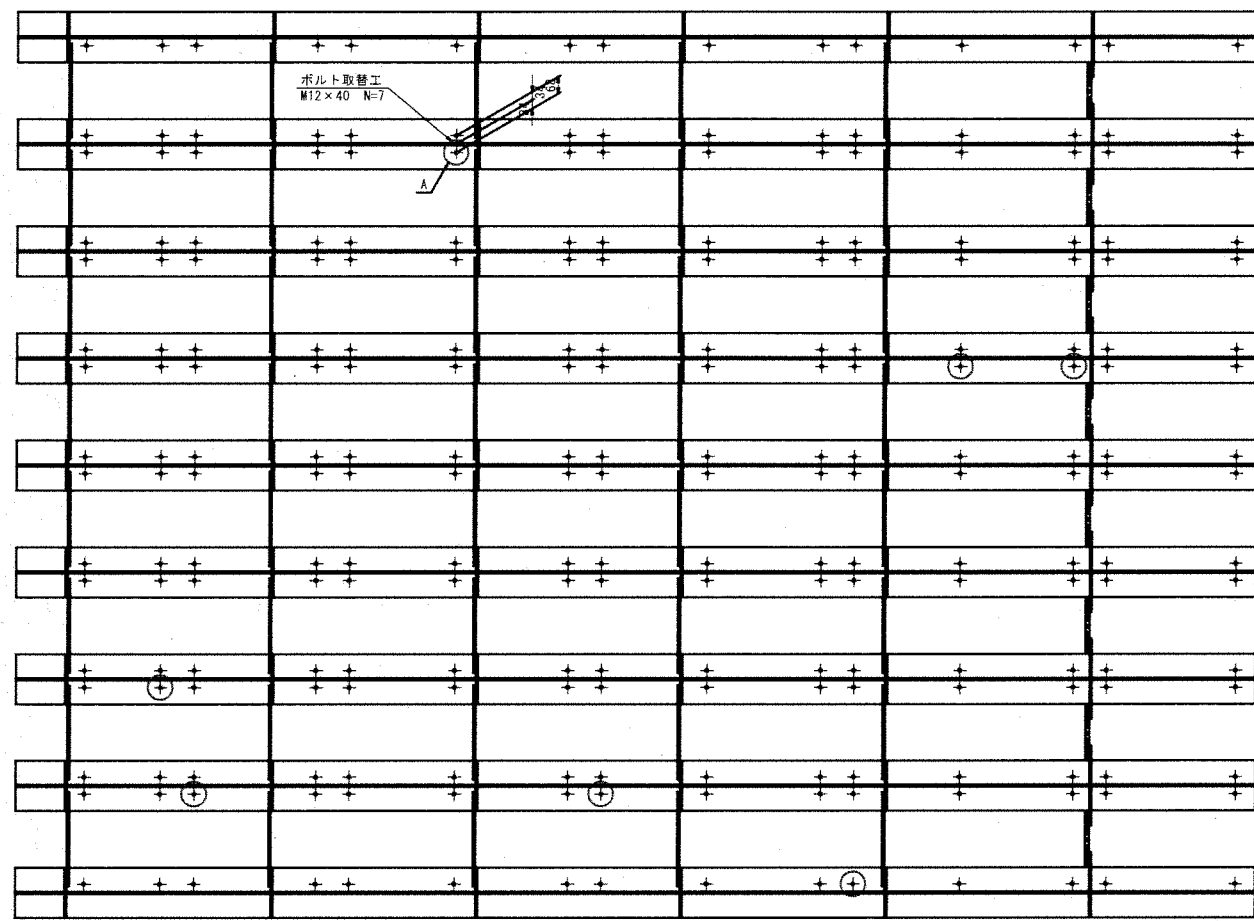
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 塗装塗替工図 (その3)		
図面番号	全 35 の 9	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

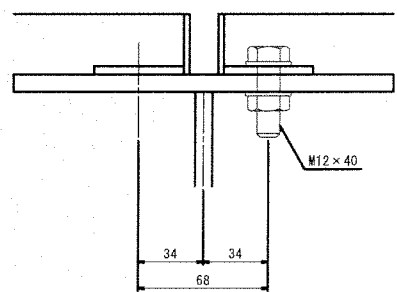
上段可動橋 ボルト取替工図
副橋 グレーチング部

平面図 S=1:15
ボルト穴位置図

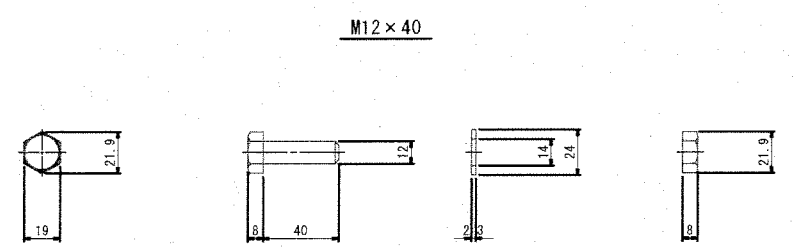
凡 例	
補修の種類	表示
ボルト取替工	



A部詳細図 S=1:2



ボルト詳細図 S=1:2



ボルト取替工 数量

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
ボルト・ナット	M12×40	N=7	組	7
		7組×76.17g (1組当たり)	kg	0.53

- ※ 施工前に現地に事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。
- ※ ナットのゆるみ箇所については現地で締め直しを行うこと。
- ※ ボルト、ナットの表面処理はルビゴールシステムとすること。

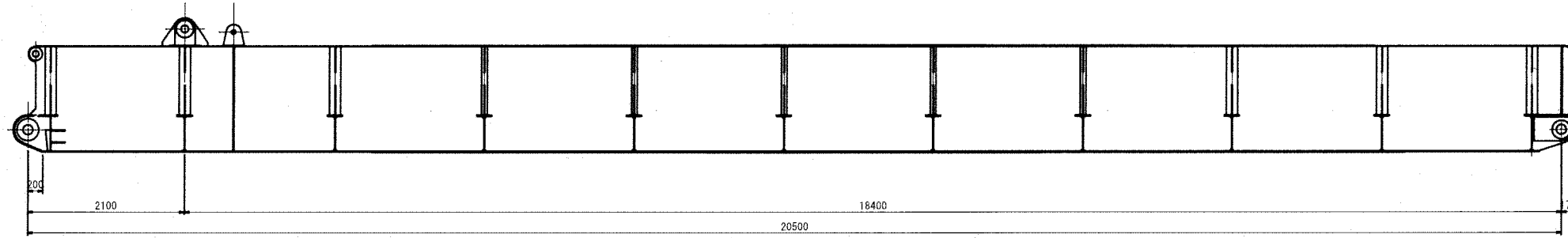
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	上段可動橋 ボルト取替工図		
図面番号	全 35 の 10	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

下段可動橋 現況一般図（その1）
主 橋

側面図 S=1:40

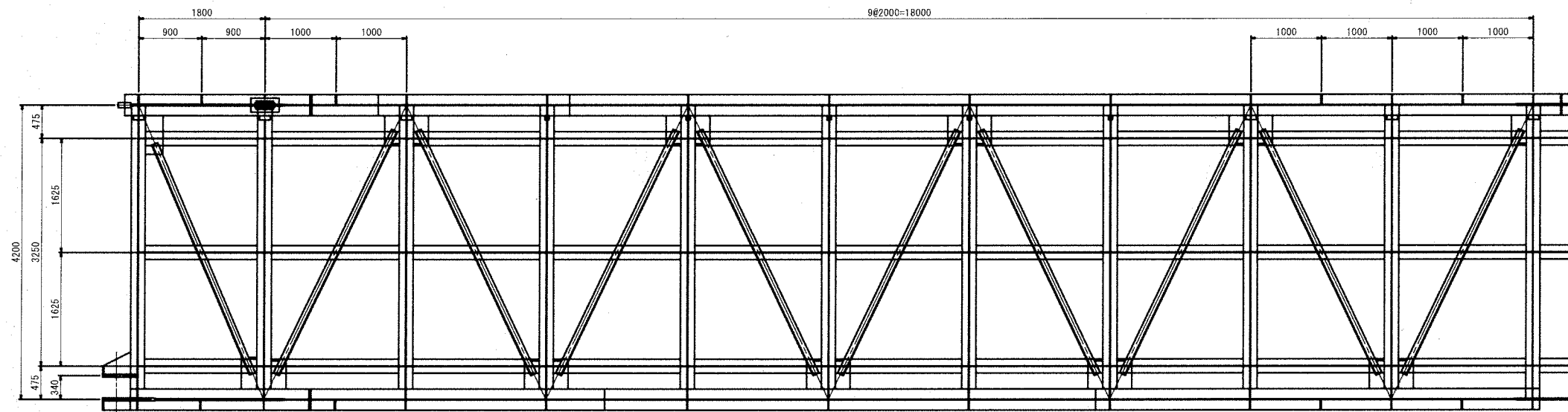
海側



陸側

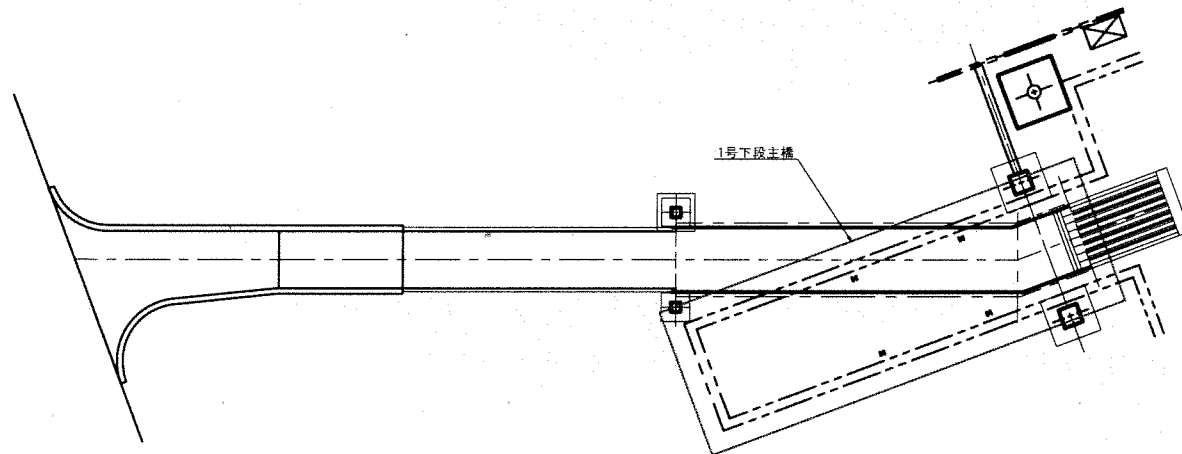
平面図 S=1:40

海側

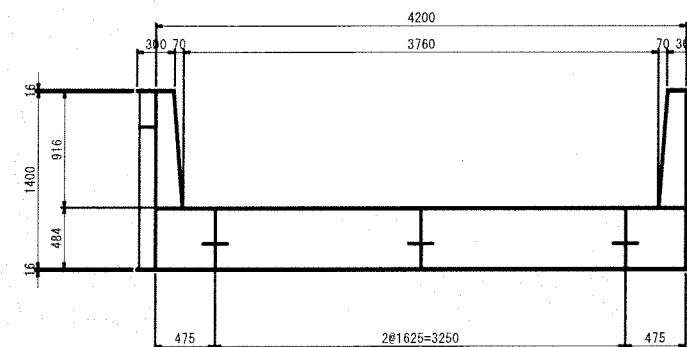


陸側

対象位置図 S=1:200



断面図 S=1:30



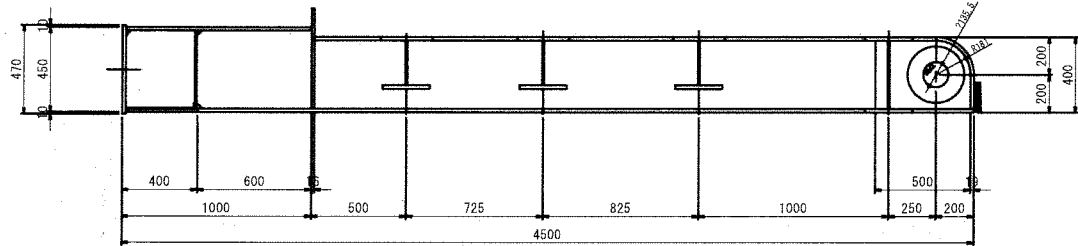
注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 現況一般図（その1）		
図面番号	全 35 の 11	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

下段可動橋 現況一般図（その2） S=1:20
副 橋

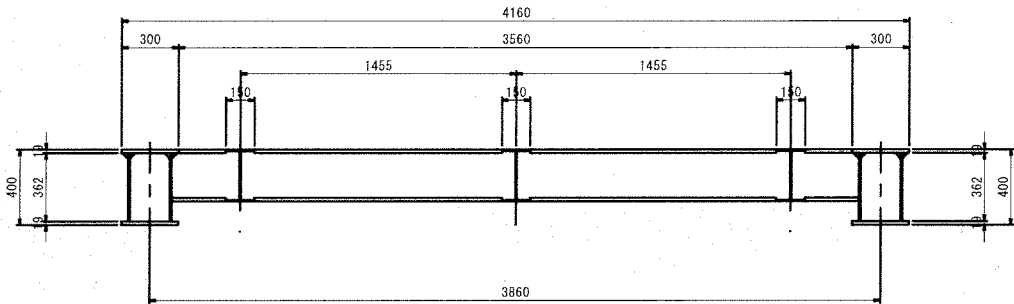
側面図

海側



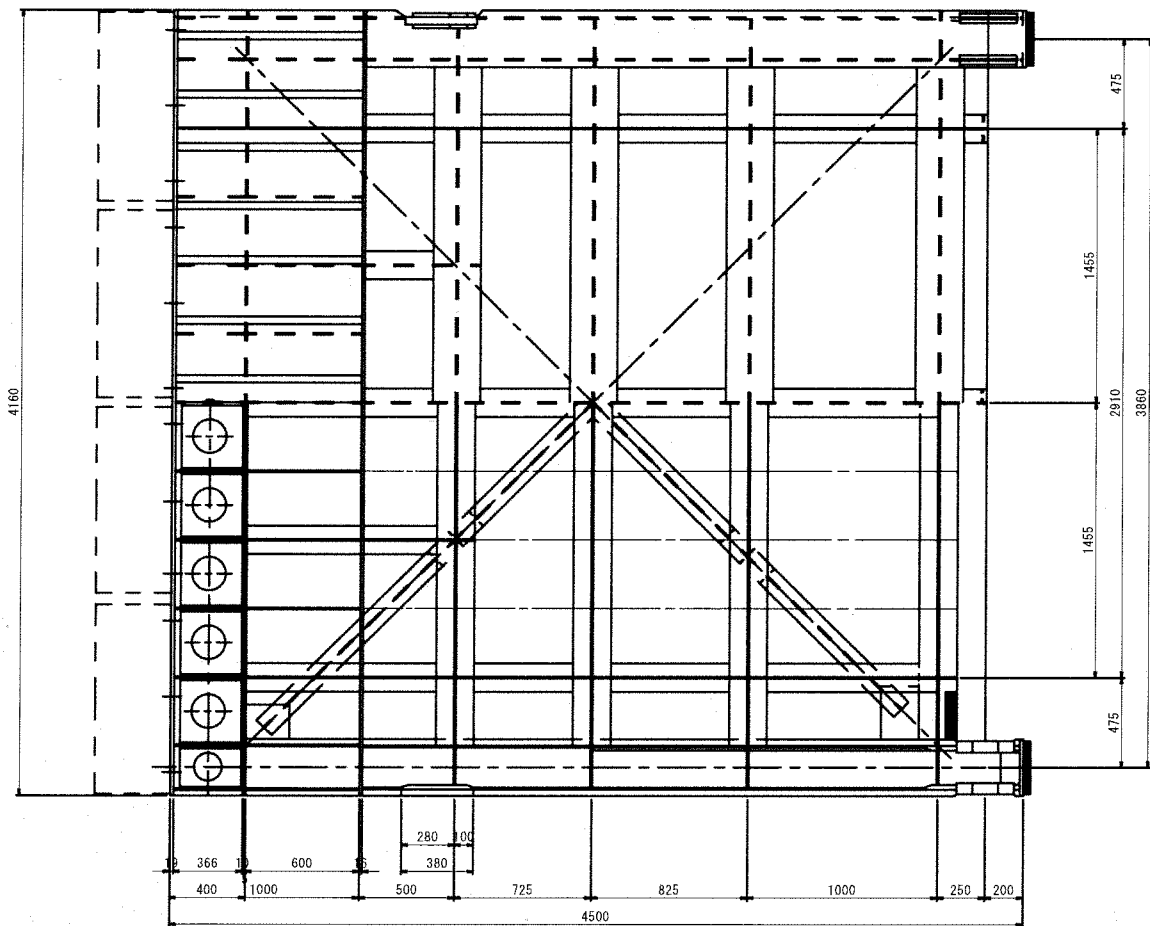
陸側

断面図



平面図

海側



陸側

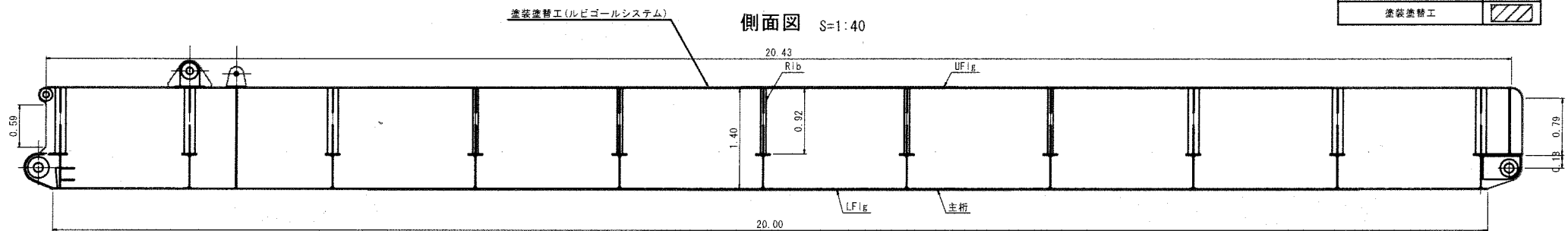
注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 現況一般図（その2）		
図面番号	全 35 の 12	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

下段可動橋 塗装塗替工図（その1）
主 橋

凡 例

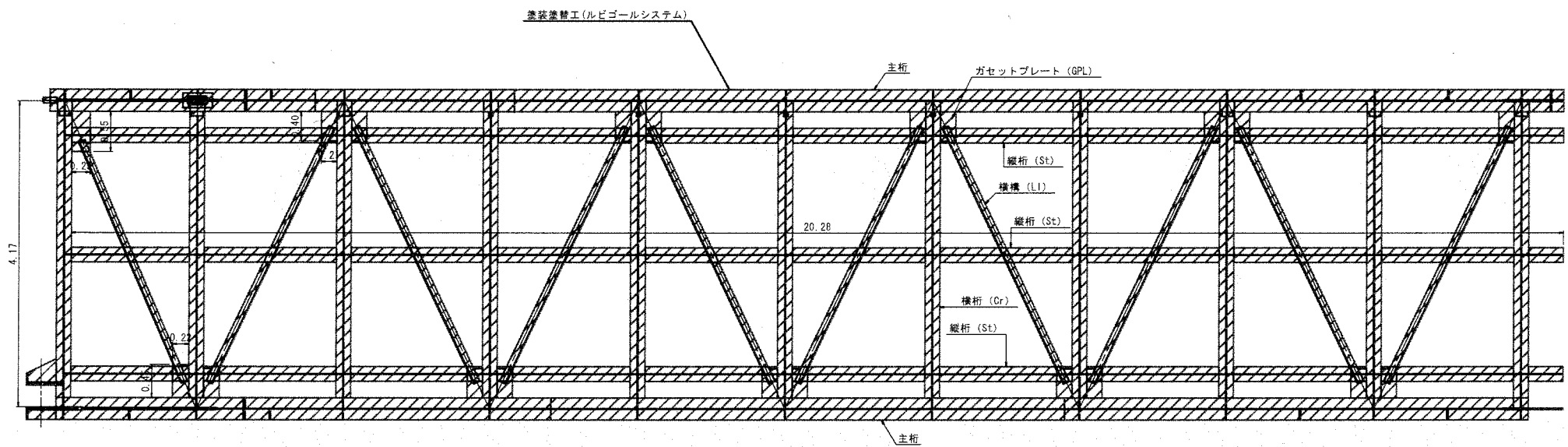
補修の種類	表示
塗装塗替工	



塗替塗装数量

2-2-UFlg	PL 300×10~22×21280
2-2-Web	PL 1400×9~25×20859
2-2-LFlg	PL 300×10~19×20000

平面図 S=1:40

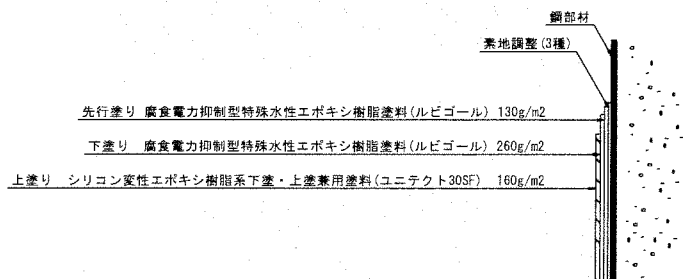


塗替塗装数量

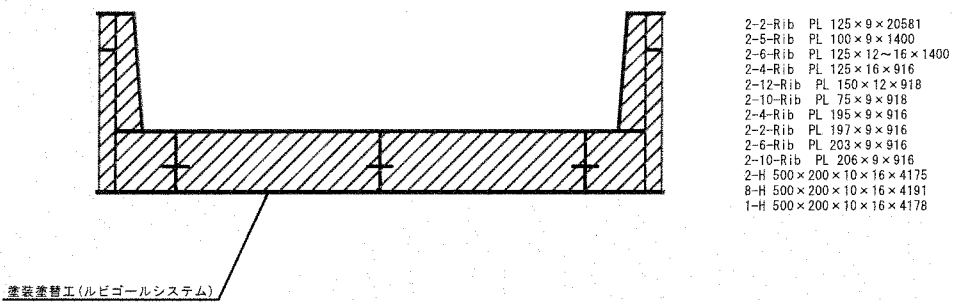
3-H 294×200×8×12×1790	2-GPL PL 250×10×550	1-L 90×90×10×3569
27-H 294×200×8×12×1990	2-GPL PL 220×10×450	9-L 90×90×10×3852
	2-18-GPL PL 210×10×400	

塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



断面図 S=1:30



塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20°C)
素地調整	3種: (動力工具処理) 磨サビ、こがサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗り	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	130 (30 μm)	1時間~7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	260 (60 μm)	24時間~7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料 (ユニテクト30SF)	160 (50 μm)	

※ 峽あい部・隅角部・添接部等については、先行塗装を推奨する。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

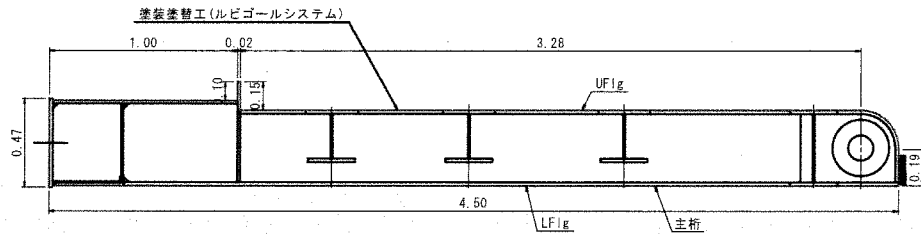
工 事 名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 塗装塗替工図 (その1)		
図面番号	全 35 の 13	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

下段可動橋 塗装塗替工図（その2） S=1:20
副 橋

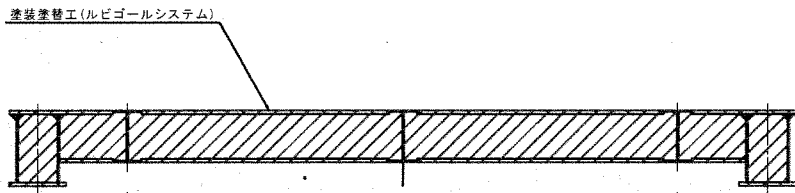
凡 例

補修の種類	表示
塗装塗替工	

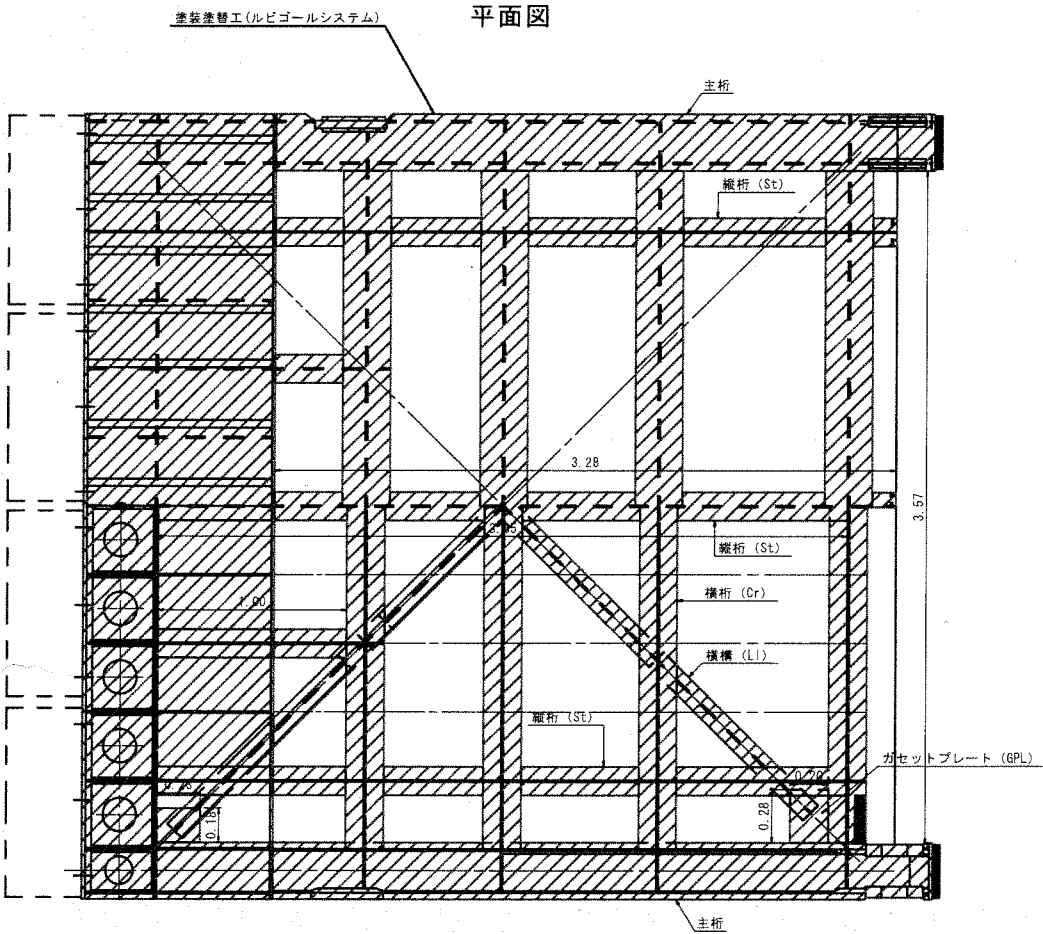
側面図



断面図

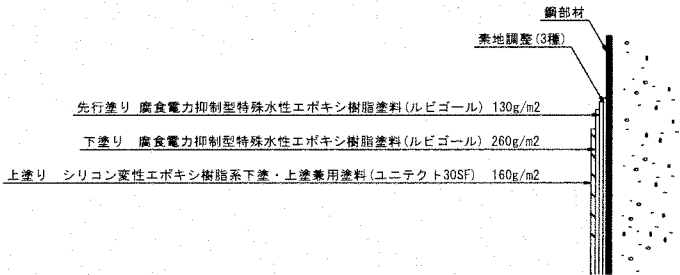


平面図



塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



2-2-UF Ig PL 300×19×3779
2-2-Web PL 418×10×366
2-2-Web PL 415×10×605
2-2-Web PL 362×10×3484
2-2-LF Ig PL 300×19×4100

2-4-UF Ig PL 275×19×3560
2-Web PL 362×12×3629
2-3-Web PL 237×12×3629
2-LF Ig PL 250×19×3560
2-3-LF Ig PL 250×19×3629

2-3-UF Ig PL 150×8×2195
2-2-UF Ig PL 150×8×347
2-3-Web PL 259×8×2992
2-9-Web PL 418×8×366
2-9-Web PL 301×8×605
2-4-Web PL 117×8×200
2-5-Web PL 109×8×200
2-2-Web PL 132×8×237
2-3-Web PL 106×8×200
2-3-Web PL 226×8×372
2-2-Web PL 259×8×478
2-3-LF Ig PL 150×8×2899
2-2-LF Ig PL 150×8×980

2-2-PL 110×10×4748
2-PL 95×8×4740
2-2-PL 110×10×4748
2-PL 95×8×4748

塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	3種：(動力工具処理) 層サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗リ	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	130 (30 μm)	1時間～7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	260 (60 μm)	24時間～7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料 (ユニテクト30SF)	160 (50 μm)	

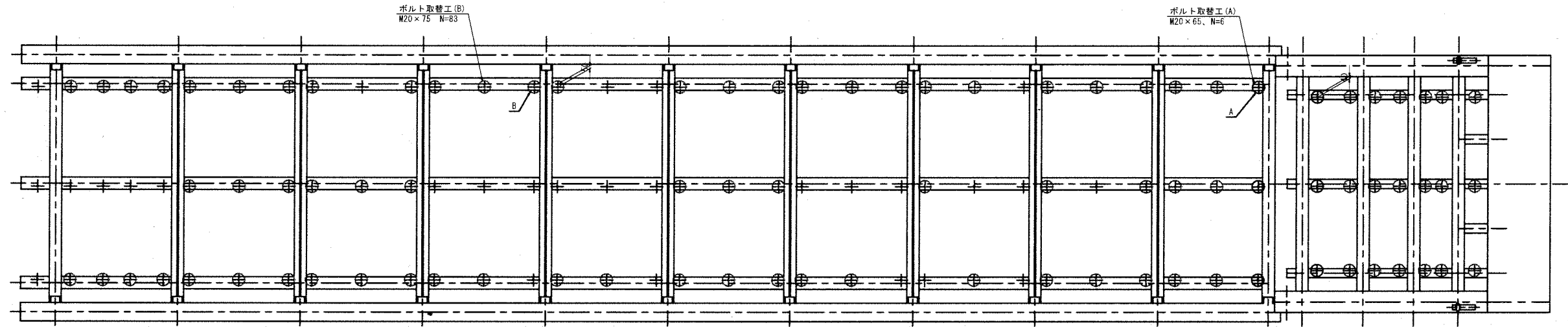
※ 嵌あい部・隅角部・溶接部等については、先行塗装を推奨する。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 塗装塗替工図 (その2)		
図面番号	全 35 の 14	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

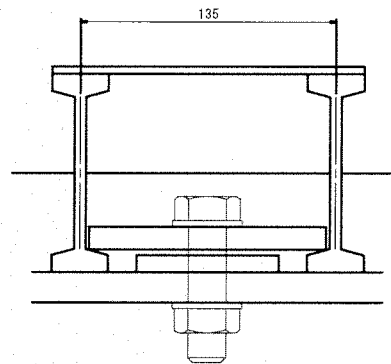
下段可動橋 ボルト取替工図
主橋・副橋 グレーチング部

平面図 S=1:40
ボルト穴位置図



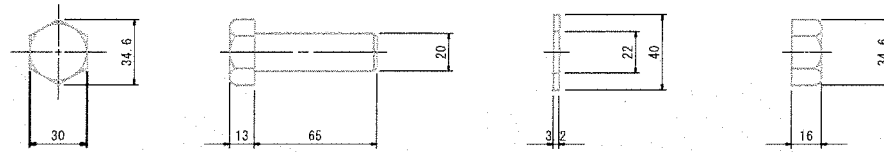
凡 例	
補修の種類	表示
ボルト取替工 (A)	
ボルト取替工 (B)	

A部詳細図 S=1:2



A部ボルト S=1:2
N=6

M20 x 65



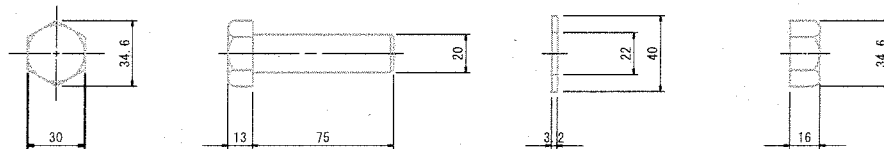
ボルト取替工 数量

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
ボルト・ナット	M20 x 65	N=6	組	6
		6 x 312.89g (1組当たり)	kg	1.88
	M20 x 75	N=83	組	83
		83 x 333.99g (1組当たり)	kg	27.72

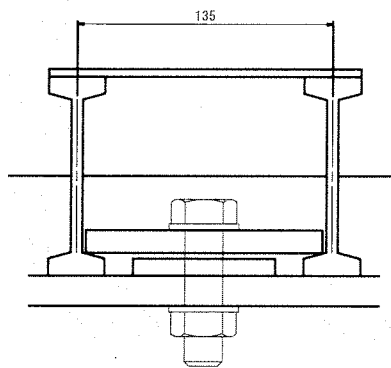
※ 施工前に現地にて事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。
※ ナットのゆるみ箇所については現地で締め直しを行うこと。
※ ボルト、ナットの表面処理はルビゴールシステムとすること。

B部ボルト S=1:2
N=83

M20 x 75



B部詳細図 S=1:2



注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

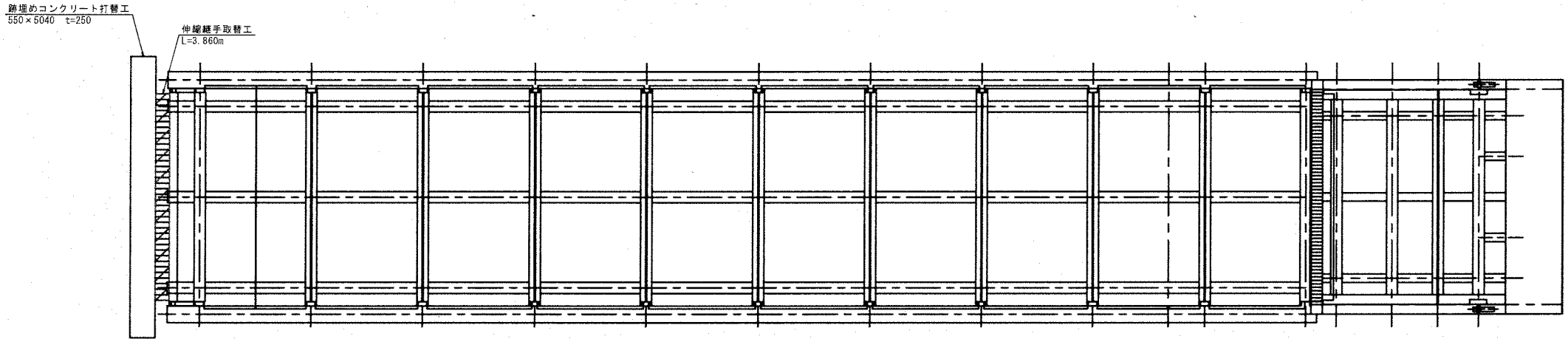
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 ボルト取替工図		
図面番号	全 35 の 15	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

下段可動橋 伸縮継手取替工・コンクリート打替工図

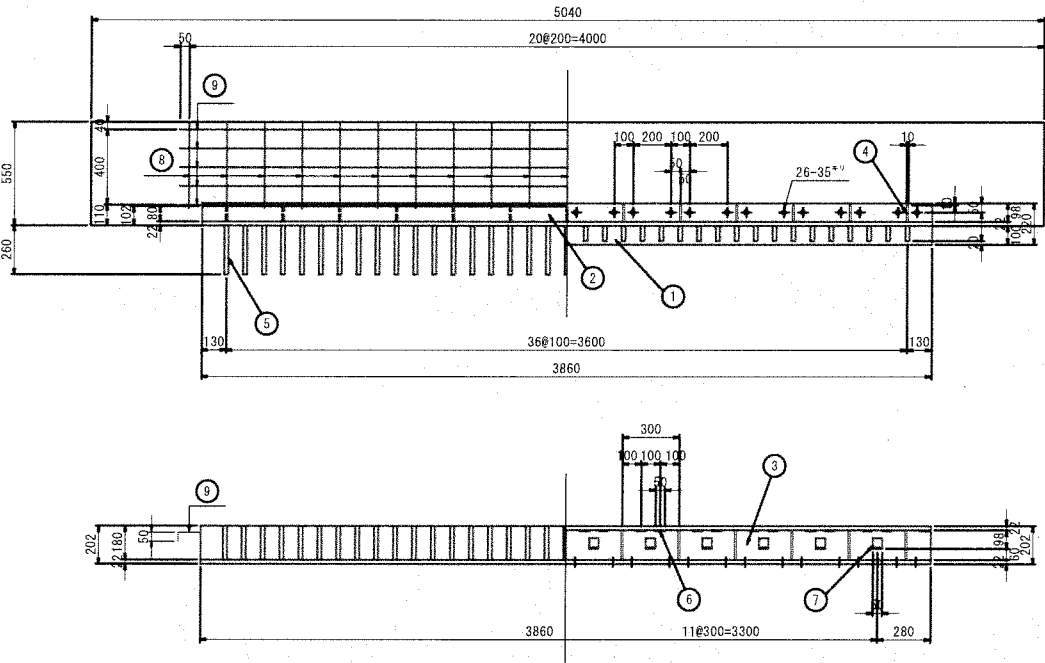
凡 例

補修の種類	表示
伸縮継手取替工	
跡埋めコンクリート打替工	

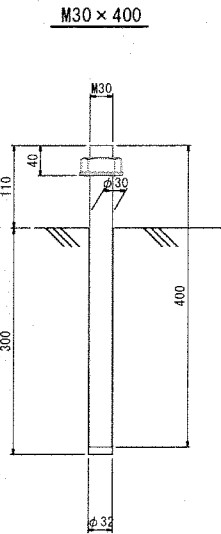
平面図 S=1:50



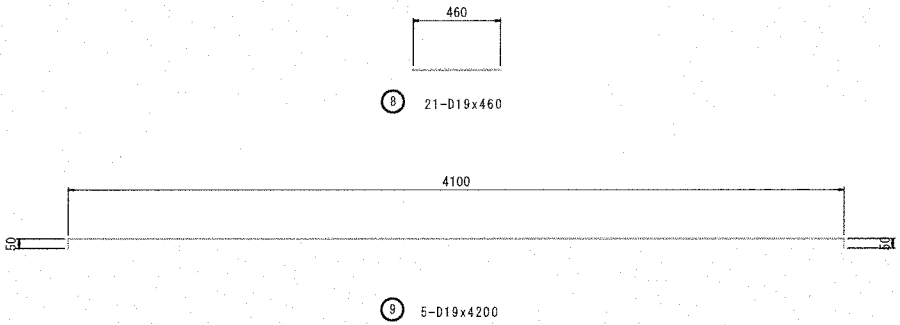
伸縮継手 S=1:20
SS400



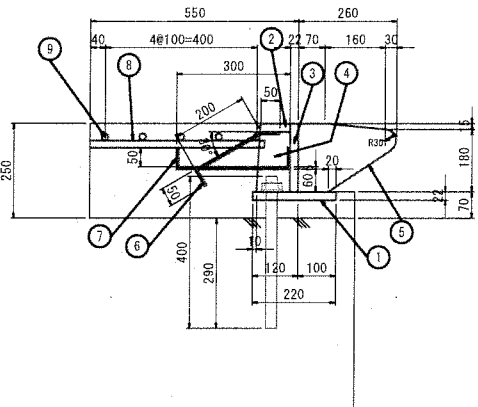
アンカーボルト詳細図 S=1:5



鉄筋詳細図



伸縮継手断面図 S=1:10



- ①1-PL 220×22×3860
②1-PL 80×22×3860
③1-PL 180×22×3860
④13-PL 88×10×158
⑤37-PL 180×22×260
⑥26-FB 50×6×300
⑦12-FB 50×6×400
⑧21-D19×460
⑨5-D19×4200

跡埋めコンクリート打替工 数量

名称	規格	算定式	単位	数量
はつり	コンクリート	$V=0.550 \times 5.040 \times 0.250$	m ³	0.693
敷運搬	鉄筋コンクリート	$V=0.550 \times 5.040 \times 0.250$	m ³	0.693
コンクリート打設	コンクリート	$V=0.550 \times 5.040 \times 0.250$	m ³	0.693

伸縮継手取替工 数量

名称	規格	算定式	単位	数量
伸縮継手	SS400	$L=3.860$	m	3.860
アンカーボルト	M30×400	$N=26$	本	26
コンクリート削孔	φ32×300	$N=26$	孔	26
注入材	エポキシ系樹脂	$W=(0.032^2 \times 0.030^2 \times \pi / 4 \times 0.300 \times 1200 \times 26$	kg	0.912

伸縮継手撤去数量 (参考)

名称	規格	算定式	単位	数量
伸縮継手	SS400 t=22	$((①+②+③+⑤) \times 7850 \text{kg/m}^3 \times (0.22 \times 3.86 + 0.08 \times 3.86 + 0.18 \times 3.86 + 0.18 \times 0.26) \times (0.022 \times 7850))$	kg	328.1
	SS400 t=10	$(④ \times 7850 \text{kg/m}^3 \times (0.088 \times 0.158) \times (0.010 \times 7850))$	kg	1.1
	SS400 t=10	$(⑥+⑦) \times 7850 \text{kg/m}^3 \times (0.050 \times 0.300 + 0.050 \times 0.400) \times (0.006 \times 7850)$	kg	1.6
	鉄筋	SD345 D19	kg	69.0
計				399.8

鉄筋表

鉄筋	規格	長さ	本数	重量	単位	数量
1	PL	220	1	0.022	m	3.860
2	PL	80	1	0.008	m	3.860
3	PL	180	1	0.018	m	3.860
4	PL	88	13	0.088	m	158
5	PL	180	37	0.180	m	260
6	FB	50	26	0.050	m	300
7	FB	50	26	0.050	m	400
8	D19	460	21	0.021	m	460
9	D19	4200	5	0.005	m	4200

注記)

- 施工にあたっては、現地計測を行い寸法の確認を行う事。
- 鉄筋の材質は、全てSD345とする。
- コンクリートの設計基準強度は、30N/mm²とする。
- 伸縮継手の表面処理は溶融亜鉛めっき (HDZ777) 仕上げとする。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

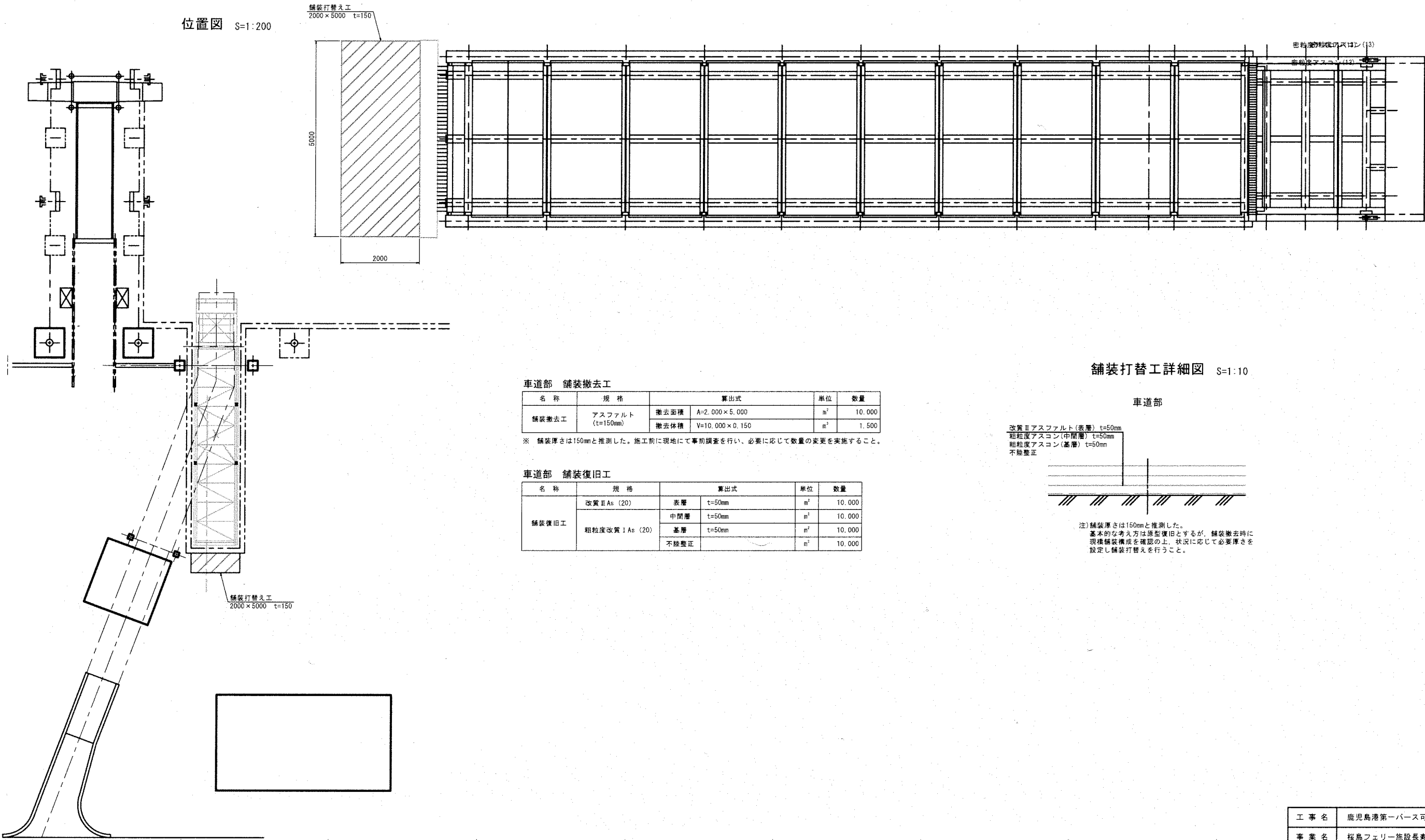
工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 伸縮継手取替工・コンクリート打替工図		
図面番号	全 35 の 16	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

下段可動橋 取付舗装打替工図

凡 例	
補修の種類	表示
舗装打替工	

平面図 S=1:50

位置図 S=1:200



車道部 舗装撤去工

名 称	規 格	算出式		単位	数量
舗装撤去工	アスファルト (t=150mm)	撤去面積	$A=2,000 \times 5,000$	m^2	10,000
		撤去体積	$V=10,000 \times 0.150$	m^3	1,500

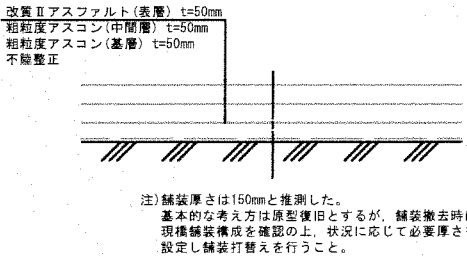
※ 舗装厚さは150mmと推測した。施工前に現地に事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。

車道部 舗装復旧工

名 称	規 格	算出式		単位	数量
舗装復旧工	改質II As (20)	表層	t=50mm	m^2	10,000
		中間層	t=50mm	m^2	10,000
	粗粒度改質I As (20)	基層	t=50mm	m^2	10,000
		不陸整正		m^2	10,000

舗装打替工詳細図 S=1:10

車道部

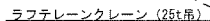


工 事 名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 取付舗装打替工図		
図面番号	全 35 の 17	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

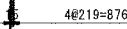
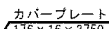
主 橋

補修の種類	表示
グレーチング取替工	

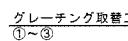
位置図 S=1:200



グレーチング詳細図 S=1:20

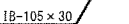
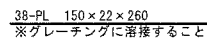


平面図 S=1:50
グレーチング敷込図



矢視A $S=1:5$

矢視A' S=1:5



矢視B S=1:5

矢視C S=1:5



矢視D S=1:15

矢視E S=1:15

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
グレーティング撤去		N=3	枚	3
	撤去重量（参考）	①+②+③ 1520.0+670.0+1350.0	kg	3540.0
グレーティング設置		N=3	枚	3
ラフテレーンクレーン	25t吊	d=2	台	1

※ 施工前に現地にて事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。
※ グレーチングの表面処理は溶融亜鉛めっき仕上げとする。

()内寸法は①の橋鋼板長さ455の区間に入るリブを示す。

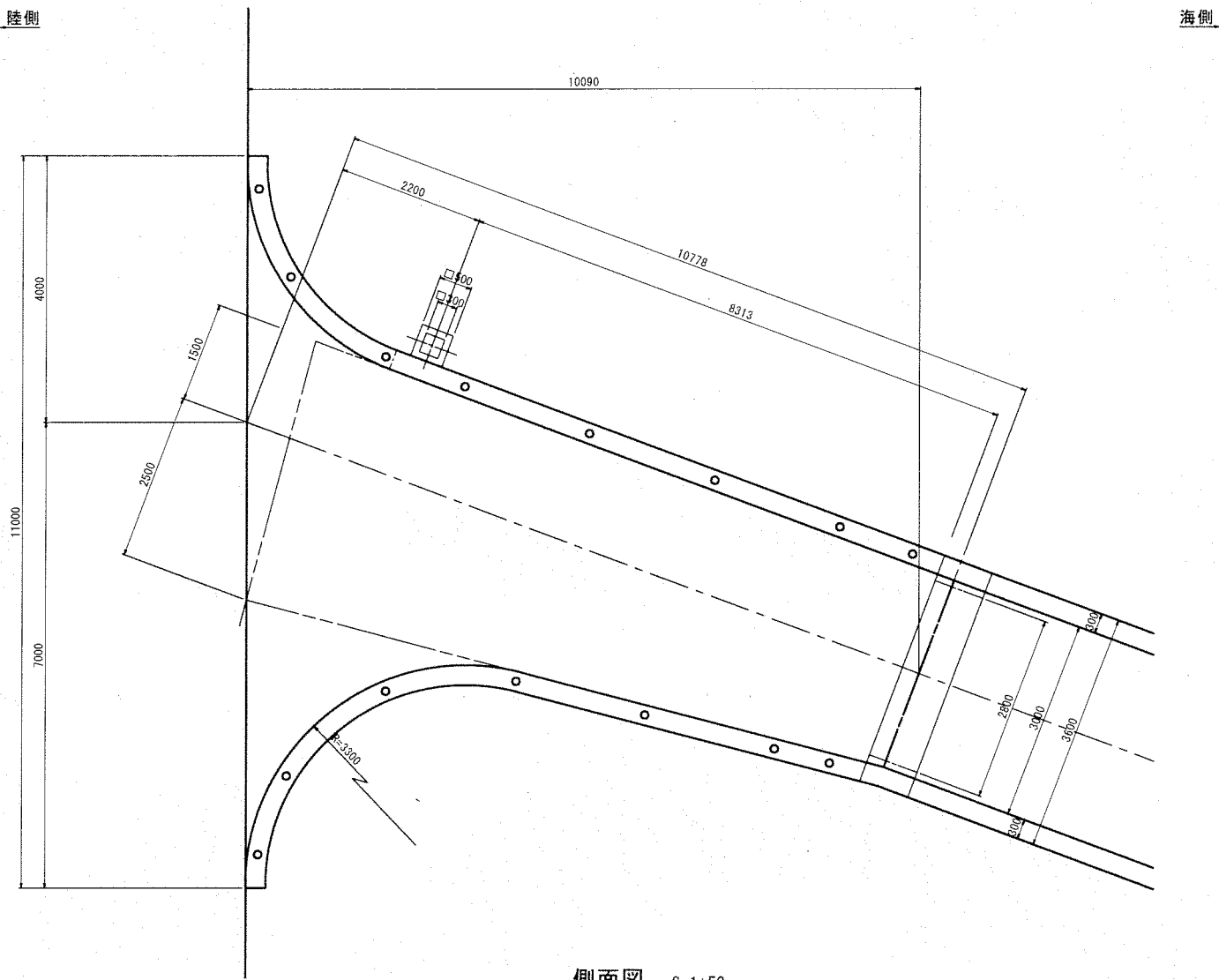
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。

作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

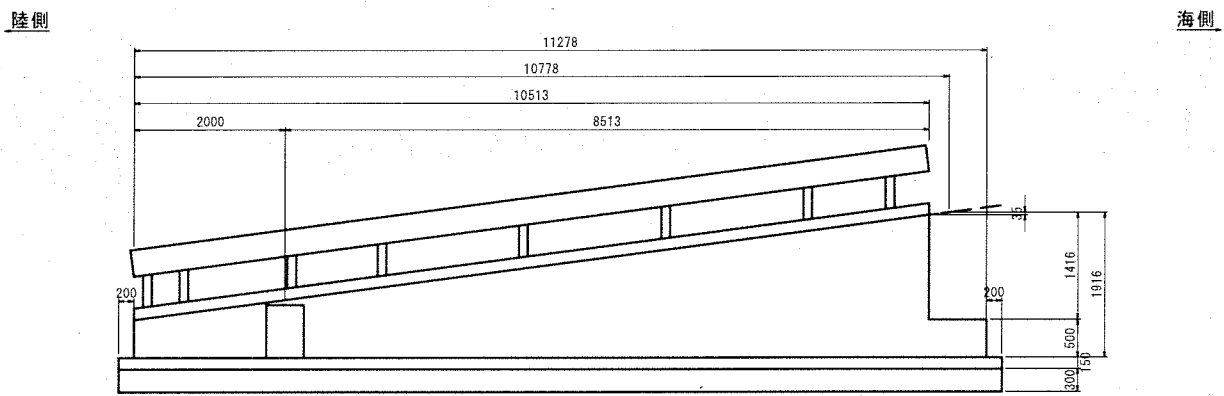
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	下段可動橋 グレーティング取替工図		
図面番号	全 35 の 18	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

陸橋（１） 現況一般図

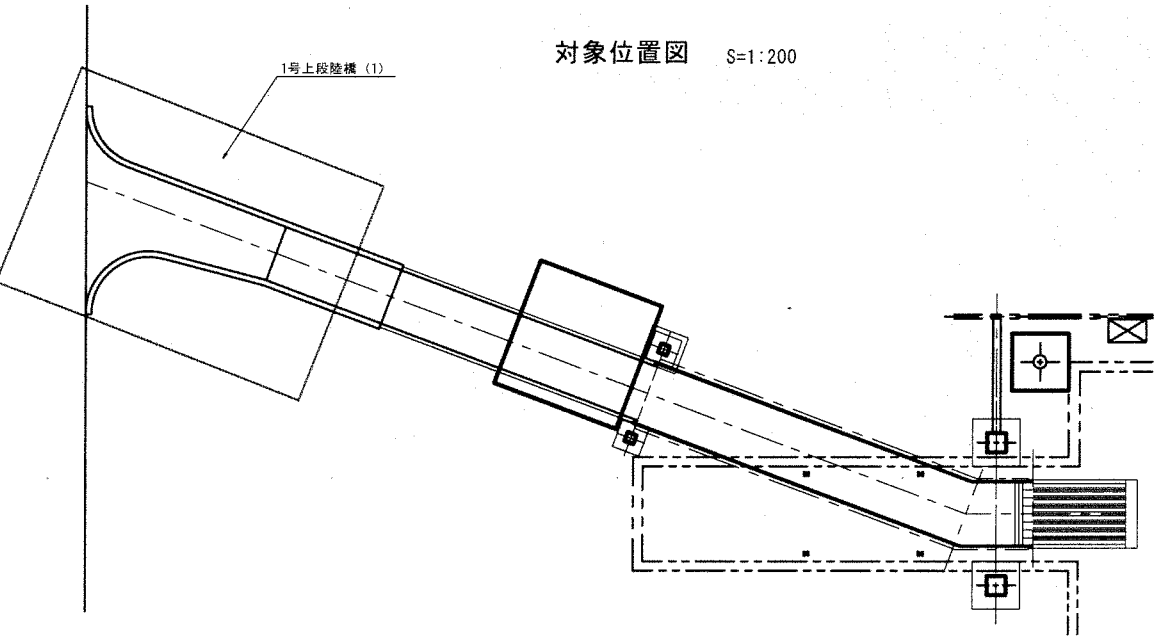
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50



対象位置図 S=1:200

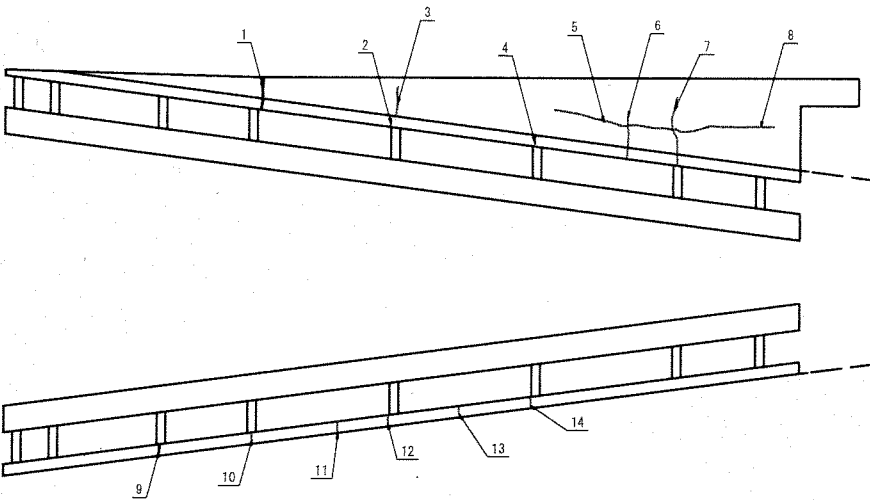


注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

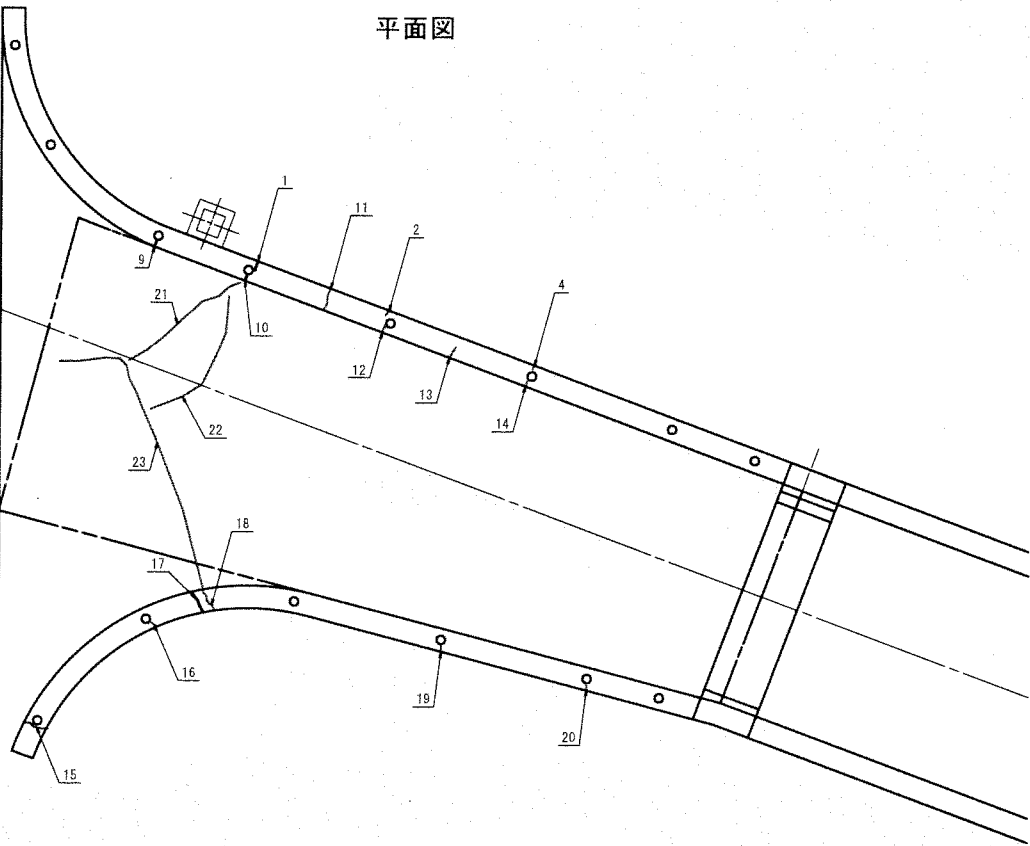
工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	陸橋（１） 現況一般図		
図面番号	全 35 の 19	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

陸橋（１） ひびわれ注入工図 S=1:50

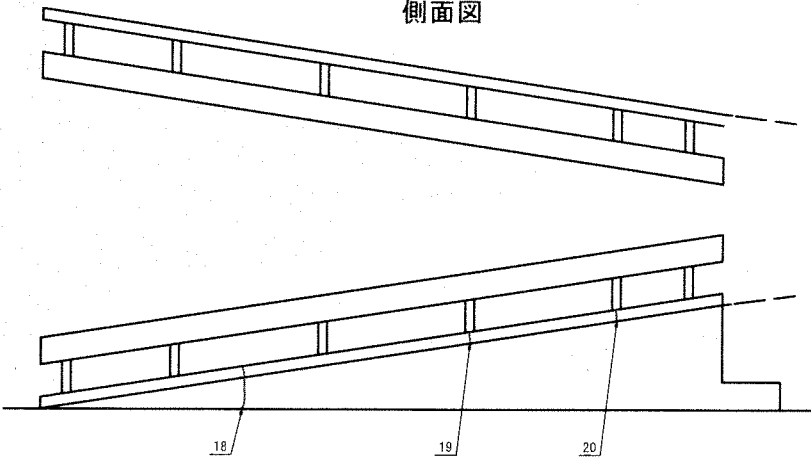
側面図



平面図



側面図



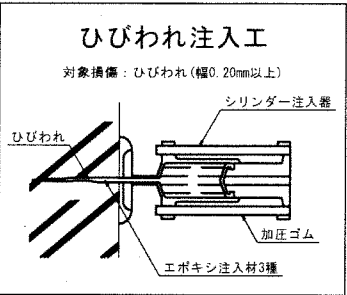
凡 例

補修の種類	表示
ひびわれ注入工	

ひびわれ注入工

損傷番号	0.5mm～1.0mm未満		幅×長さ
	幅(mm)	長さ(m)	
1	0.60	0.45	0.270
2	0.20	0.15	0.030
3	0.20	0.35	0.070
4	0.20	0.15	0.030
5	0.20	1.55	0.310
6	0.20	0.55	0.110
7	0.20	0.90	0.180
8	0.20	1.30	0.260
9	0.50	0.15	0.075
10	0.70	0.15	0.105
11	0.30	0.40	0.120
12	0.30	0.20	0.060
13	0.20	0.25	0.050
14	0.20	0.15	0.030
15	0.30	0.30	0.090
16	0.30	0.10	0.030
17	0.70	0.30	0.210
18	0.40	0.65	0.260
19	0.20	0.20	0.040
20	0.20	0.30	0.060
21	0.80	1.80	1.440
22	0.60	2.00	1.200
23	0.70	4.00	2.800
合計		16.55	7.910
平均ひびわれ幅(Σ(幅×長さ)/長さ合計)			t= 0.48 mm

※ 施工前に現地に事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。



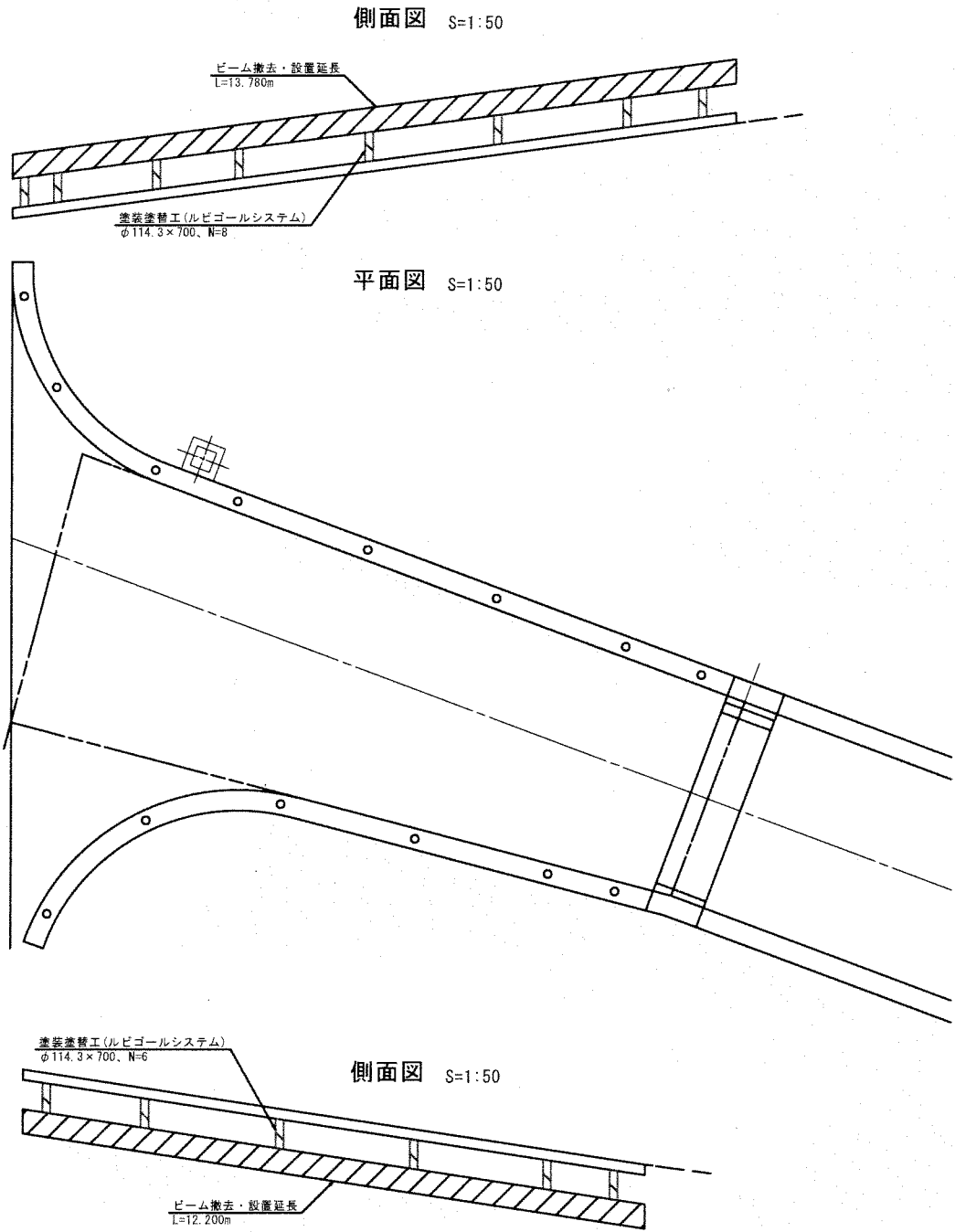
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	陸橋（１） ひびわれ注入工図		
図面番号	全 35 の 20	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

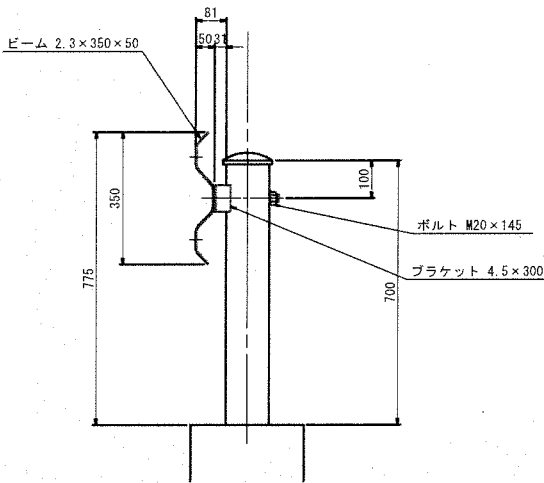
陸橋（１） 防護柵補修工図

凡 例

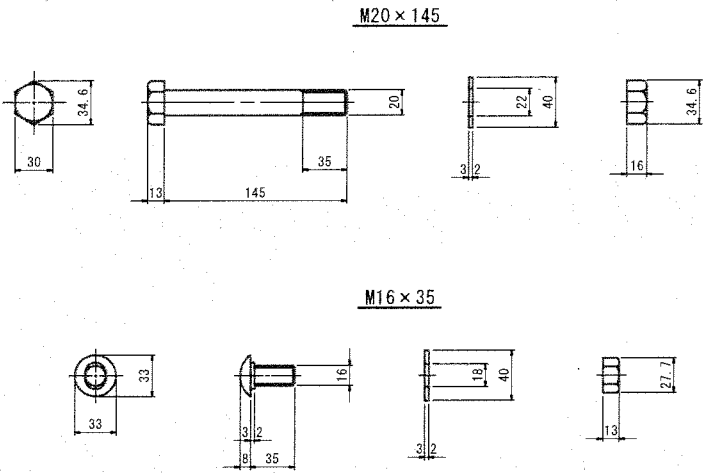
補修の種類	表示
ビーム撤去・設置	
塗装塗替工	



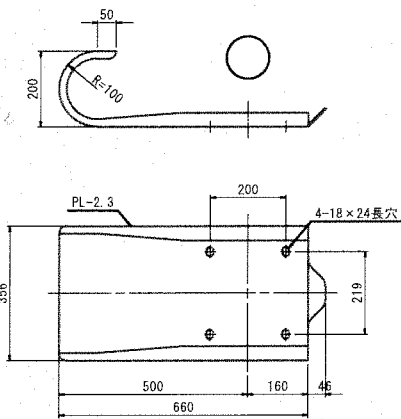
ガードレール断面詳細図 S=1:10



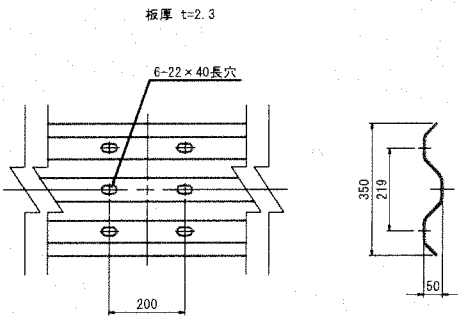
取付ボルト S=1:3



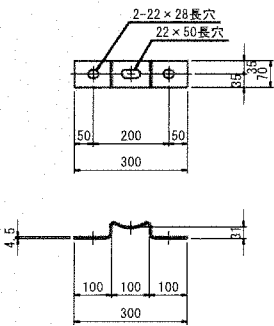
袖ビーム S=1:10



ビーム S=1:10

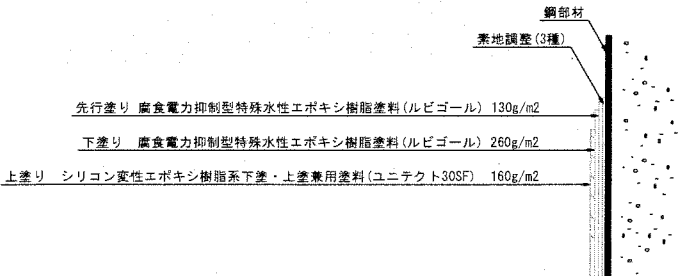


ブラケット S=1:10



塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



塗装塗替工 (ルビゴールシステム) 数量

名称	規格	算定式	単位	数量
塗装塗替工	φ114.3×700、N=14	$A=(\pi \times 0.05715^2 \times 2 + \pi \times 0.05715 \times 0.700) \times 14$	m ²	3.663

塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	3種: (動力工具処理) 塵サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗り	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	130 (30μm)	1時間~7日
下塗り	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料 (ルビゴール)	260 (60μm)	24時間~7日
上塗り	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗り・上塗り兼用塗料 (ユニテクト30SF)	160 (50μm)	24時間~7日

※ 嵌あい部・隅角部・添接部等については、先行塗装を推奨する。

防護柵補修工 数量

名称	規格	算定式	単位	数量
ビーム撤去延長	ガードレール	L=13.780+12.200	m	25.980
ビーム設置延長	ガードレール	L=13.780+12.200	m	25.980
巻袖ビーム	3.2×660	N=2+2	枚	4
ブラケット	4.5×300	N=8+6	個	14
ボルト・ナット	M20×145	N=8+6	個	14
	M16×35	N=30+24	個	54

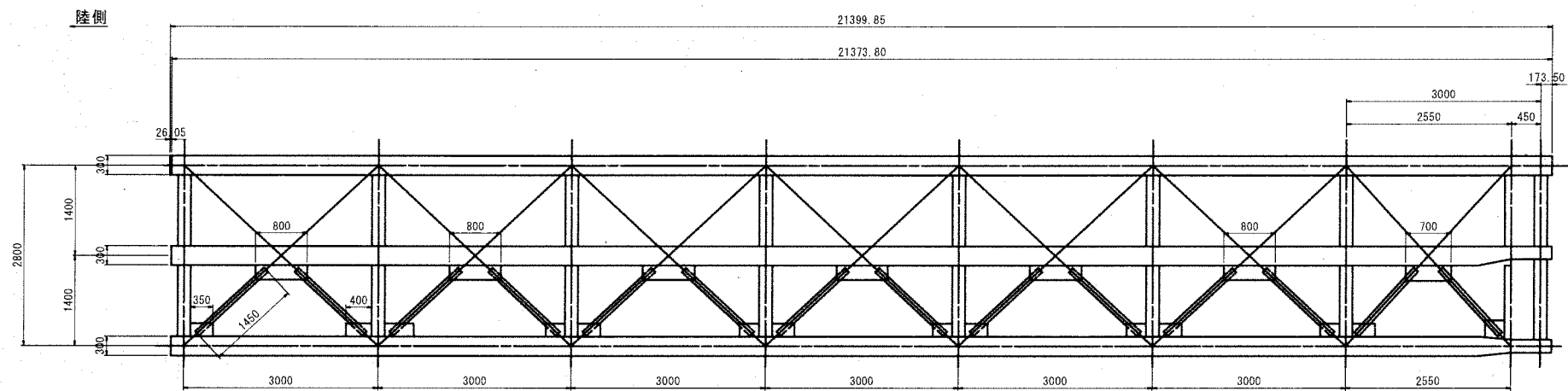
※ 施工前に現地に事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

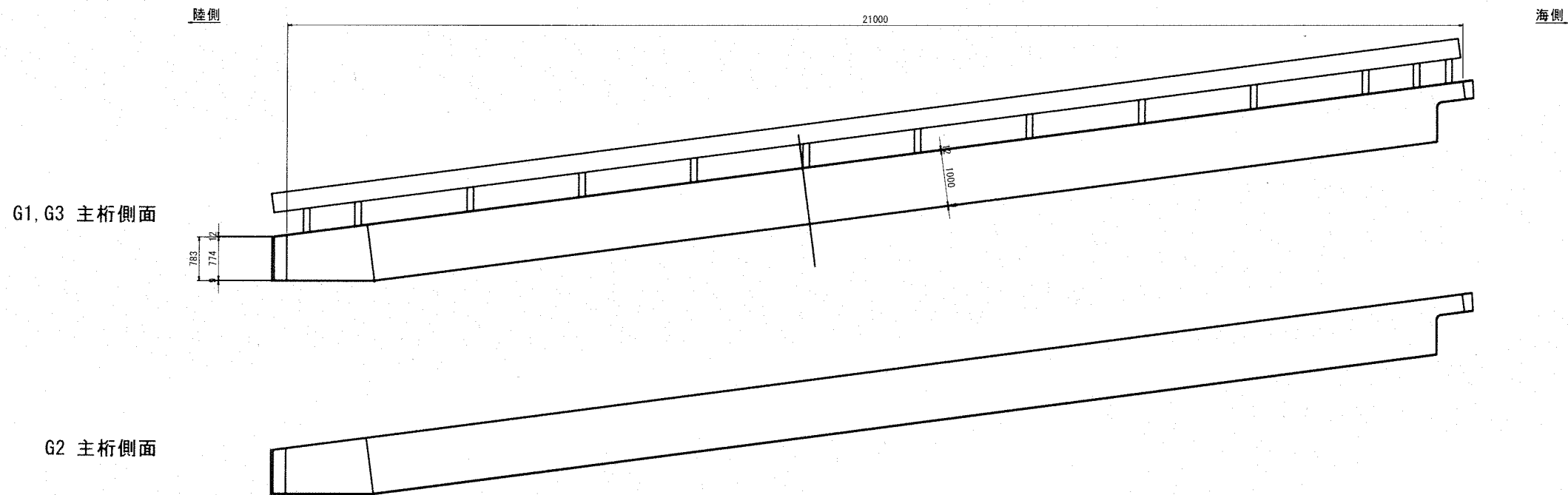
工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業
工事場所	鹿児島市 本港新町
図面種類	陸橋（１） 防護柵補修工図
図面番号	全 35 の 21 作成年月 令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課	

陸橋（2） 現況一般図

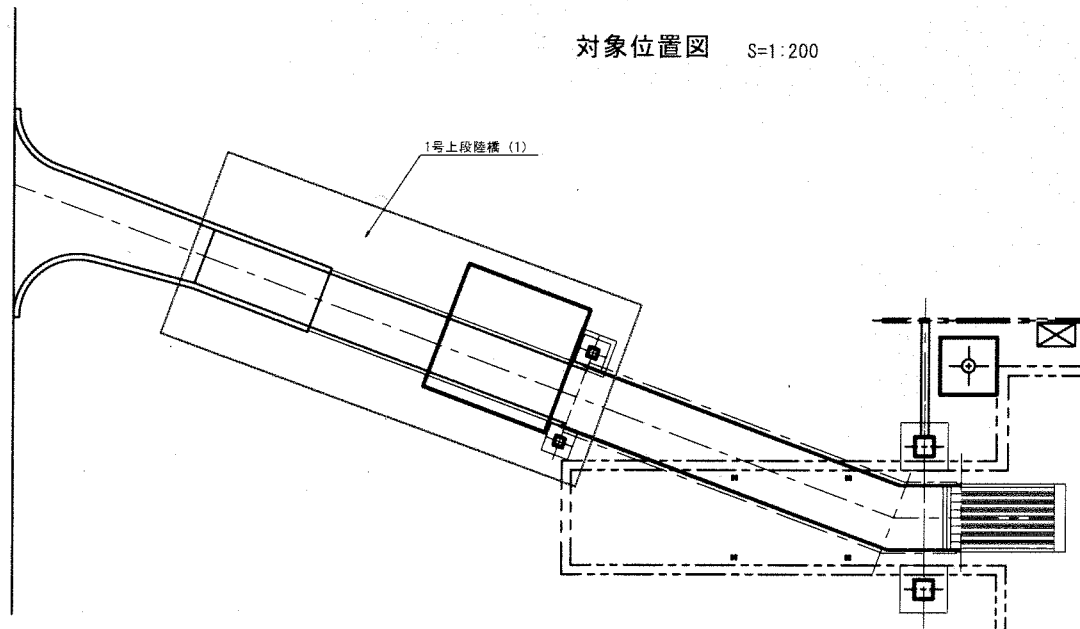
平面図 S=1:50



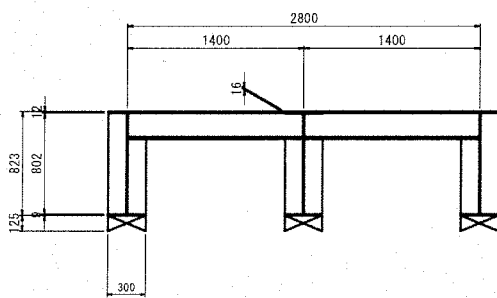
側面図 S=1:50



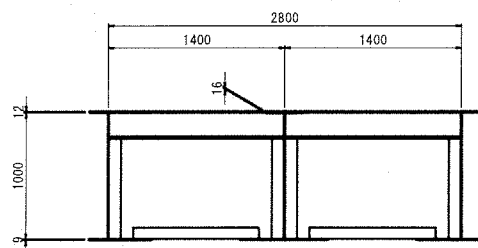
対象位置図 S=1:200



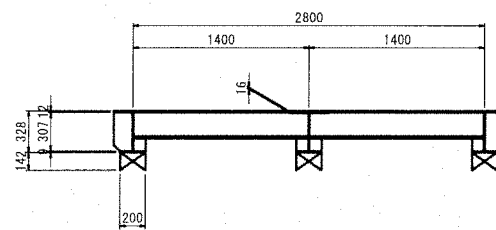
支承部断面(可動部) S=1:30



中間断面 S=1:30



支承部断面(固定部) S=1:30



注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

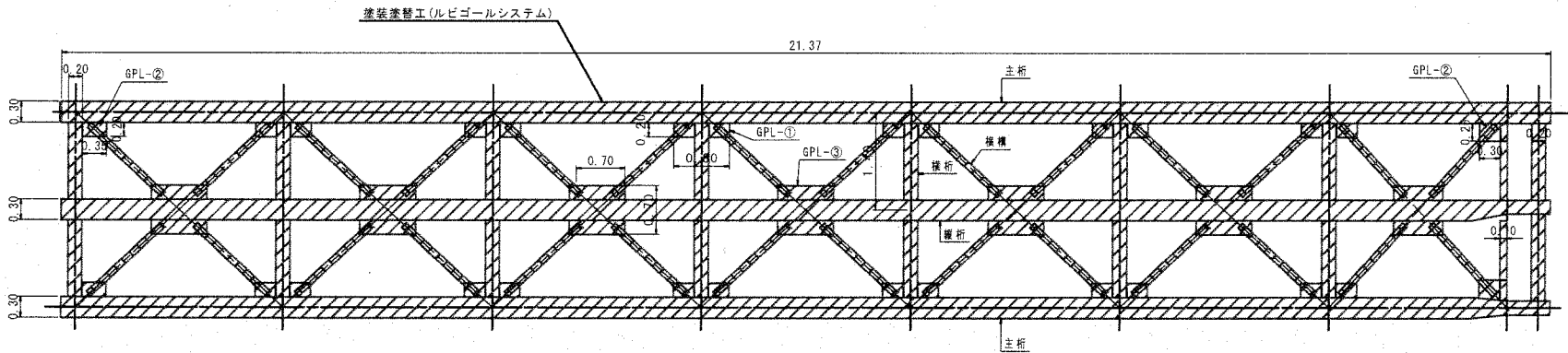
工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	陸橋（2） 現況一般図		
図面番号	全 35 の 22	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

陸橋（2） 塗装塗替工図

凡 例

補修の種類	表示
塗装塗替工	

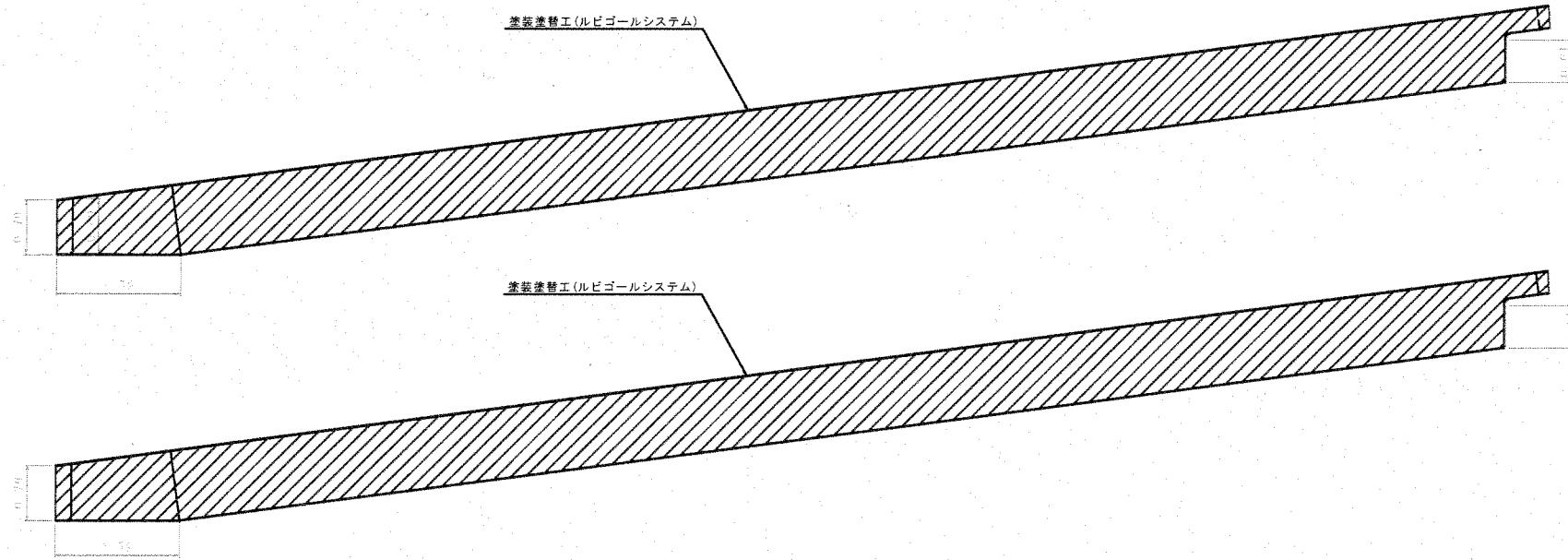
平面図 S=1:50



塗替塗装数量

16-H 200×200×8×12	24-L 90×90×7×1450
2-2-GPL PL 200×9×350	4-L 90×90×7×1360
2-24-GPL PL 200×9×800	2-L 90×90×7×1160
2-2-GPL PL 200×9×700	
2-2-GPL PL 300×9×400	
2-2-GPL PL 200×9×200	

側面図 S=1:50



塗替塗装数量

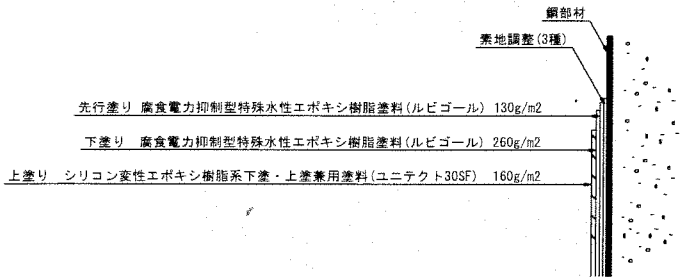
2-3-UF Ig PL 300×12~16×21555
2-3-Web PL 1000×9×21660
2-3-LF Ig PL 300×9~16×21046

G1, G3 主桁側面

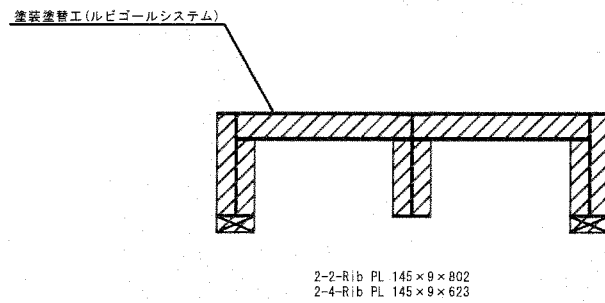
G2 主桁側面（縦桁）

塗装塗替工 詳細図

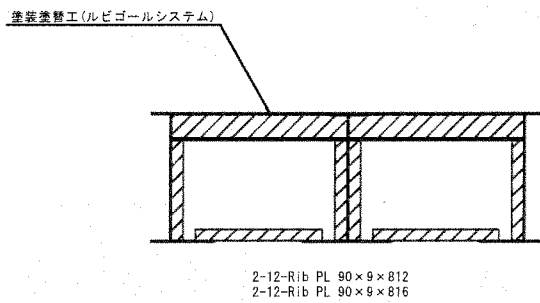
ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



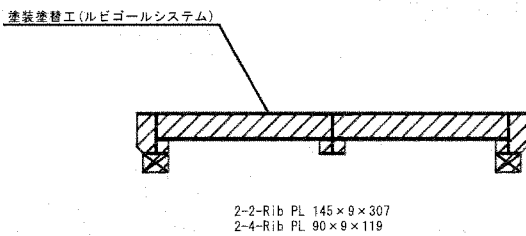
支承部断面(可動部) S=1:30



中間断面 S=1:30



支承部断面(固定部) S=1:30



塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20℃)
素地調整	3種: (動力工具処理) 層サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗り	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料(ルビゴール)	130 (30μm)	1時間~7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料(ルビゴール)	260 (60μm)	24時間~7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料(ユニテクト30SF)	160 (50μm)	

※ 峽あい部・隅角部・溶接部等については、先行塗装を推奨する。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

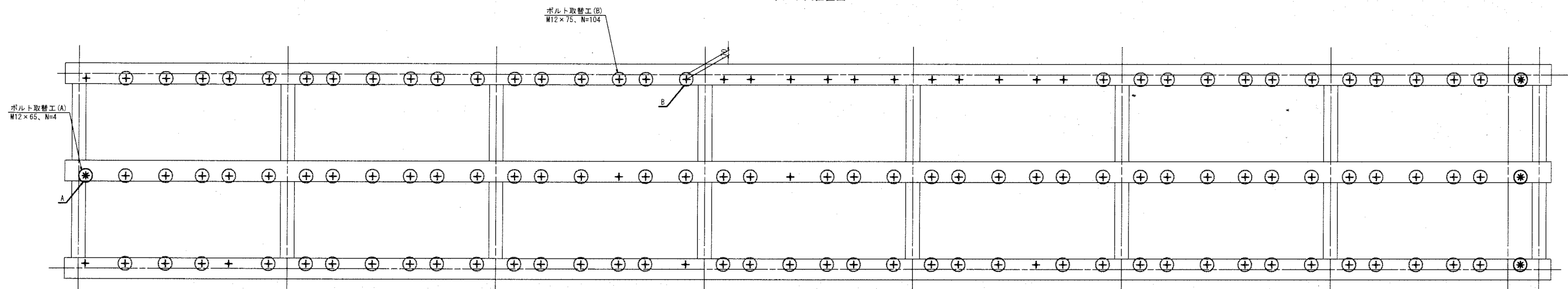
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業
工事場所	鹿児島市 本港新町
図面種類	陸橋（2） 塗装塗替工図
図面番号	全 35 の 23
作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課	

陸橋（２） ボルト取替工図
グレーチング部

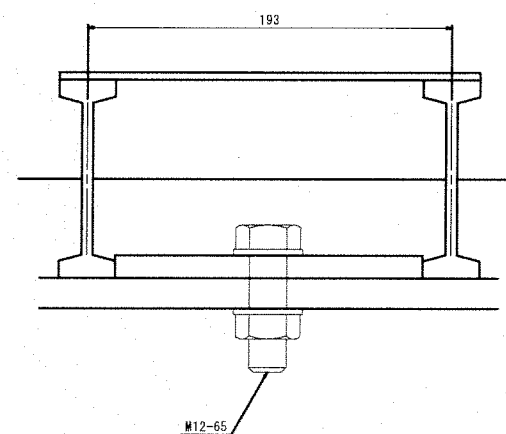
凡 例

補修の種類	表示
ボルト取替工 (A)	
ボルト取替工 (B)	

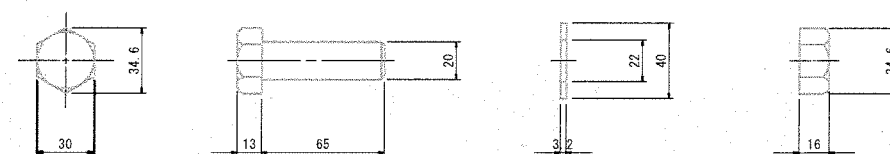
平面図 S=1:30
ボルト穴位置図



A部詳細図 S=1:2



A部ボルト S=1:2
N=4
M20×65

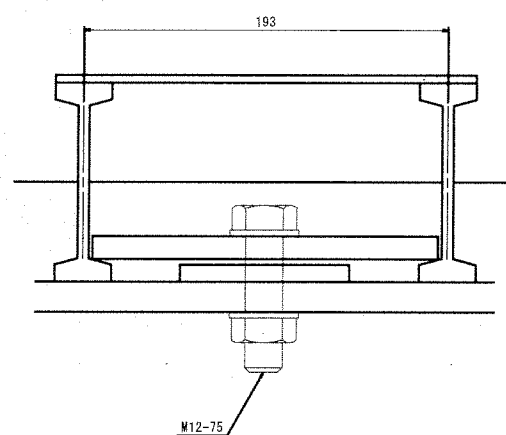


ボルト取替工 数量

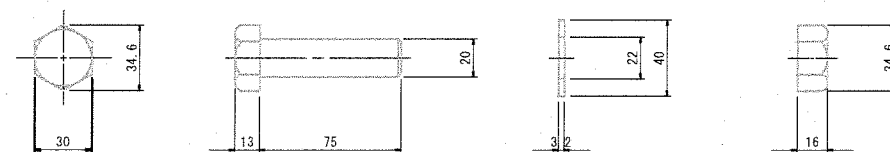
名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
ボルト・ナット	M20×65	N=4	組	4
		4×312.89g (1組当たり)	kg	1.25
	M20×75	N=104	組	104
		104×333.99g (1組当たり)	kg	34.73

※ 施工前に現地にて事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。
※ ナットのゆるみ箇所については現地で締め直しを行うこと。
※ ボルト、ナットの表面処理はルビゴールシステムとすること。

B部詳細図 S=1:2



B部ボルト S=1:2
N=104
M20×75



この図面は、設計図書に準拠して作成されたものであり、
工事現場での使用に当たっては、必ず設計図書を確認すること。

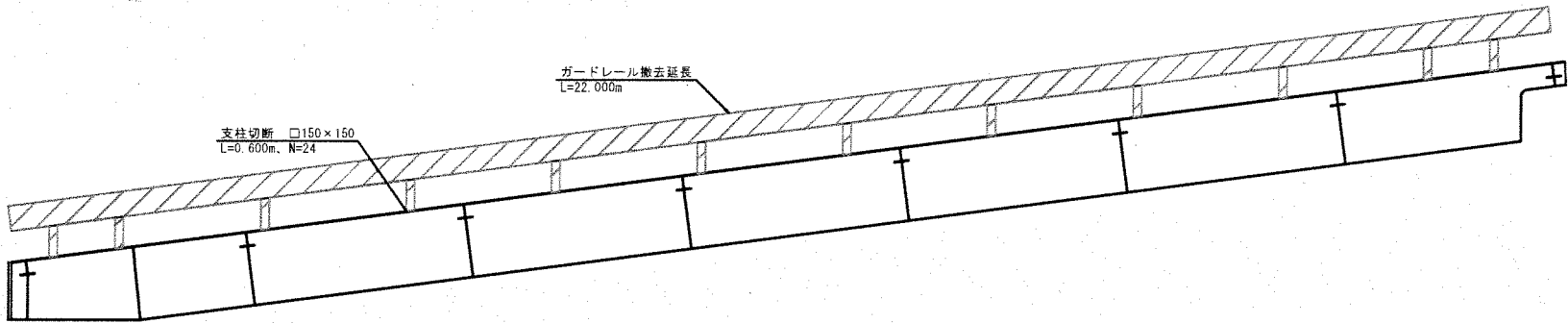
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	陸橋（２） ボルト取替工図		
図面番号	全 35 の 24	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

陸橋（２） 防護柵取替工図

凡 例

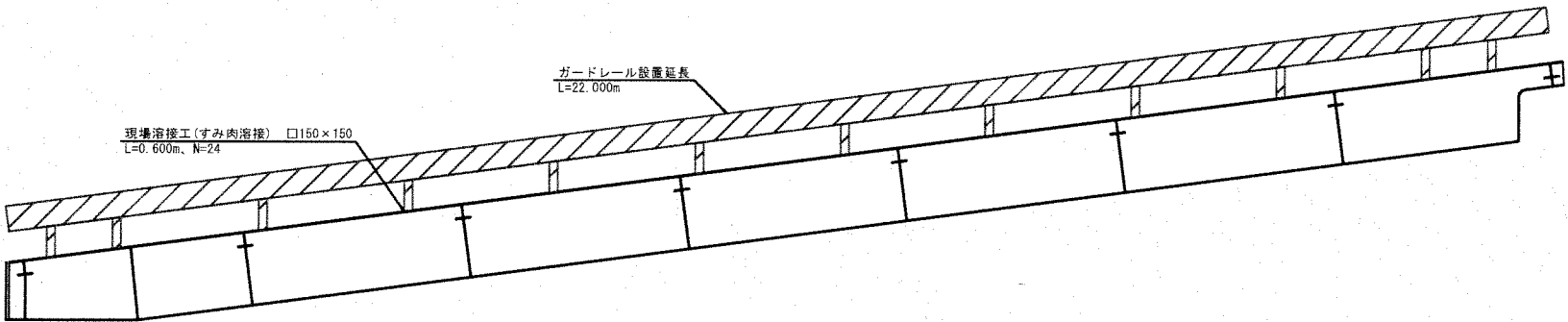
補修の種類	表示
ガードレール撤去	
ガードレール設置	

側面図 S=1:50
ガードレール撤去



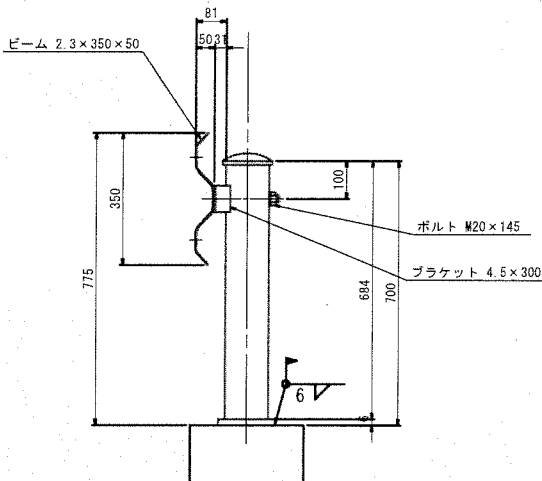
G1, G3 主桁側面

ガードレール設置

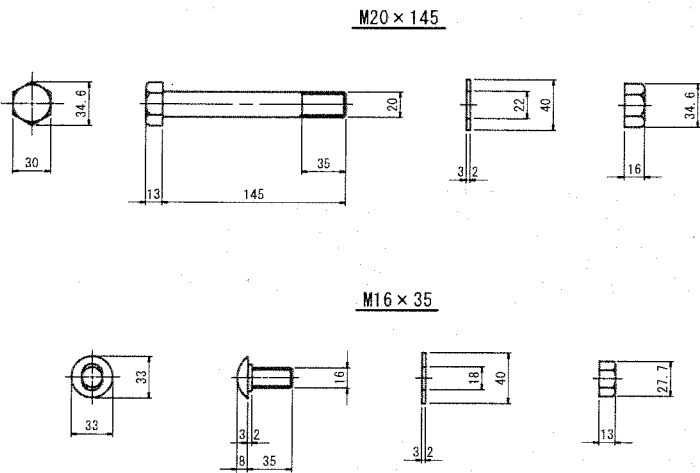


G1, G3 主桁側面

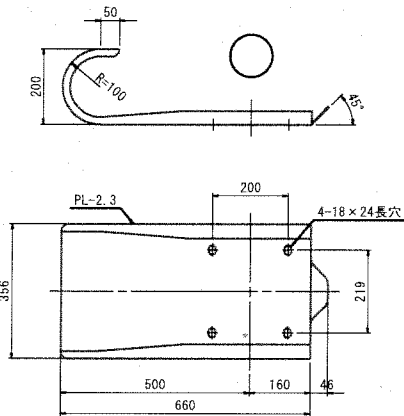
ガードレール断面詳細図 S=1:10



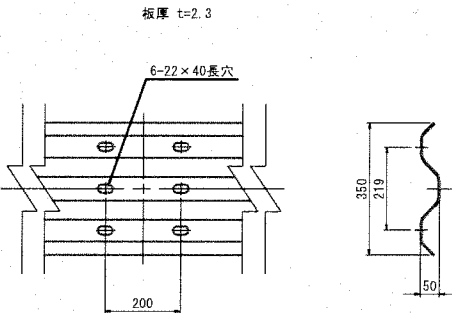
取付ボルト S=1:3



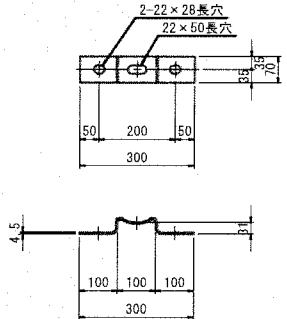
袖ビーム S=1:10



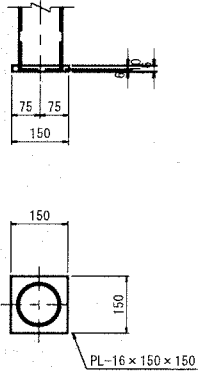
ビーム S=1:10



ブラケット S=1:10



ベースプレート詳細 S=1:10



防護柵撤去工 数量

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
ガードレール撤去	ガードレール	L=22.000+22.000	m	44.000
	撤去重量 (参考)	44.000 x 11.3kg (1m当り)	kg	497.2

※ 施工前に現地に事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。

防護柵取替工 数量

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
支柱切断	□150 x 150 L=0.600m、N=24	L=0.600 x 24	m	14.400
ガードレール設置延長	ガードレール	L=22.000+22.000	m	44.000
巻袖ビーム	3.2 x 660	N=2+2	枚	4
ベースプレート付き支柱	PL-16 x 150 x 150 φ114.3	N=12+12	個	本
ブラケット	4.5 x 300	N=12+12	個	24
ボルト・ナット	M20 x 145	N=12+12	個	24
	M16 x 35	N=44+44	個	88
現場溶接工 (すみ肉溶接)	□150 x 150 L=0.600m、N=24	L=0.600 x 24	m	14.400

※ 施工前に現地に事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

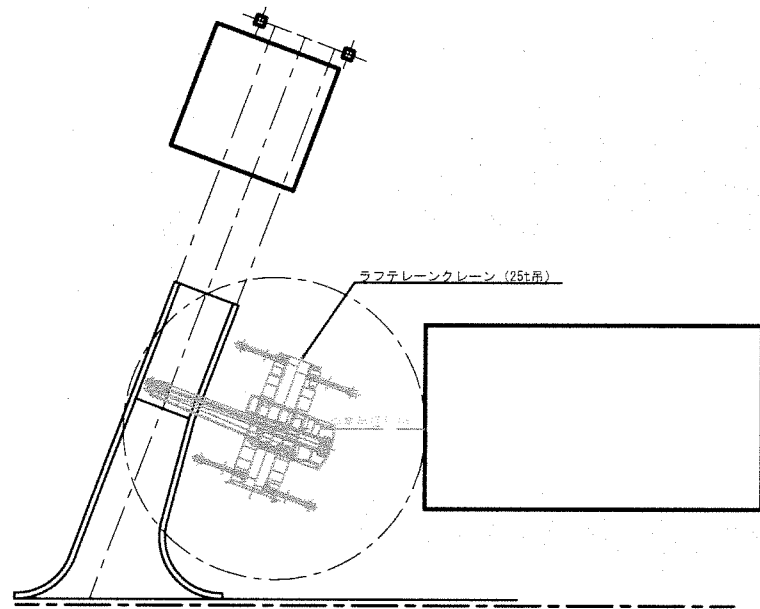
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	陸橋（２） 防護柵取替工図		
図面番号	全 35 の 25	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

陸橋（2） グレーチング取替工図

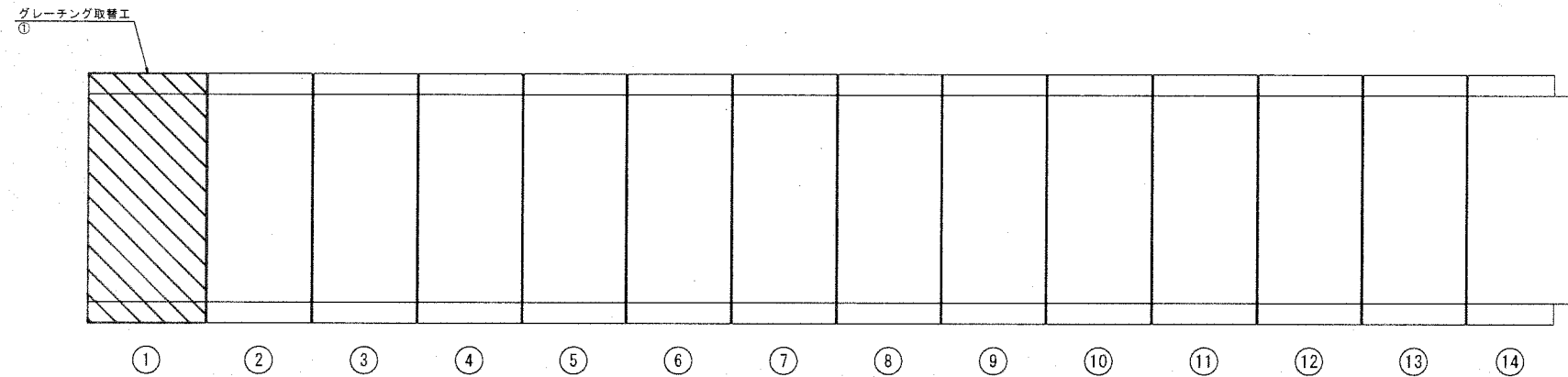
凡 例

補修の種類	表示
グレーチング取替工	

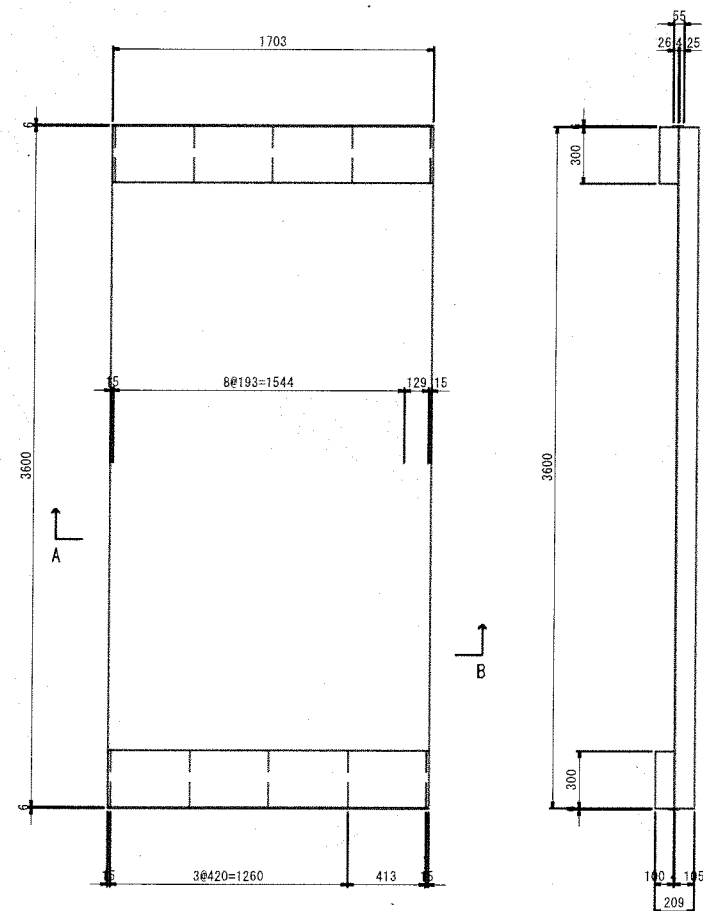
位置図 S=1:200



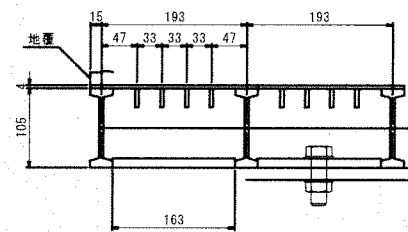
平面図 S=1:50
グレーチング敷込図



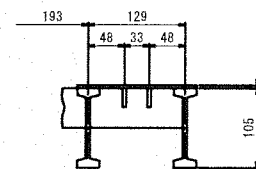
グレーチング詳細図 S=1:20
①



矢視A S=1:5



矢視B S=1:5



グレーチング取替え工 数量

名 称	規 格	算 定 式	単位	数 量
グレーチング撤去		N=1	枚	1
	撤去重量 (参考)		kg	620.0
グレーチング設置		N=1	枚	1
ラフテレーンクレーン	25t吊	d=2	台	1

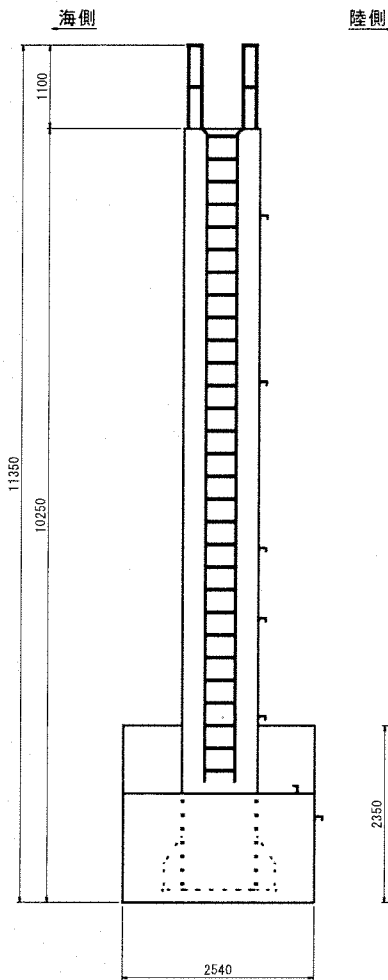
※ 施工前に現地にて事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。
※ グレーチングの表面処理は溶融亜鉛めっき仕上げとする。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

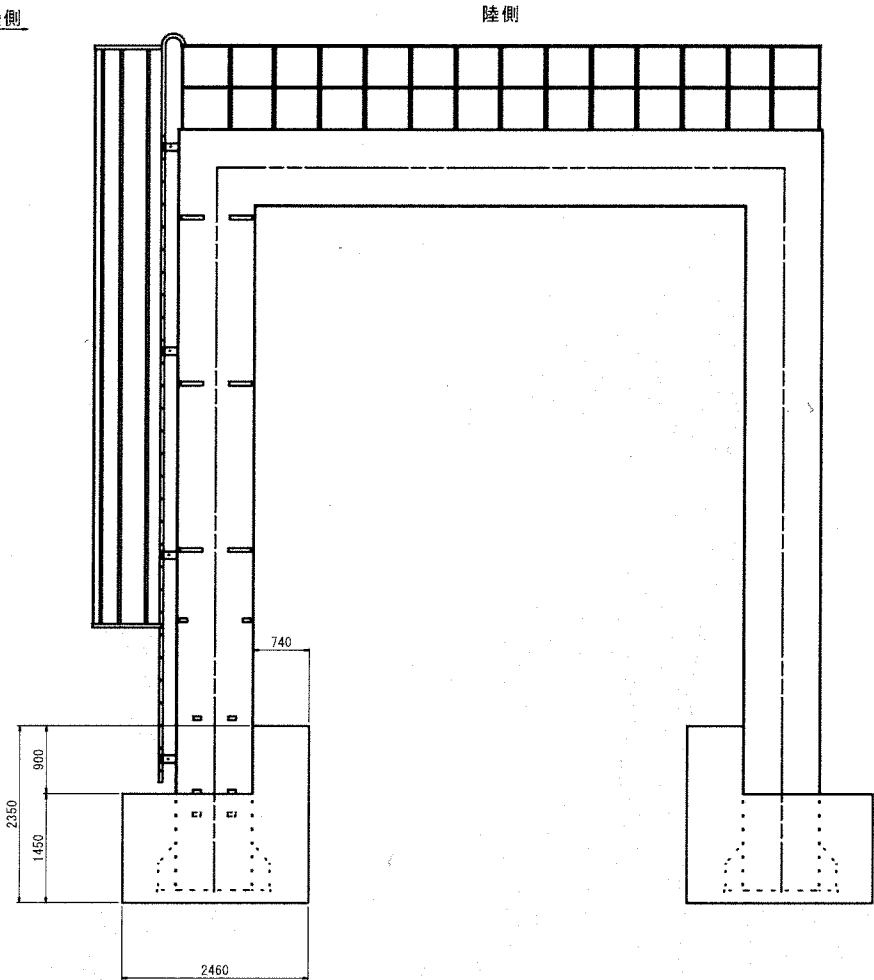
工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	陸橋（2） グレーチング取替工図		
図面番号	全 35 の 26	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

門構 現況一般図

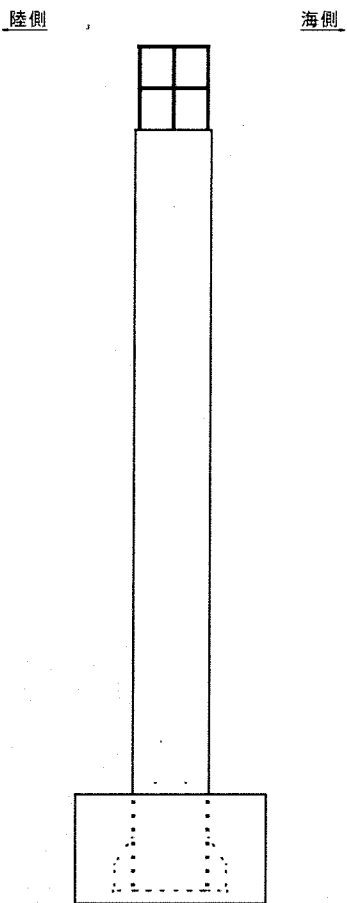
側面図 S=1:50



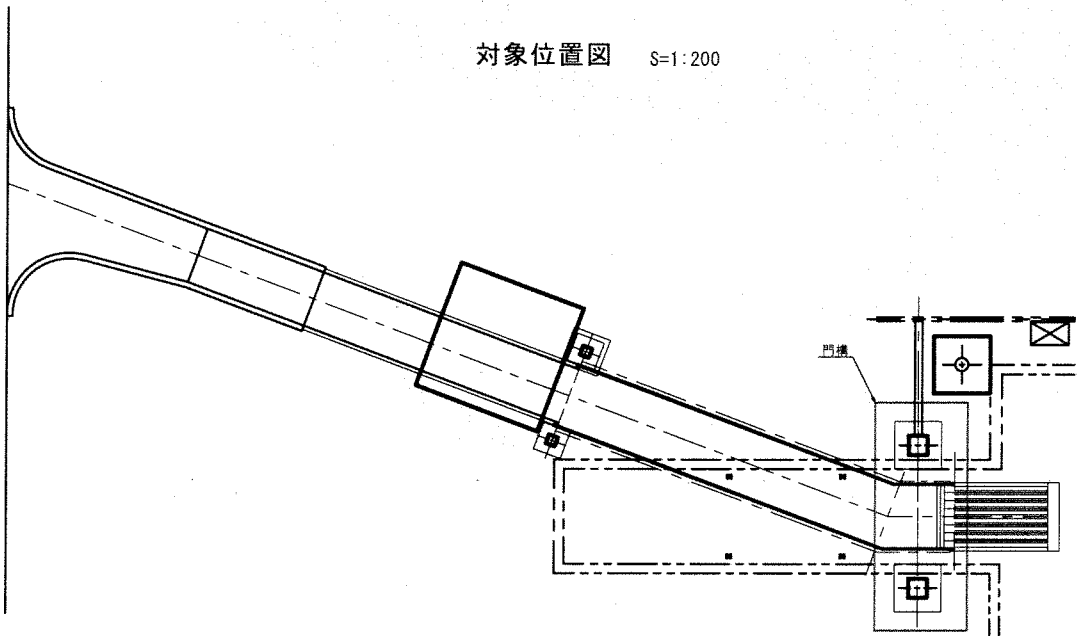
正面図 S=1:50



側面図 S=1:50



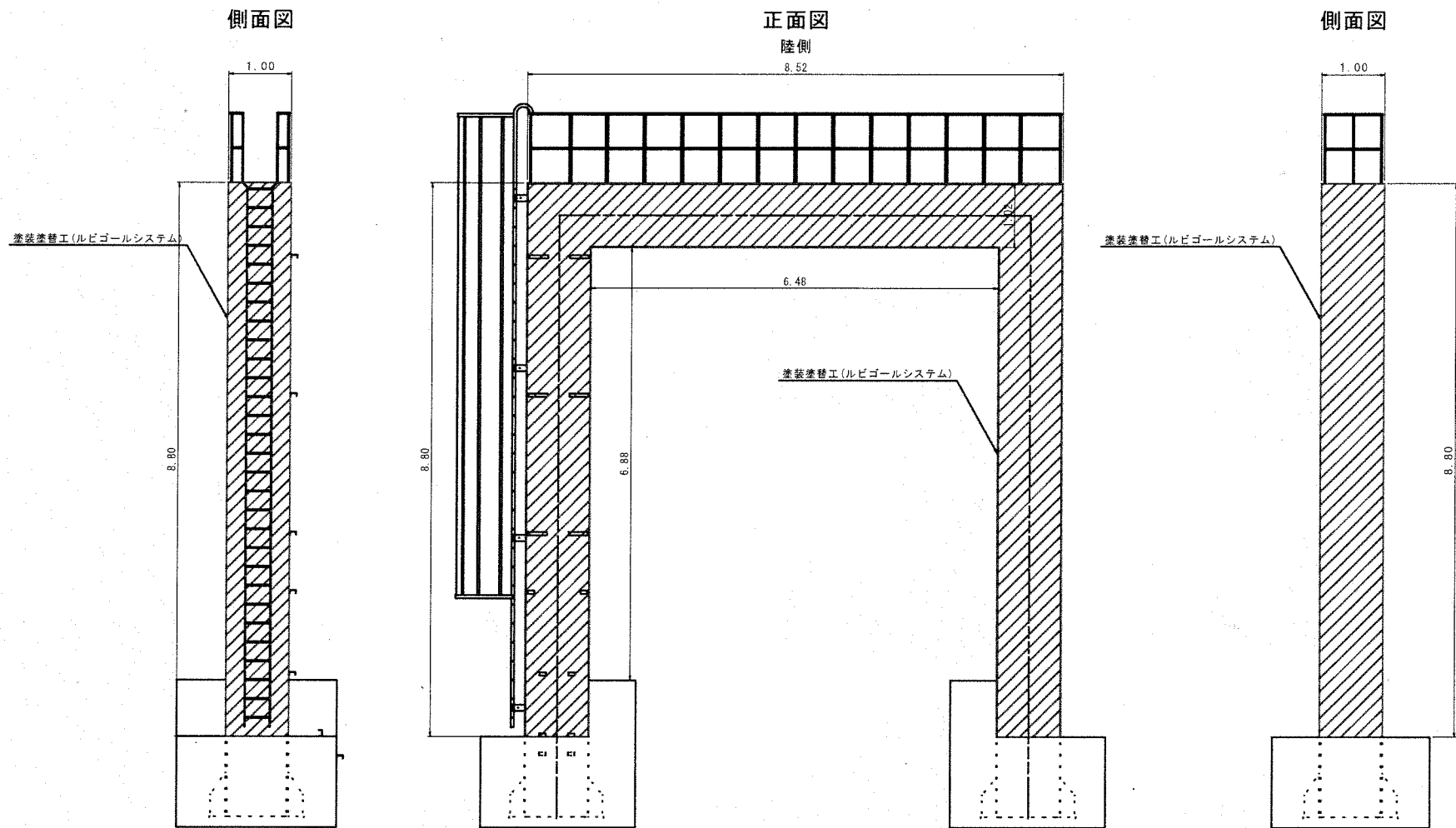
対象位置図 S=1:200



注、本図面は竣工図面及び現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	門構 現況一般図		
図面番号	全 35 の 27	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

門構 塗装塗替工図 S=1:50



凡 例

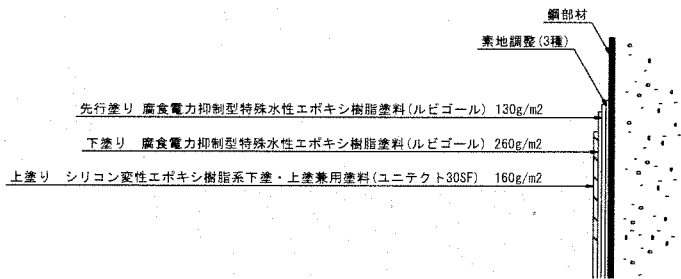
補修の種類	表示
塗装塗替工	

塗替塗装数量

2-2-柱部 PL 1020×8800
2-柱部 PL 1000×8800
2-柱部 PL 1000×6880
2-柱部 PL 1020×1000
2-梁部 PL 1000×6480
2-梁部 PL 1020×6480

塗装塗替工 詳細図

ルビゴールシステム NETIS:KK-220040-A



2-2-柱部 PL 1020×8800

2-柱部 PL 1000×8800

2-柱部 PL 1000×6880

2-柱部 PL 1020×1000

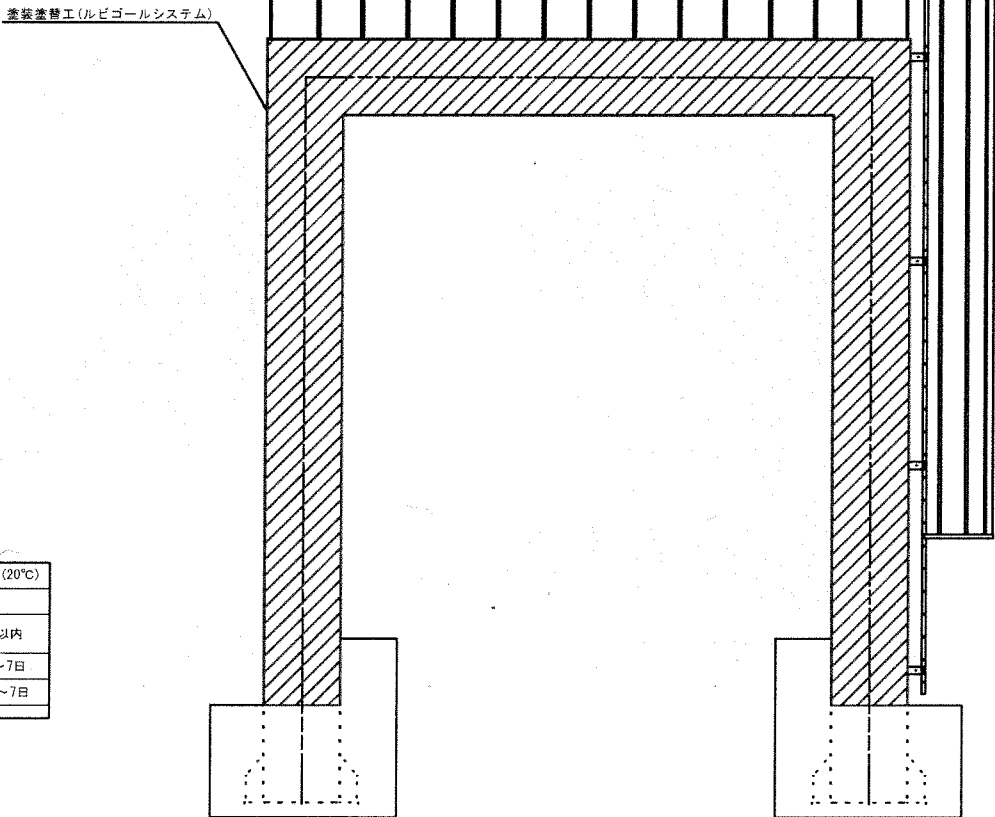
2-梁部 PL 1000×6480

2-梁部 PL 1020×6480

塗装仕様 ルビゴールシステム (はけ、ローラー)

塗装工程	塗装および処置	使用量 (g/m ²)	塗装間隔 (20°C)
素地調整	3種: (動力工具処理) 磨サビ、こぶサビは除去し、サビ厚100μm以下のサビ残しは可とする。	—	4時間以内
先行塗り	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料(ルビゴール)	130 (30μm)	1時間~7日
下 塗	腐食電力抑制型特殊水性エポキシ樹脂塗料(ルビゴール)	260 (60μm)	24時間~7日
上 塗	シリコン変性エポキシ樹脂系下塗・上塗兼用塗料(ユニテクト30SF)	160 (50μm)	

※ 峽あい部・隅角部・添接部等については、先行塗装を推奨する。



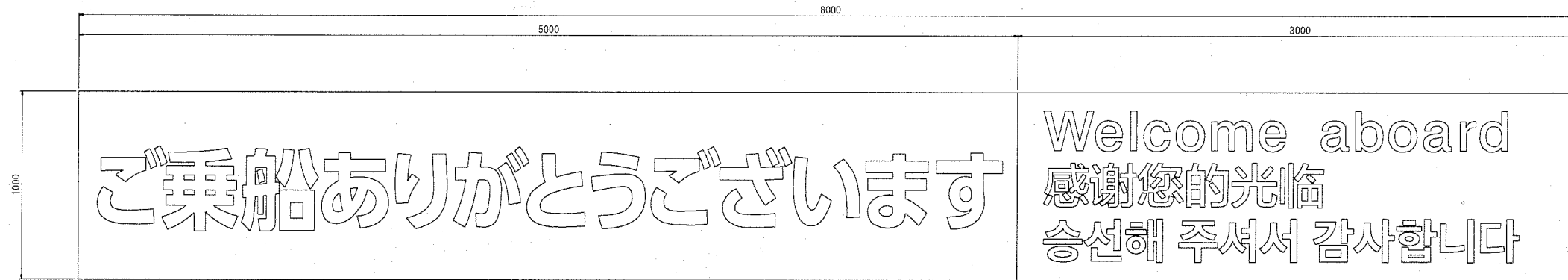
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。

作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	門構 塗装塗替工図		
図面番号	全 35 の 28	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

門構 看板補修工図（参考）

正面図 S=1:15
A案



板面
アルミ複合板 t=3.0+
インクジェットシート貼り
(データ色/グロスラミ)

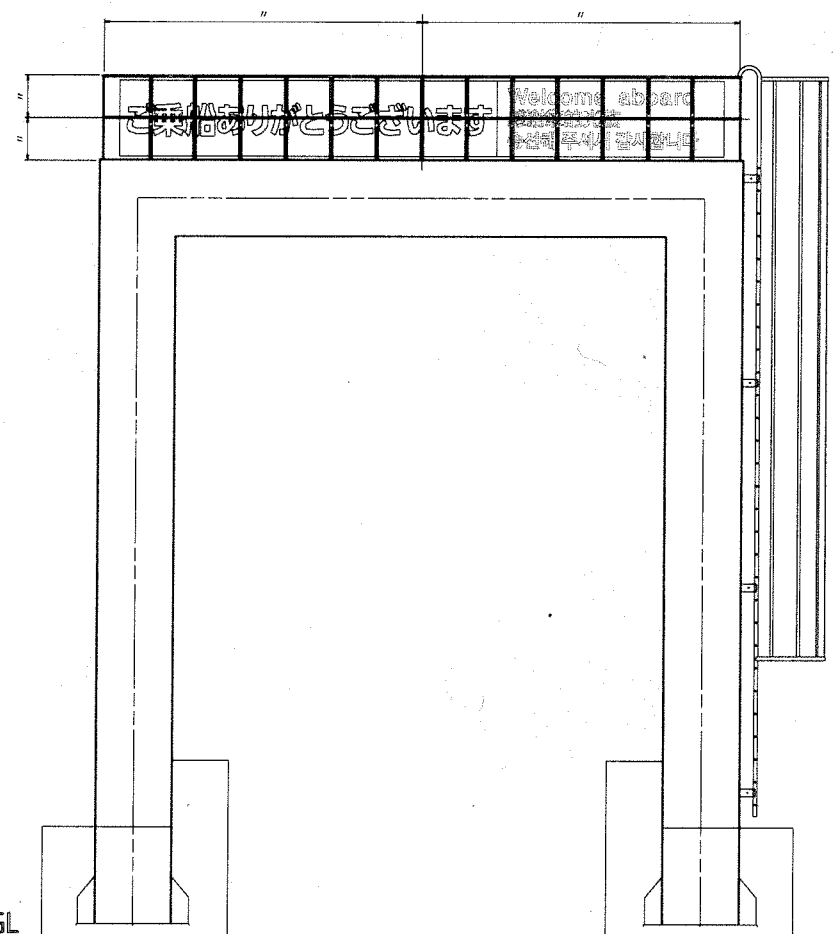
B案



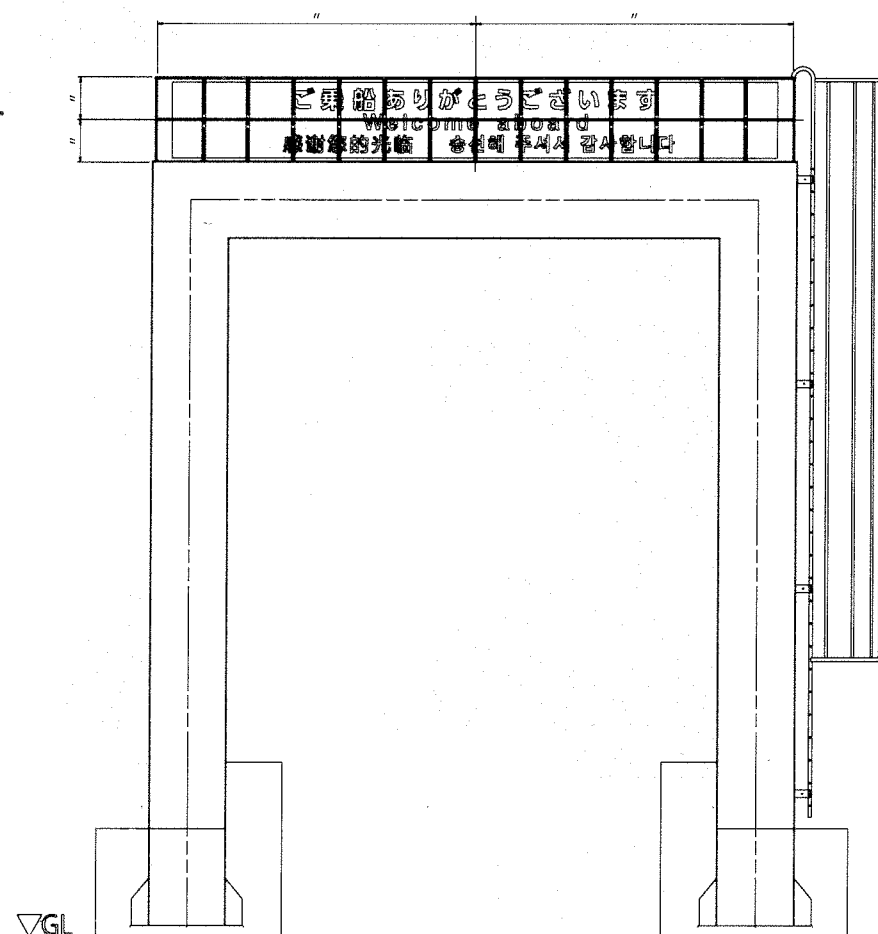
板面
アルミ複合板 t=3.0+
インクジェットシート貼り
(データ色/グロスラミ)

取付図 S=1:50

A案



B案



看板補修工 数量

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
看板塗装工	W8000×H1000	N=1	箇所	1

※ 施工前に現地にて事前調査を行い、必要に応じて数量の変更を実施すること。
※ 英語・中国語・韓国語表記については、発注者と協議のうえ最終的に決定すること。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	門構 看板補修工図（参考）		
図面番号	全 35 の 29	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

第一バース可動橋 仮設計画図（その1）
クレーン組立・解体時

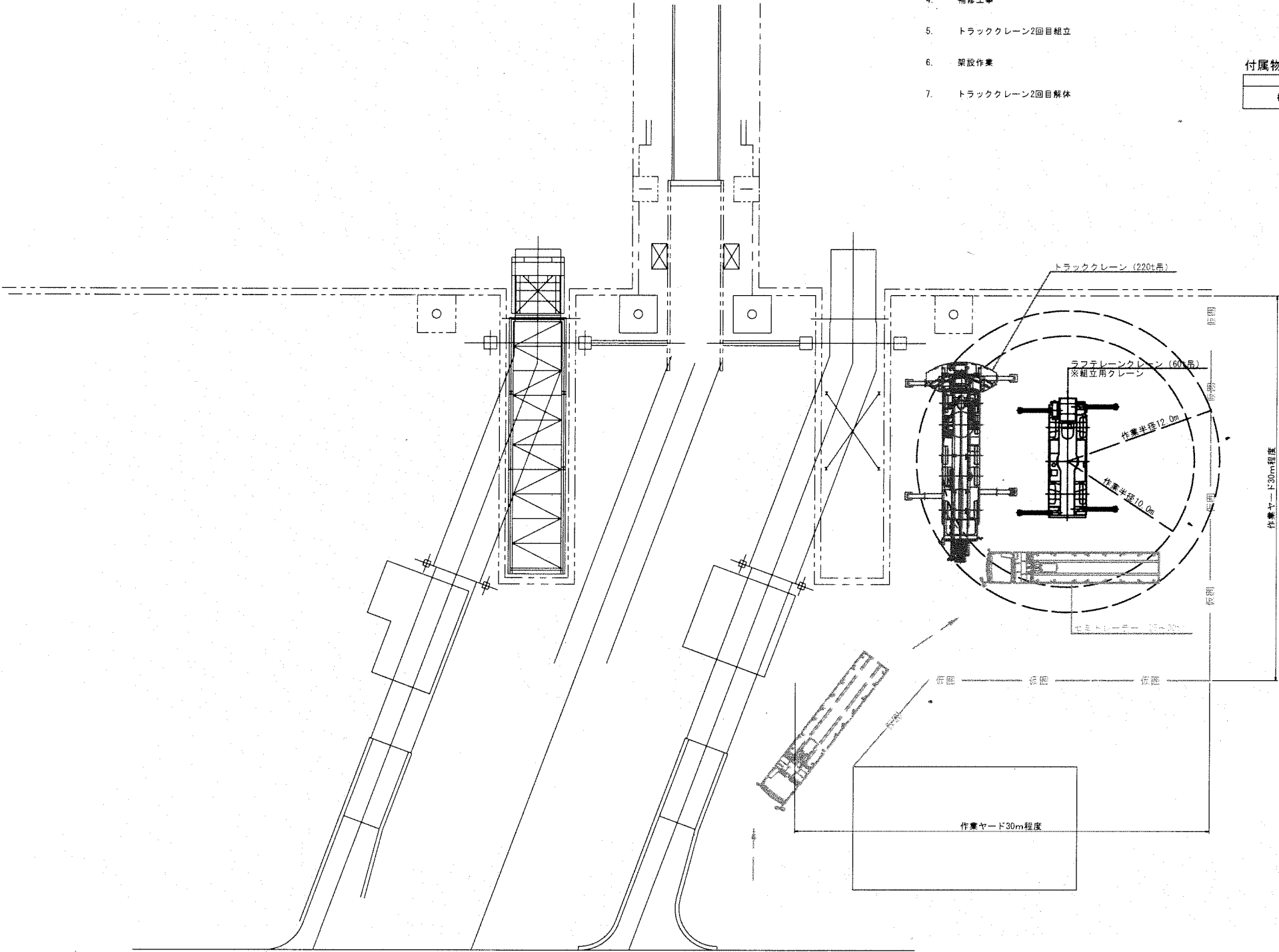
※トラッククレーンの1回目組立・2回目解体は現地で行う。
1回目解体・2回目組立については現地での作業が難しいため、別の場所で行う計画とする。

トラッククレーン組立・解体手順

1. トラッククレーン1回目組立
2. 撤去作業
3. トラッククレーン1回目解体
4. 補修工事
5. トラッククレーン2回目組立
6. 架設作業
7. トラッククレーン2回目解体

付属物補修工 数量(参考)

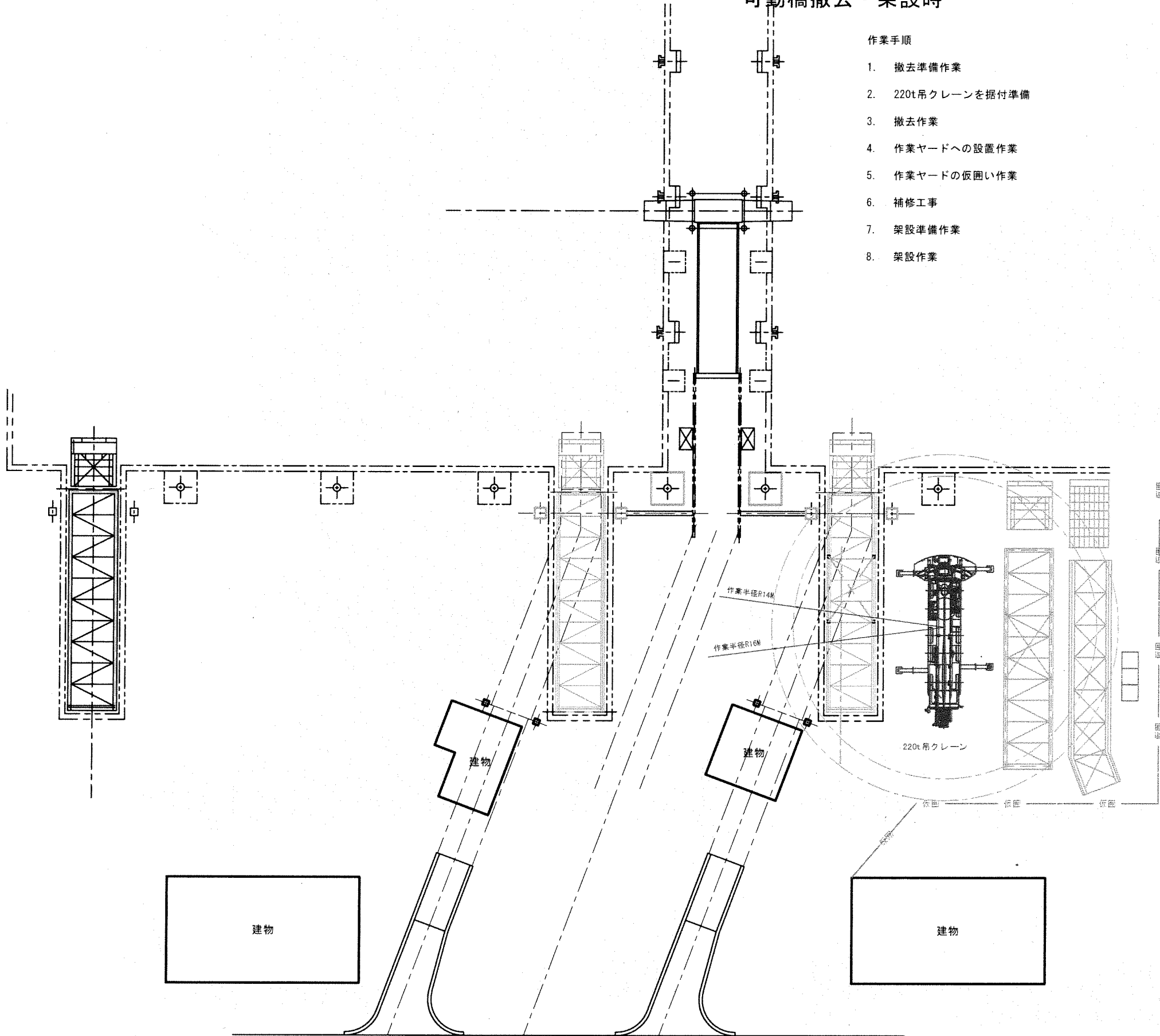
名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
機械分解・組立輸送		N=2	回	2



注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バース可動橋 仮設計画図（その1）		
図面番号	全 35 の 30	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

第一バス可動橋 仮設計画図（その2）
可動橋撤去・架設時



作業手順

1. 撤去準備作業
2. 220t吊クレーンを据付準備
3. 撤去作業
4. 作業ヤードへの設置作業
5. 作業ヤードの仮囲い作業
6. 補修工事
7. 架設準備作業
8. 架設作業

撤去手順

1. 副橋を撤去
2. 吊ピースを溶接後玉掛け
3. ワイヤーにテンションを掛けアーム、ヒンジのピンを外す。
4. 副橋を作業ヤードに移動。
5. 主橋の海側を吊揚げ岸壁と主橋の間にH鋼を挿入する。
6. 油圧ジャッキを用いて、ヒンジ側を持ち上げる。
7. ヒンジピンを撤去する。
8. 陸側を吊り上げ海側同様にH鋼に仮置きする。
9. 主橋を作業ヤードに移動する。

220 t吊クレーン荷重表

作業半径	ブーム長さ 17.4m	ブーム長さ 21.6m
10	64.1	63.4
11	57.9	57.2
12	52.6	51.8
14	43.8	43.1
16	-	36.5

可動橋重量表(グレーチング含む)

	主橋	副橋	計
上段可動橋	14.9 t	4.8 t	19.7 t
下段可動橋	32.5 t	7.5 t	40.0 t

付属物補修工 数量(参考)

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
可動橋撤去	機械分解・組立輸送含む	N=5	日	5
可動橋設置	機械分解・組立輸送含む	N=5	日	5
トラッククレーン	220t吊	N=5+5	日	10

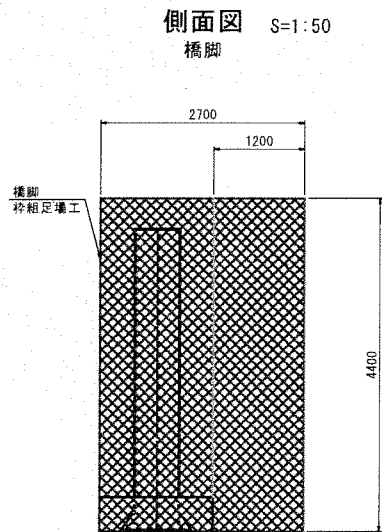
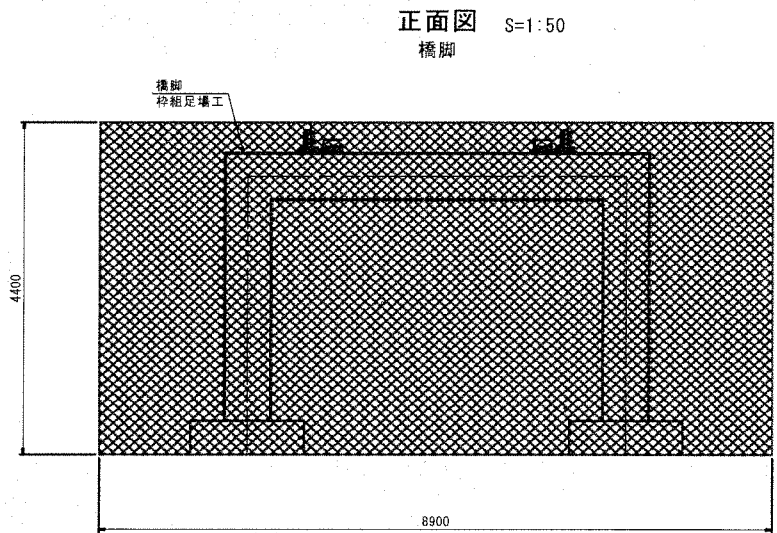
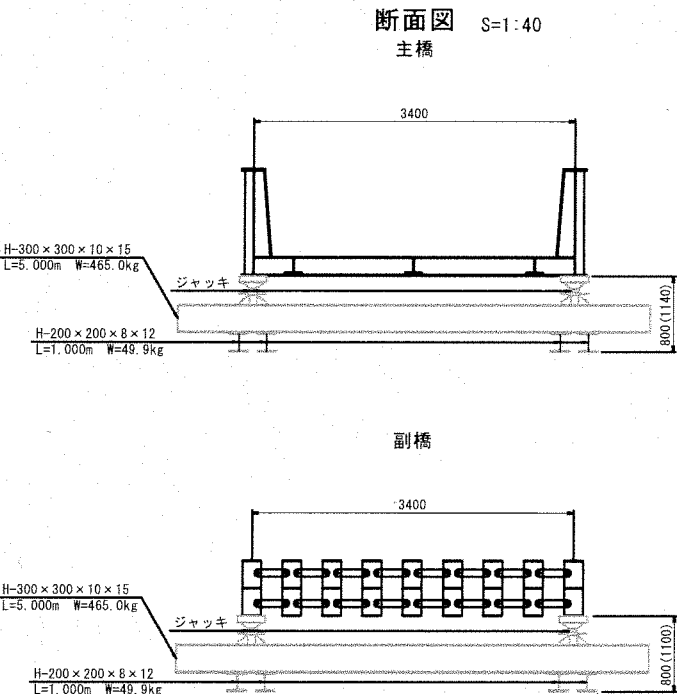
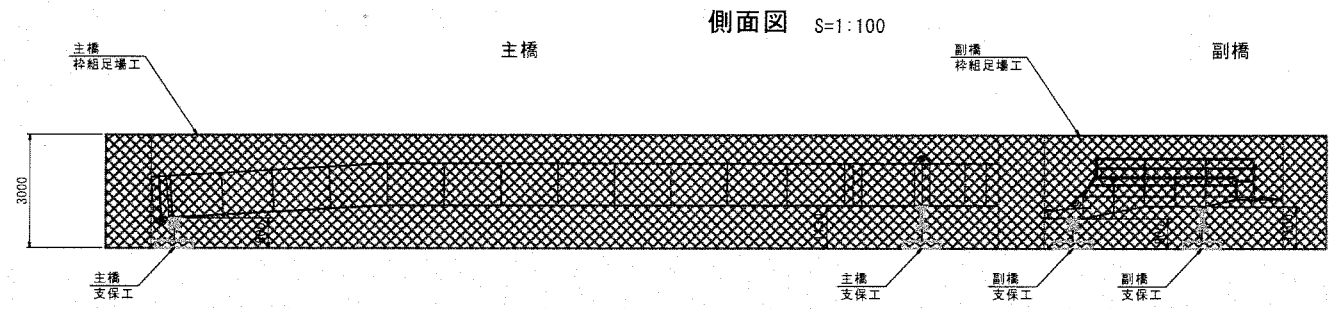
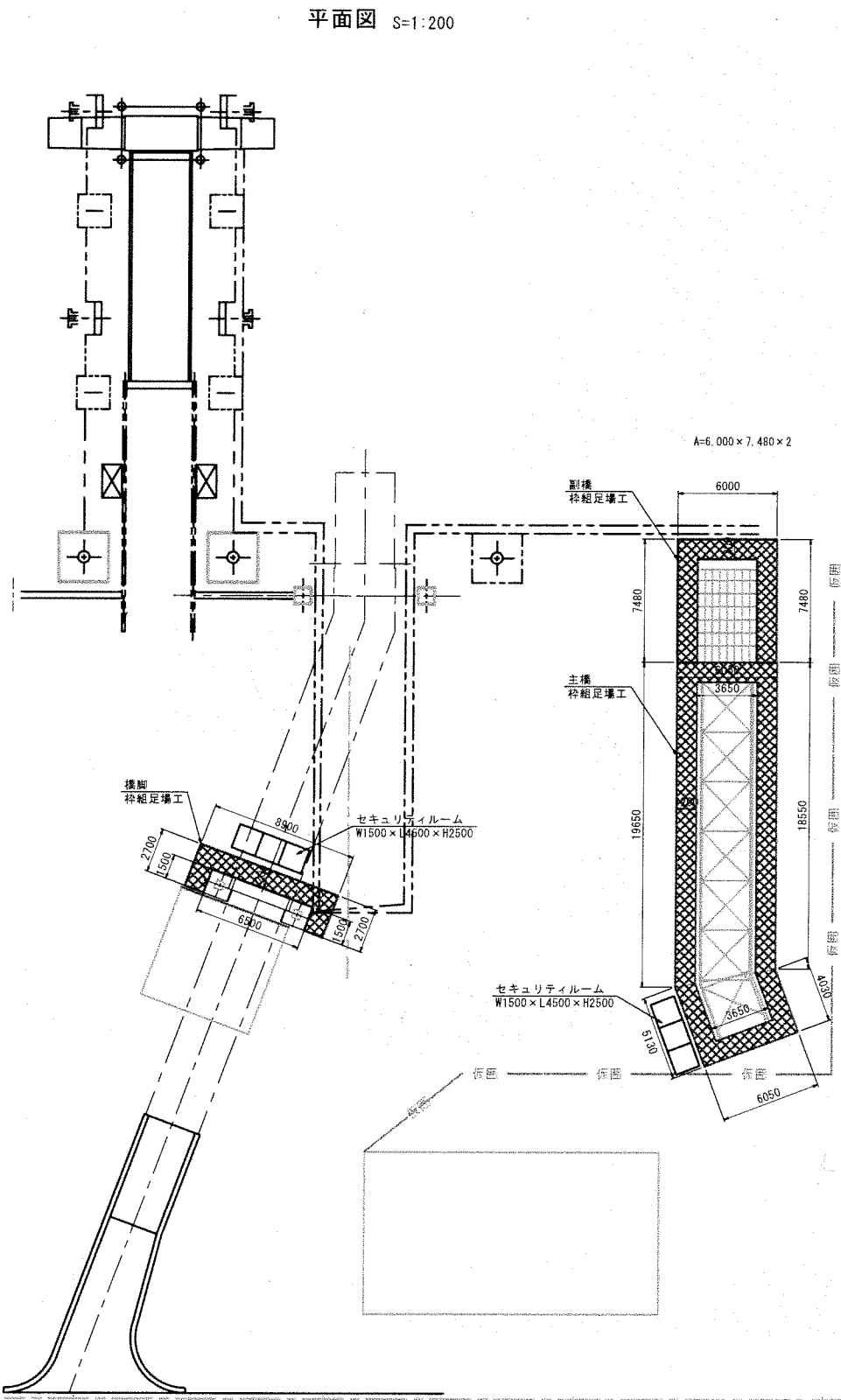
注、本図面は現地計測にて復元した図面である。
作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工 事 名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バス可動橋 仮設計画図（その2）		
図面番号	全 35 の 31	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

第一バース可動橋 仮設計画図（その3）
上段可動橋（主橋・副橋）

凡 例

補修の種類	表示
枠組足場	



仮設工 数量(参考)

名 称	規 格	算 定 式	単 位	数 量
枠組足場	主橋	$A=(19,650+5,130+3,650+4,030+18,550-3,650) \times 3,000$	掛 m^2	163,980
	副橋	$A=[6,000+(7,480-1,200) \times 2] \times 3,000$	掛 m^2	55,680
	橋脚	$A=(8,900+1,500 \times 2) \times 4,400$	掛 m^2	52,360
湿式塗膜?耐刮工用養生シート工	主橋	$A=[(19,650+18,550)/2 \times 6,050+(5,130+4,030)/2 \times 6,050] \times 2$	m^2	286,528
	副橋	$A=6,000 \times 7,480 \times 2$	m^2	89,760
	橋脚	$A=(8,900 \times 2,700-6,500 \times 1,500) \times 2$	m^2	28,560
仮設支保工	H鋼 H-200×200×8×12 L=1,000m、W=49.9kg		本	16
	H鋼 H-300×300×10×15 L=5,000m、W=465.0kg		本	4
環境対策資機材	負圧集塵装置、真空掃除機、セキュリティルーム、エアシャワー等		式	1
安全保護具	電動ファン付呼吸用保護具、使い捨て化学防護服、防護手袋、化学防護長靴等		式	1

注記

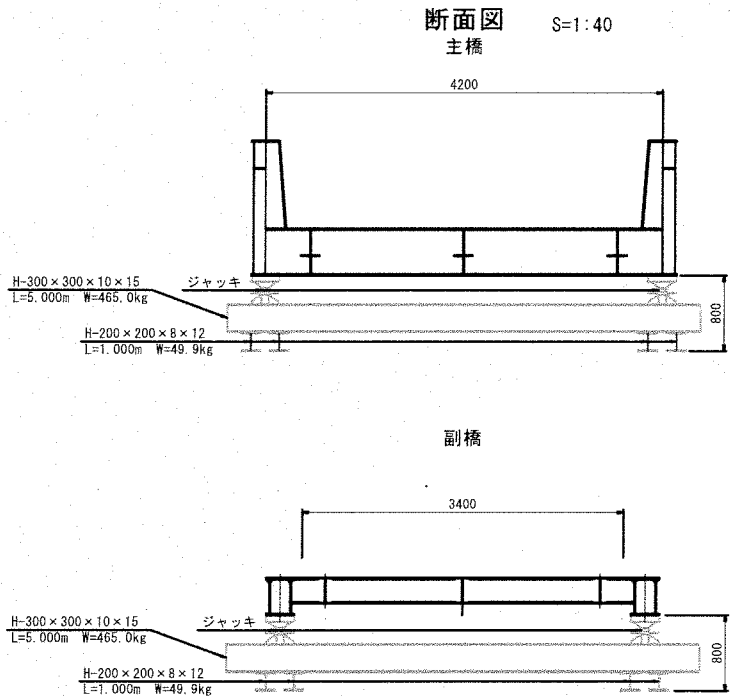
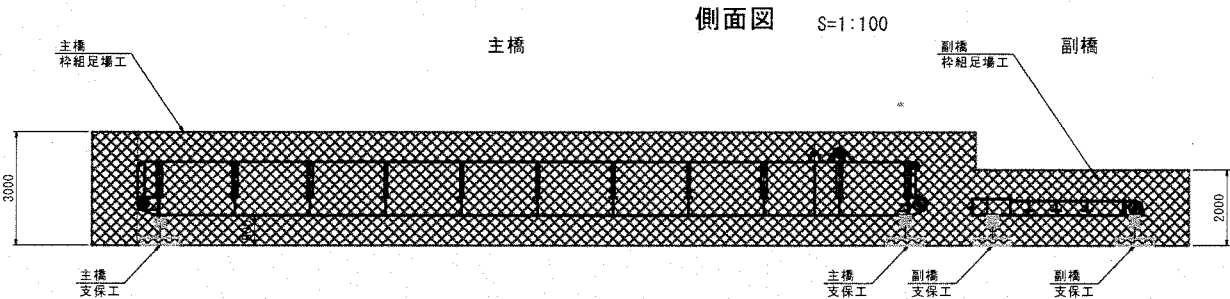
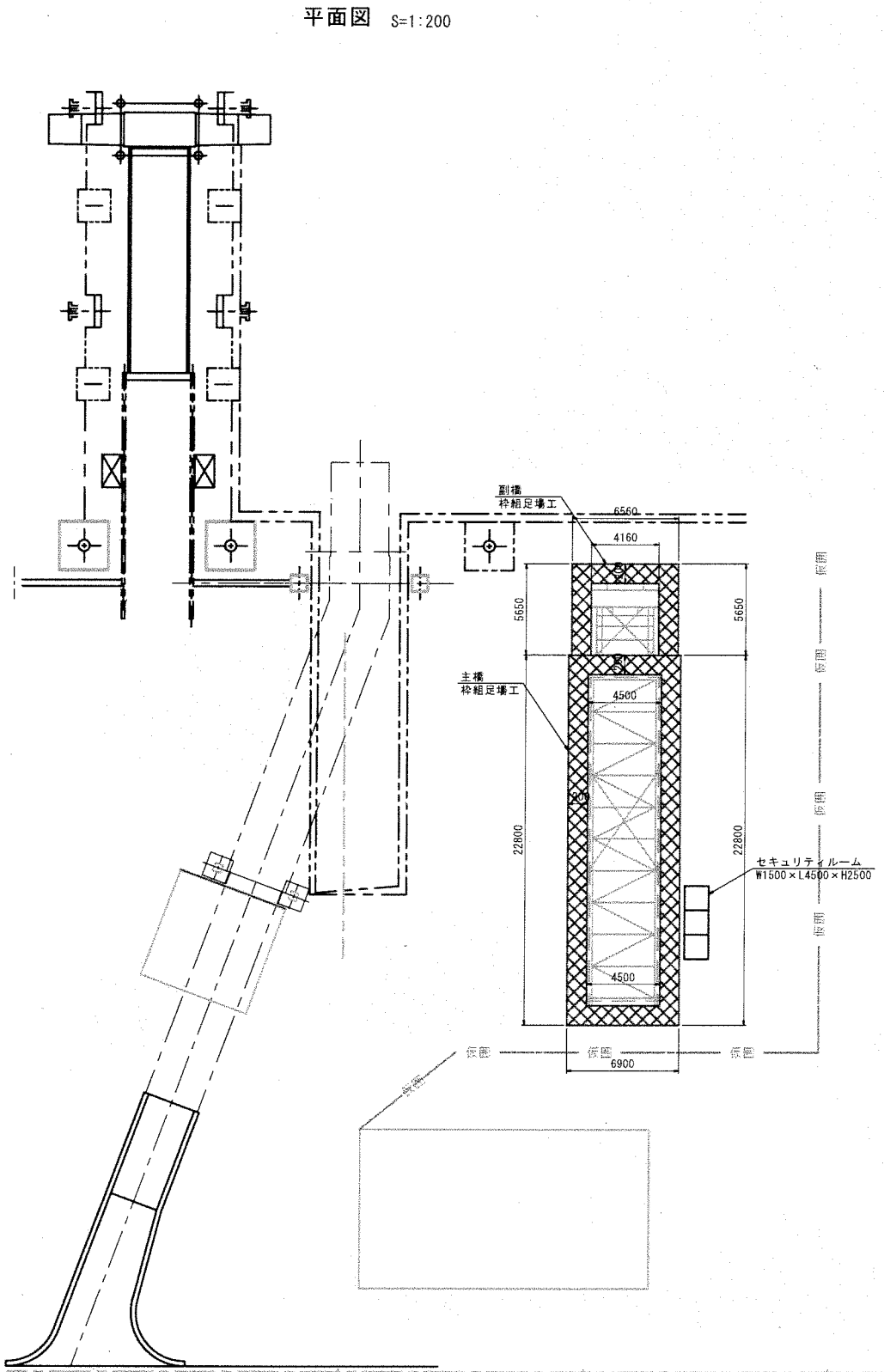
- 本仮設計画は参考であるため、施工前に現地計測を行い形状寸法の確認及び仮設計画の立案を行い、発注者と協議のうえ最終的に決定すること。
- 足場上の板張り及びシート張防護等の養生を確実に、産業廃棄物により周辺を汚さないように十分注意するとともに、廃棄は適切に行うこと。
- 塗膜成分に鉛が含まれているため、塗装塗替作業中および産業物の処理については、関連法規に基づき適切に対応すること。
- 剥離剤及び塗膜かす運搬工、発生材処分(産業廃棄物)については、想定寸法として計上しているため、施工時に生じた実数量にて設計変更対応を行うこと。

この図面は、設計図書の一部として、施工に用いられるものとします。
図面番号：全 35 の 32

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業
工事場所	鹿児島市 本港新町
図面種類	第一バース可動橋 仮設計画図（その3）
図面番号	全 35 の 32
作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課	

第一バース可動橋 仮設計画図（その4）
下段可動橋（主橋・副橋）

凡 例	
補修の種類	表示
枠組足場	



仮設工 数量(参考)			
名 称	規 格	算 定 式	単位 数 量
枠組足場	主橋	$A=(22,800+4,500) \times 2 \times 3,000$	掛㎡ 163,800
	副橋	$A=(5,650 \times 2+4,160) \times 2,000$	掛㎡ 30,920
湿式塗膜?耐剤工用養生シート工	主橋	$A=22,800 \times 6,900 \times 2$	㎡ 314,640
	副橋	$A=6,560 \times 5,650 \times 2$	㎡ 74,128
仮設支保工	H鋼 H-200×200×8×12 L=1,000m、W=49.9kg		本 16
	H鋼 H-300×300×10×15 L=5,000m、W=465.0kg		本 4
環境対策資機材	負圧集塵装置、真空掃除機、セキュリティルーム、エアシャワー等		式 1
安全保護具	電動ファン付呼吸用保護具、使い捨て化学防護服、防護手袋、化学防護長靴等		式 1

- 注記)
- 本仮設計画は参考であるため、施工前に現地計測を行い形状寸法の確認及び仮設計画の立案を行い、発注者と協議のうえ最終的に決定すること。
 - 足場上の板張り及びシート張防護等の養生を確実に、産業廃棄物により周辺を汚さないように十分注意するとともに、廃棄物は適切に行うこと。
 - 塗膜成分に鉛が含まれているため、塗装塗替作業中および廃棄物の処理については、関連法規に基づき適切に対応すること。
 - 剥離剤及び塗膜かす運搬工、発生材処分(産業廃棄物)については、想定寸法として計上しているため、施工時に生じた実数量にて設計変更対応を行うこと。

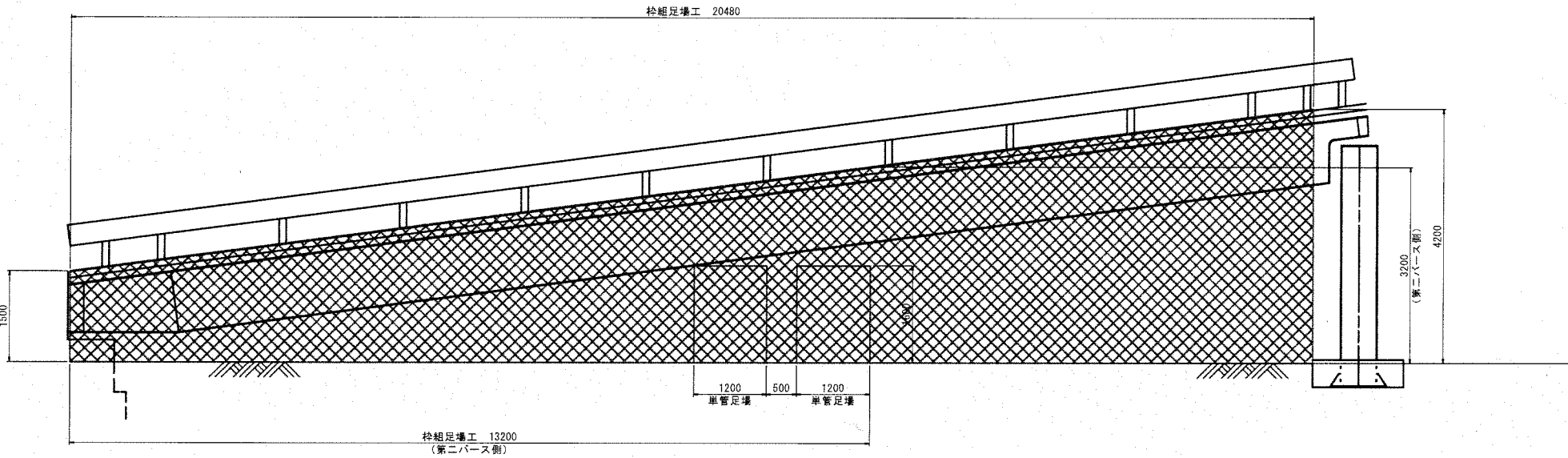
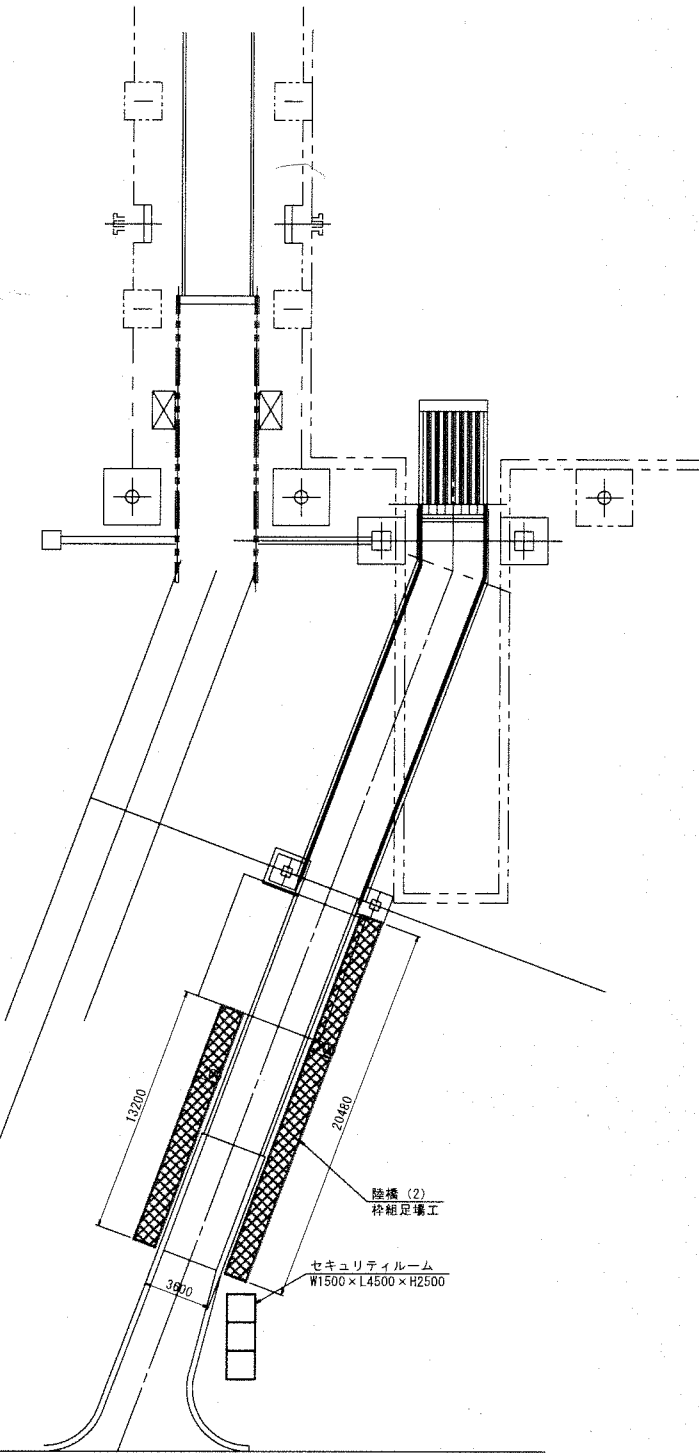
この図面は設計図書の一部であり、変更図面として扱われる場合があります。
この図面は、設計図書の一部であり、変更図面として扱われる場合があります。

工 事 名	鹿児島港第一バース可動橋ほか補修工事		
事 業 名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バース可動橋 仮設計画図（その4）		
図面番号	全 35 の 33	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

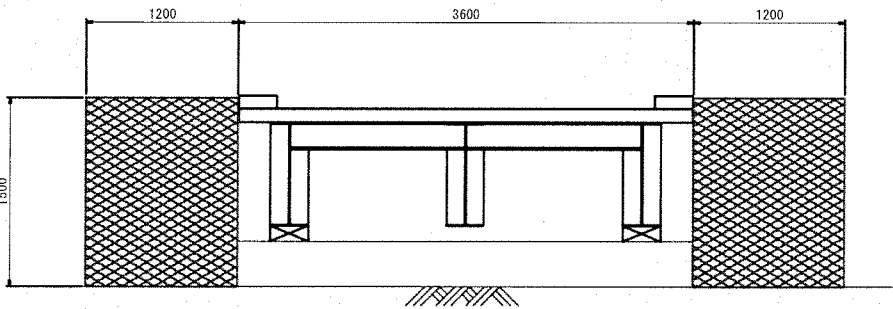
第一バス可動橋 仮設計画図（その5）
陸橋（2）施工時

平面図 S=1:200

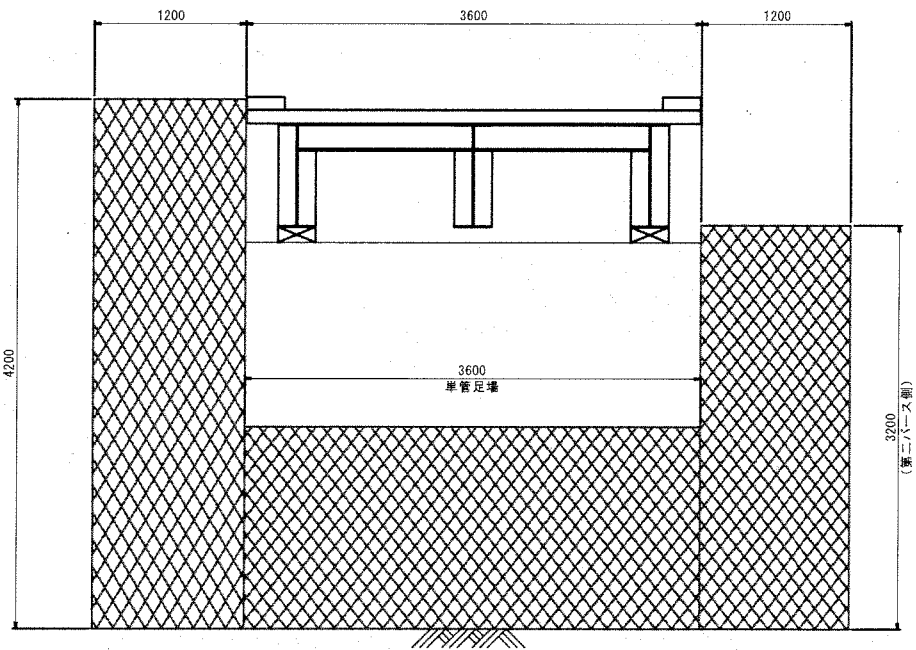
側面図 S=1:50



断面図 S=1:30
陸側



断面図 S=1:30
海側



仮設工 数量(参考)

名称	規格	算定式	単位	数量
仮橋足場	陸橋(2)	$A=(1.5+4.2)/2 \times 20.48+(1.5+3.2)/2 \times 13.2$	掛 ²	89.388
単管足場	陸橋(2)	$A=1.6 \times 3.6 \times 2$	掛 ²	11.52
湿式塗膜?難燃工用養生シート工	陸橋(2)	$A=1.2 \times 13.2+(3.6+1.2) \times 20.48$	m ²	114.144
環境対策資機材	負圧集塵装置、真空掃除機、セキュリティルーム、エアシャワー等		式	1
安全保護具	電動ファン付呼吸用保護具、使い捨て化学防護服、防護手袋、化学防護長靴等		式	1

注記

- 本仮設計画は参考であるため、施工前に現地計測を行い形状寸法の確認及び仮設計画の立案を行い、発注者と協議のうえ最終的に決定すること。
- 足場上の板張り及びシート張防護等の養生を確実に、産業廃棄物により周辺を汚さないように十分注意するとともに、廃棄は適切に行うこと。
- 塗膜成分に鉛が含まれているため、塗装塗替作業中および廃棄物の処理については、関連法規に基づき適切に対応すること。
- 剥離剤及び塗膜かす運搬工、発生材処分(産業廃棄物)については、想定寸法として計上しているため、施工時に生じた実数量にて設計変更対応を行うこと。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。

作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか橋修工事		
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バス可動橋 仮設計画図(その5)		
図面番号	全 35 の 34	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			

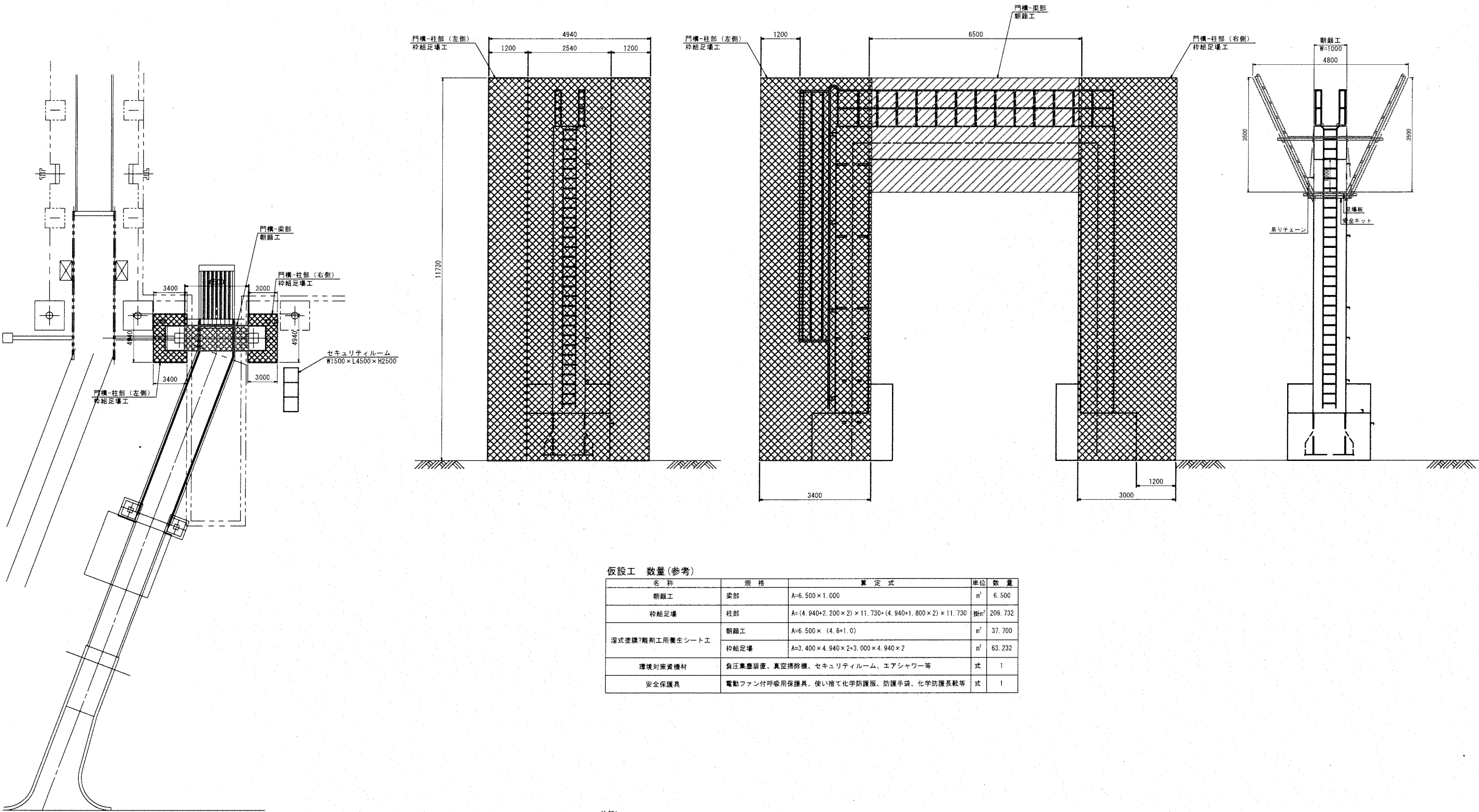
第一バス可動橋 仮設計画図（その6）
門構施工時

平面図 S=1:200

側面図 S=1:60

正面図 S=1:60

側面図 S=1:60



仮設工 数量(参考)

名称	規格	算定式	単位	数量
朝顔工	梁部	$A=6,500 \times 1,000$	m ²	6,500
枠組足場	柱部	$A=(4,940+2,200 \times 2) \times 11,730 + (4,940+1,800 \times 2) \times 11,730$	掛m ²	209,732
湿式塗膜? 離剤工用養生シート工	朝顔工	$A=6,500 \times (4,8+1,0)$	m ²	37,700
	枠組足場	$A=3,400 \times 4,940 \times 2 + 3,000 \times 4,940 \times 2$	m ²	63,232
環境対策資機材	負圧集塵装置、真空掃除機、セキュリティルーム、エアシャワー等		式	1
安全保護具	電動ファン付呼吸用保護具、使い捨て化学防護服、防護手袋、化学防護長靴等		式	1

注記

- 本仮設計画は参考であるため、施工前に現地計測を行い形状寸法の確認及び仮設計画の立案を行い、発注者と協議のうえ最終的に決定すること。
- 足場上の板張り及びシート張防護等の養生を確実に、産業廃棄物により周辺を汚さないように十分注意するとともに、廃棄は適切に行うこと。
- 塗膜成分に鉛が含まれているため、塗膜塗替作業中および廃棄物の処理については、関連法規に基づき適切に対応すること。
- 剥離剤及び塗膜かす運搬工、発生材処分(産業廃棄物)については、想定寸法として計上しているため、施工時に生じた実数量にて設計変更対応を行うこと。

注、本図面は現地計測にて復元した図面である。

作業着手前に、施工対象部分の形状寸法の確認を行うこと。

工事名	鹿児島港第一バス可動橋ほか補修工事		
事業名	桜島フェリー施設長寿命化計画推進事業		
工事場所	鹿児島市 本港新町		
図面種類	第一バス可動橋 仮設計画図（その6）		
図面番号	全 35 の 35	作成年月	令和8年6月
鹿児島市 船舶局 船舶運航課			